

改 正 後	現 行
<p style="text-align: center;">森林整備保全事業標準歩掛の留意事項</p> <p>1～8 （略）</p> <p>9 治山関係事業のうち工事等の実施箇所が次の(1)の各号のいずれかひとつに該当し、かつ、次の(2)の各号のいずれにも該当しない工事等は、山林砂防工を適用するものとする（以下、当該条件を「山林砂防工の適用条件」という。）。</p> <p>このため、治山関係事業において「第1編 共通工」及び「第2編 治山」に定める「山林砂防工」の標記がある歩掛等を山林砂防工の適用条件に該当しない工事等に適用する場合は、「山林砂防工」を「普通作業員」に替えて適用するものとする。</p> <p>また、治山関係事業において「第3編 林道」に定める歩掛等を山林砂防工の適用条件に該当する工事等に適用する場合は、標記している「普通作業員」を「山林砂防工」に替えて適用するものとする。</p> <p>(1) （略）</p> <p>(2) 山林砂防工を適用しない工事等</p> <p>① 林道工事と同種と見なされる工事</p> <p>② 造林作業と同種と見なされる作業</p> <p><u>③ ①及び②のほか、別に定める作業</u></p> <p><u>④ ①及び②に準ずる工事等</u></p> <p>10 （略）</p>	<p style="text-align: center;">森林整備保全事業標準歩掛の留意事項</p> <p>1～6 （略）</p> <p>9 治山関係事業のうち工事等の実施箇所が次の(1)の各号のいずれかひとつに該当し、かつ、次の(2)の各号のいずれにも該当しない工事等は、山林砂防工を適用するものとする（以下、当該条件を「山林砂防工の適用条件」という。）。</p> <p>このため、治山関係事業において「第1編 共通工」及び「第2編 治山」に定める「山林砂防工」の標記がある歩掛等を山林砂防工の適用条件に該当しない工事等に適用する場合は、「山林砂防工」を「普通作業員」に替えて適用するものとする。</p> <p>また、治山関係事業において「第3編 林道」に定める歩掛等を山林砂防工の適用条件に該当する工事等に適用する場合は、標記している「普通作業員」を「山林砂防工」に替えて適用するものとする。</p> <p>(1) （略）</p> <p>(2) 山林砂防工を適用しない工事等</p> <p>① 林道工事と同種と見なされる工事</p> <p>② 造林作業と同種と見なされる作業（新設）</p> <p><u>③ ①及び②に準ずる工事等</u></p> <p>10 （略）</p>

第1編 共通工

第1 土工

1-1 (略)

1-2 除根等

1-2-1 除根
(削る。)

(1)・(2) (略)

1-2-2 (略)

1-3 機械土工 (土砂)

1・2 (略)

第1編 共通工

第1 土工

1-1 (略)

1-2 伐開・除根等

1-2-1 伐開・除根

(1) 植生区分

区分	笹類	笹灌木混交	灌木類	根曲竹類
1種	中・密	中・密	中	二
2種	二	二	密	疎・中・密

備考 植生の疎密度は、次のとおりとする。

疎：植生被覆率 30%未満

中：植生被覆率 30%～70%

密：植生被覆率 70%以上

(2) 草刈機伐開歩掛

(100 m²当たり)

名称	規格	単位	1種	2種
草刈機運転	肩掛式 カッター径 255 mm	日	0.14	0.32
特殊作業員		人	0.14	0.32
計				

備考 本表には、刈払後敷地端までの小運搬及び集積作業を含む。

(参考) 草刈機械運転単価表

(1日当たり)

名称	単位	数量	摘要
混合油	ℓ		森林整備保全事業建設機械経費積算要領による。
機械損料	日	1	肩掛式 カッター径 255 mm

備考 日当たり稼働時間は、2時間とする。

(3) チェンソー伐開歩掛

(100 m²当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	0.01	
山林砂防工 (普通作業員)		//	0.4 (0.4)	
特殊作業員		//	0.1	
機械損料	鋸長 500 mm	日	0.1	
燃料費	混合油 25:1	ℓ		森林整備保全事業建設機械経費積算要領による。
チェーンオイル		//	0.01	

備考 1 本表は樹冠疎密度、中位の伐開である。

2 20m以内の片付を含む。

(4)・(5) (略)

1-2-2 (略)

1-3 機械土工 (土砂)

1・2 (略)

3 施工歩掛

(1) (略)

(2) 片切掘削 (人力併用機械掘削) (土砂)

① (略)

② 日当たり作業量
日当たり作業量は、次のとおりとする。

表 3. 4 (略)

ただし、林道工事における日当たり作業量は、次のとおりとする。

表 3. 5 日当たり作業量

機種	規格	土質名	単位	数量
バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014 年規制) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	<u>108</u>
		岩塊・玉石・軟岩 (I) A	m ³	<u>81</u>

(注) (略)

③ 労務歩掛
労務歩掛は、次のとおりとする。

表 3. 6 (略)

ただし、林道工事における労務歩掛は、次のとおりとする。

表 3. 7 労務歩掛

(10 m³当たり)

名称	土質名	単位	数量
普通作業員	砂・砂質土・粘性土・礫質土	人	<u>0.18</u>
	岩塊・玉石・軟岩 (I) A	人	<u>0.26</u>

(注) (略)

4 単価表

(1) ~ (3) (略)

3 施工歩掛

(1) (略)

(2) 片切掘削 (人力併用機械掘削) (土砂)

① (略)

② 日当たり作業量
日当たり作業量は、次のとおりとする。

表 3. 4 (略)

ただし、林道工事における日当たり作業量は、次のとおりとする。

表 3. 5 日当たり作業量

機種	規格	土質名	単位	数量
バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014 年規制) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m ³	<u>116</u>
		岩塊・玉石・軟岩 (I) A	m ³	<u>87</u>

(注) (略)

③ 労務歩掛
労務歩掛は、次のとおりとする。

表 3. 6 (略)

ただし、林道工事における労務歩掛は、次のとおりとする。

表 3. 7 労務歩掛

(10 m³当たり)

名称	土質名	単位	数量
普通作業員	砂・砂質土・粘性土・礫質土	人	<u>0.17</u>
	岩塊・玉石・軟岩 (I) A	人	<u>0.25</u>

(注) (略)

4 単価表

(1) ~ (3) (略)

(4) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型) (掘削、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>58</u> 機械損料数量→ <u>1.47</u>
バックホウ (クローラ型) (掘削、積込み)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>65</u> 機械損料数量→ <u>1.49</u>
バックホウ (クローラ型) (掘削、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>94</u> 機械損料数量→ <u>1.42</u>
バックホウ (クローラ型) (床掘り)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>58</u> 機械損料数量→ <u>1.39</u>
バックホウ (クローラ型) (床掘り)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>94</u> 機械損料数量→ <u>1.49</u>
バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>58</u> 機械損料数量→ <u>1.45</u>
バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>65</u> 機械損料数量→ <u>1.52</u>
バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>94</u> 機械損料数量→ <u>1.54</u>

(参考) (略)

1-4 埋戻工
1~3 (略)

4 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
タ ン パ	60~80 kg	機-31	運転労務数量→1.0 燃料消費量→ <u>5.2</u> 機械賃料数量→1.38 主燃料→ガソリン 運転時間→5h/日

1-5~1-7 (略)

(4) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型) (掘削、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>62</u> 機械損料数量→ <u>1.46</u>
バックホウ (クローラ型) (掘削、積込み)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>69</u> 機械損料数量→ <u>1.48</u>
バックホウ (クローラ型) (掘削、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>100</u> 機械損料数量→ <u>1.41</u>
バックホウ (クローラ型) (床掘り)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>62</u> 機械損料数量→ <u>1.38</u>
バックホウ (クローラ型) (床掘り)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>100</u> 機械損料数量→ <u>1.48</u>
バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>62</u> 機械損料数量→ <u>1.44</u>
バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>69</u> 機械損料数量→ <u>1.50</u>
バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>100</u> 機械損料数量→ <u>1.52</u>

(参考) (略)

1-4 埋戻工
1~3 (略)

4 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
タ ン パ	60~80 kg	機-31	運転労務数量→1.0 燃料消費量→ <u>4.5</u> 機械賃料数量→1.38 主燃料→ガソリン 運転時間→5h/日

1-5~1-7 (略)

1-8 盛土工

1-8-1 林道工事における盛土

1 適用範囲及び施工概要

(1) 適用範囲

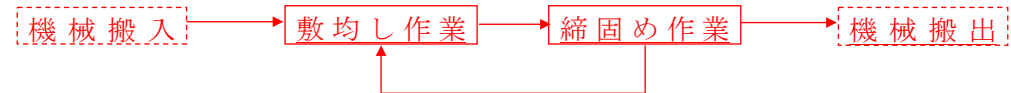
本歩掛は、以下の林道工事における路体・路床・築堤の盛土に適用する。

なお、整地作業には適用しない。

1) 施工幅員が 2.5m以上 4.0m未満の林道工事

2) 施工幅員が 4.0m以上かつ施工土量が 5,000 m³未満の林道工事

(2) 施工概要 (施工フロー)



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

2 機種を選定

機種・規格は、次表を標準とする。

表 2. 1 機種を選定

工種	施工幅員	施工土量	作業区分	機種	規格
路体 築堤 路床	2.5m以上 4.0m未満	-	敷均し	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制) 山積 0.45m ³ (平積0.35m ³)
			締固め	振動ローラ	ハンドガイド式 0.5~0.6t
路体 築堤 路床	4.0m以上	5,000m ³ 未満	敷均し	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制) 山積 0.45m ³ (平積0.35m ³)
			締固め	振動ローラ	排出ガス対策型 (第3次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t

(注) 1. 機種を選定に当たり、上表により難しい場合は、別途考慮する。

2. 上表で示す土量は、工事全体の設計量である。

3. 振動ローラは賃料とする。

3 施工歩掛

日当たり施工量は、次表を標準とする。

表 3. 1 路体 (築堤) 盛土

(1日当たり)

施工幅員	施工土量	障害の有無	単位	数量
2.5m以上 4.0m未満	-	-	m ³	40
4.0m以上	5,000 m ³ 未満	障害なし	//	167
		障害あり	//	98

(注) 1. 上表は締固め後の土量である。

2. 敷均し・締固め作業の一連の仕上り厚は30cm以下とする。

1-8 盛土

(新設)

表3. 2 路床盛土

(1日当たり)

施工幅員	施工土量	障害の有無	単位	数量
2.5m以上4.0m未満	二	二	m ³	33
4.0m以上	5,000 m ³ 未満	障害なし	//	136
		障害あり	//	77

(注) 1. 上表は締固め後の土量である。

2. 敷均し・締固め作業の一連の仕上り厚は20cm以下とする。

4 補助労務

路体(築堤)盛土及び路床盛土の補助労務は、次表を標準とする。

表4. 1 機械補助労務

(人/100 m³当たり)

名称	単位	数量
普通作業員	m ³	0.2

5 単価表

(1) 路体(築堤)盛土、路床盛土 100 m³当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人		表4. 1
バックホウ (クローラ型) 運 転	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)山積 0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	日	100/D	表3. 1、表3. 2
振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.5~0.6t 又は 排出ガス対策型(第3次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	日	100/D	//
計				

(注) D:日当たり施工量

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型) (敷均し)	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)山積 0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→69 機械損料数量→1.64
振動ローラ (締固め)	ハンドガイド式 0.5~0.6t	機-31	運転労務数量→1.00 燃料消費量→12 機械賃料数量→1.71
振動ローラ (締固め)	排出ガス対策型(第3次基準値)搭乗式・コンバインド型 3~4t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 機械賃料数量→1.86

1-8-2 盛土

1 適用範囲及び施工概要

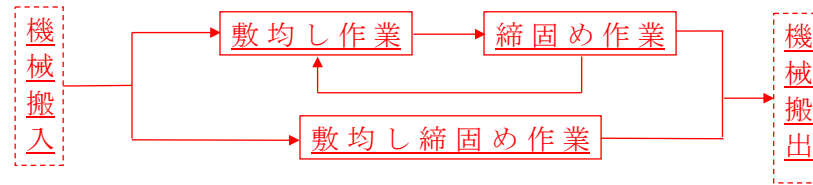
(1) 適用範囲

本歩掛は、林道工事(施工土量5,000 m³未満)を除く施工幅員が4.0m以上の路体・路床・築堤及び構造物の埋戻しに伴う敷均し締固め作業に適用する。

なお、整地作業には適用しない。

(新設)

(2) 施工概要 (施工フロー)



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

2 機種を選定
機種・規格は次表を標準とする。

表 2. 1 (略)

3 機種別の作業量
表 3. 1 (略)

4 敷均し作業量の算定

(1) ブルドーザの1時間当たり敷均し作業量の算定式は、次のとおりとする。
(略)

表 4. 1 (略)

(2) 敷均し補助労力は、Qに対して次表により計上する

表 4. 2 (略)

5 締固め作業量の算定
(略)

表 5. 1 (略)

6 (略)

1-8-3 盛土 (ブルドーザ敷均し) (狭幅)

1 適用範囲及び施工概要

(1) 適用範囲

本歩掛は、山地治山土工における施工幅員が2.5m以上4.0m未満の路体・路床・築堤の盛土及び構造物の埋戻し作業に適用する。
なお、整地作業には適用しない。

(2) (略)

2 機種を選定

機種・規格は、次表を標準とする。

表 2. 1 機種を選定
(略)

1 機械盛土

(1) 機種を選定

施工幅員が4.0m以上の路体・路床・築堤の敷均し・締固め作業に適用する機種・規格は次表のとおりとする。

表 1. 1 (略)

(2) 機種別の作業量

表 1. 2 (略)

(3) 敷均し作業量の算定

① ブルドーザの1時間当たり敷均し作業量の算定式は、次のとおりとする。
(略)

表 1. 3 (略)

② 敷均し補助労力は、Qに対して次表により計上する

表 1. 4 (略)

(4) 締固め作業量の算定

(略)

表 1. 5 (略)

(5) (略)

1-8-1 盛土 (ブルドーザ敷均し) (狭幅)

1 適用範囲及び施工概要

(1) 適用範囲

本歩掛は、施工幅員が2.5m以上4m未満の路体・路床・築堤の盛土及び構造物の埋戻し作業に適用する。
なお、整地作業には適用しない。

(2) (略)

2 機種を選定

機種は、次表を標準とする。

表 2. 1 適用機種
(略)

3 施工歩掛

3 t級ブルドーザによる敷均しの日当たり施工量は、次表を標準とする。

表3. 1 日当たり施工量

(1日当たり)

機種名	規 格	単位	数量
ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3 t級	m ³	130

4 補助労務

敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。

表4. 1 (略)

5 単価表

(1) 3 t級ブルドーザ敷均し 100 m³当たり単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
<u>普通作業員</u>		<u>人</u>		<u>表4. 1</u>
ブルドーザ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通 <u>3t</u> 級	日	100/D	<u>表3. 1</u>
(削る。)		(削る。)		(削る。)
計				

(注) D：日当たり施工量

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
ブルドーザ (敷均し)	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3 t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>24</u> 機械損料数量→ <u>1.58</u>

1-8-4 振動ローラ締固め (狭幅)

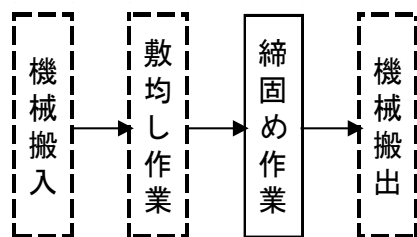
1 適用範囲及び施工概要

(1) 適用範囲

本歩掛は、山地治山土工における施工幅員が 4.0m未満の路体・路床・築堤及び構造物の埋戻しに伴う締固め作業に適用する。

なお、整地作業には適用しない。

(2) 施工概要 (施工フロー)



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

2 機種の選定

機種・規格は、次表を標準とする。

3 施工歩掛

3 t級ブルドーザによる敷均しの日当たり施工量は、次表を標準とする。

表3. 1 日当たり施工量

(1日当たり)

機種名	規 格	単位	施工量
ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3 t級	m ³	130

4 補助労務

敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。

表4. 1 (略)

5 単価表

(1) 3 t級ブルドーザ敷均し 100 m³当たり単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
(新設)		(新設)		(新設)
ブルドーザ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通 <u>3 t</u> 級	日	100/D	(新設)
<u>普通作業員</u>		<u>人</u>		<u>表4. 1</u>
計				

(注) D：日当たり施工量

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
ブルドーザ (敷均し)	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3 t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>25</u> 機械損料数量→ <u>1.56</u>

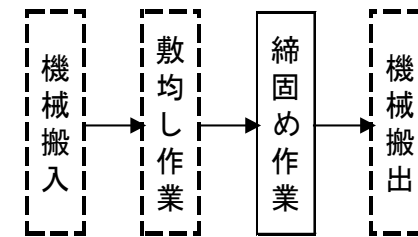
1-8-2 振動ローラ締固め (狭幅)

1 適用範囲及び施工概要

(1) 適用範囲

本部掛は、施工幅員が 4 m未満の路体・路床・築堤及び構造物の埋戻しに伴う締固め作業に適用する。

(2) 施工概要 (施工フロー)



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

(新設)

表 2. 1 機種を選定

施工幅員	機種	規格
2.5m未満	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8～1.1 t
2.5m以上4.0m未満	振動ローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3～4t

3 施工歩掛

各作業の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 3. 1 日当たり施工量

工種	規格	単位	数量
路床	排出ガス対策型 (第3次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3～4 t	m ³	78
	ハンドガイド式 0.8～1.1 t	〃	43
路体 築堤	排出ガス対策型 (第3次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3～4 t	〃	86
	ハンドガイド式 0.8～1.1 t	〃	50
埋戻し	排出ガス対策型 (第3次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3～4 t	〃	86
	ハンドガイド式 0.8～1.1 t	〃	50

4 単価表

(1) 振動ローラ締固め 100 m³当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
振動ローラ運転	排出ガス対策型 (第3次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3～4 t 又は ハンドガイド式 0.8～1.1 t	日	100/D	表 2. 1
計				

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
振動ローラ	排出ガス対策型 (第3次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3～4 t 級	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→17 機械賃料数量→1.60
振動ローラ	ハンドガイド式 0.8～1.1 t 級	機-31	運転労務数量→1.00 燃料消費量→6.1 機械賃料数量→1.44

1-9～1-11 (略)

1-12 (参考歩掛) 骨材再生工 (自走式)

(1)・(2) (略)

(3) 自走式破碎機設置・撤去工

1)・2) (略)

3) 諸雑費

諸雑費は、自走式破碎機付属機 (磁力式選別機、振動ふるい機、ベルトコンベア) 等の費用であり、労務費、機械賃料、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

2 施工歩掛

各作業の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 2. 1 日当たり施工量

工種	規格	単位	数量
路床	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3～4 t	m ³	78
	ハンドガイド式 0.8～1.1 t	〃	43
路体 築堤	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3～4 t	〃	86
	ハンドガイド式 0.8～1.1 t	〃	50
埋戻し	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3～4 t	〃	86
	ハンドガイド式 0.8～1.1 t	〃	50

3 単価表

(1) 振動ローラ締固め 100 m³当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
振動ローラ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3～4 t 又は ハンドガイド式 0.8～1.1 t	日	100/D	表 2.1
計				

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
振動ローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3～4 t 級	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 機械賃料数量→1.60
振動ローラ	ハンドガイド式 0.8～1.1 t 級	機-31	運転労務数量→1.00 燃料消費量→5.3 機械賃料数量→1.44

1-9～1-11 (略)

1-12 (参考歩掛) 骨材再生工 (自走式)

(1)・(2) (略)

(3) 自走式破碎機設置・撤去工

1)・2) (略)

3) 諸雑費

諸雑費は、自走式破碎機付属機 (磁力式選別機、振動ふるい機、ベルトコンベア) 等の費用であり、労務費、機械賃料、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

諸雑費率

(%)

諸 雑 費 率	<u>7</u>
---------	----------

(4) (略)

(5) 単価表

1)・2) (略)

3) 機械運転単価表

名 称	規 格	適用単価表	指 定 事 項
大型ブレーカ	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第 1次基準値)] 山積 0.6 m ³ (平積 0.5 m ³)	機-20	機械損料 1 →バックホウ 運転労務数量→1.00 燃料消費量→72 機械損料数量→ <u>1.16</u>
	大型ブレーカ (ベースマシン 含まず) [油圧式] 質量 600~800 kg級		機械損料 2 →大型ブレーカ 機械損料数量→ <u>1.16</u>
バックホウ	クローラ型 排出ガス対策型 山積 1.0 m ³ (平積 0.7 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>104</u> 機械損料数量→ <u>1.13</u>
自走式破砕機	ジョークラッシャ 機械質量 30t 級 供給口開き×幅 450×925 mm	機-24	燃料消費量→ <u>177</u> 機械損料数量→ <u>1.71</u>

備考 自走式破砕機の運転歩掛は、施工歩掛に含まれている。

第2 (略)

諸雑費率

(%)

諸 雑 費 率	<u>8</u>
---------	----------

(4) (略)

(5) 単価表

1)・2) (略)

3) 機械運転単価表

名 称	規 格	適用単価表	指 定 事 項
大型ブレーカ	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第 1次基準値)] 山積 0.6 m ³ (平積 0.5 m ³)	機-20	機械損料 1 →バックホウ 運転労務数量→1.00 燃料消費量→72 機械損料数量→ <u>1.15</u>
	大型ブレーカ (ベースマシン 含まず) [油圧式] 質量 600~800 kg級		機械損料 2 →大型ブレーカ 機械損料数量→ <u>1.15</u>
バックホウ	クローラ型 排出ガス対策型 山積 1.0 m ³ (平積 0.7 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>110</u> 機械損料数量→ <u>1.12</u>
自走式破砕機	ジョークラッシャ 機械質量 30t 級 供給口開き×幅 450×925 mm	機-24	燃料消費量→169 機械損料数量→ <u>1.69</u>

備考 自走式破砕機の運転歩掛は、施工歩掛に含まれている。

第2 (略)

第3 コンクリート工

3-1・3-2 (略)

3-3 張りコンクリート工
1~4 (略)

5 単価表

(1) ~ (5) (略)

(6) 機械運転単価表

名称	規格	適用単価表	摘要
バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³) 吊能力 1.7 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>37</u> 機械賃料数量→1.6
バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・クレーン機能 付き 排出ガス対策型 (2011年規制) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³) 吊能力 2.9 t	機-1	

3-4・3-5 (略)

第3 コンクリート工

3-1・3-2 (略)

3-3 張りコンクリート工
1~4 (略)

5 単価表

(1) ~ (5) (略)

(6) 機械運転単価表

名称	規格	適用単価表	摘要
バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³) 吊能力 1.7 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>39.5</u> 機械賃料数量→1.6
バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・クレーン機能 付き 排出ガス対策型 (2011年規制) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³) 吊能力 2.9 t	機-1	

3-4・3-5 (略)

第4 共通工(1) (法面工等)

4-1 法面工

4-1-1

4-1-2 プレキャスト法枠工

(1)・(2) (略)

(3) 機種の選定

使用する機械の機種、規格は、次表を標準とする。

機種の選定

機 械 名	規 格	台数	摘 要
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (2011年規制) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	1	プレキャストブロック設置 中詰材設置
バックホウ	排出ガス対策型 (第3次基準 値)・クローラ型 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	1	中詰材設置

備考 (略)

(4) ~ (6) (略)

(7) 敷砂利

敷砂利投入が必要な場合の施工歩掛は、次表とする。

敷砂利施工歩掛

(10 m³当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量
山林砂防工 (普通作業員)		人	1.0
バックホウ運転	排出ガス対策型 (第3次基準 値)・クローラ型 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	h	2.0

備考 (略)

(略)

第4 共通工(1) (法面工等)

4-1 法面工

4-1-1

4-1-2 プレキャスト法枠工

(1)・(2) (略)

(3) 機種の選定

使用する機械の機種、規格は、次表を標準とする。

機種の選定

機 械 名	規 格	台数	摘 要
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (第1次基準 値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	1	プレキャストブロック設置 中詰材設置
バックホウ	排出ガス対策型 (第1次基準 値)・クローラ型 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	1	中詰材設置

備考 (略)

(4) ~ (6) (略)

(7) 敷砂利

敷砂利投入が必要な場合の施工歩掛は、次表とする。

敷砂利施工歩掛

(10 m³当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量
山林砂防工 (普通作業員)		人	1.0
バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準 値)・クローラ型 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	h	2.0

備考 (略)

(略)

- (8) 中詰工
中詰工の施工歩掛は、次表とする。

中詰工施工歩掛

名称	規格	単位	中詰区分				
			中詰ブロック (100 m ²)	客土 (100 m ³)	植生土のう (1000 袋)	割石又は栗石 (10 m ³)	砕石 (10 m ³)
世話役		人	1.2	5.3	1.6	1.0	0.5
ブロック工		〃	4.4	—	—	—	—
法面工		〃	—	6.0	2.7	—	—
山林砂防工 (普通作業員)		〃	8.0	36.4	12.0	6.6	3.1
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 (2011年規制) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	(備考 6)	6.2	0.9	0.5	—
バックホウ運転	排出ガス対策型 (第3次基準値)・ クローラ型 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	h	—	—	—	—	5.4
諸雑费率		%	10	—	—	—	—

備考 (略)
(略)

- (9) (略)

- (10) 単価表

- 1) プレキャストブロック設置 100 m²当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	1×100/D	(4)
～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 (2011年 規制) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	1×100/D	
諸雑費		式	1	(6)
計				

備考 (略)

- 2) 敷砂利 10 m³当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
山林砂防工 (普通作業員)		人		(7)
砂利		m ³		(7)備考2
バックホウ運転	排出ガス対策型 (第3次 基準値)・クローラ型 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	h		(7)
計				

- (8) 中詰工
中詰工の施工歩掛は、次表とする。

中詰工施工歩掛

名称	規格	単位	中詰区分				
			中詰ブロック (100 m ²)	客土 (100 m ³)	植生土のう (1000 袋)	割石又は栗石 (10 m ³)	砕石 (10 m ³)
世話役		人	1.2	5.3	1.6	1.0	0.5
ブロック工		〃	4.4	—	—	—	—
法面工		〃	—	6.0	2.7	—	—
山林砂防工 (普通作業員)		〃	8.0	36.4	12.0	6.6	3.1
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	(備考 6)	6.2	0.9	0.5	—
バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値)・ クローラ型 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	h	—	—	—	—	5.4
諸雑费率		%	10	—	—	—	—

備考 (略)
(略)

- (9) (略)

- (10) 単価表

- 1) プレキャストブロック設置 100 m²当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	1×100/D	(4)
～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次 基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	1×100/D	
諸雑費		式	1	(6)
計				

備考 (略)

- 2) 敷砂利 10 m³当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
山林砂防工 (普通作業員)		人		(7)
砂利		m ³		(7)備考2
バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次 基準値)・クローラ型 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	h		(7)
計				

3) 中詰ブロック設置 100 m²当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(8)
～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型(2011年 規制) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日		(8)備考6 必要に応じ計上
諸雑費		式	1	(8)
計				

4) 中詰客土設置 100 m³当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(8)
～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～
山林砂防工 (普通作業員)		〃		〃
客土		m ³		(8)備考8
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型(2011年 規制) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日		(8)
計				

5) 中詰植生土のう設置 1,000 袋当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(8)
～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型(2011年 規制) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日		(8)
計				

6) 中詰割石又は栗石設置 10 m³当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(8)
～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型(2011年 規制) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日		(8)
計				

7) 中詰碎石設置 10 m³当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(8)
～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～
バックホウ運転	排出ガス対策型(第3次 基準値)・クローラ型 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	h		(8)
計				

8) (略)

3) 中詰ブロック設置 100 m²当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(8)
～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型(第1次 基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日		(8)備考6 必要に応じ計上
諸雑費		式	1	(8)
計				

4) 中詰客土設置 100 m³当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(8)
～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～
山林砂防工 (普通作業員)		〃		〃
客土		m ³		(8)備考8
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型(第1次 基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日		(8)
計				

5) 中詰植生土のう設置 1,000 袋当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(8)
～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型(第1次 基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日		(8)
計				

6) 中詰割石又は栗石設置 10 m³当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(8)
～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型(第1次 基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日		(8)
計				

7) 中詰碎石設置 10 m³当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(8)
～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次 基準値)・クローラ型 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	h		(8)
計				

8) (略)

9) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
バックホウ	排出ガス対策型（第3次基準値）・クローラ型 山積 0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）	機-1	

4-1-3 現場打法砕工

- (1)～(3) (略)
(4) 機種の選定

機械・規格は、次表を標準とする。

作業種別	機 械 名	規 格	摘 要
コンクリート投入打設	コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 90～110 m ³ /h	ブーム打設及び配管打設に適用
型 枠 工	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（2011年規制） 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	

備考 (略)

- (5)～(12) (略)

4-1-4 簡易法砕工

- (1)～(6)
(7) 単価表
1)～8) (略)

9) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
モルタルコンクリート吹付機	湿式・モータ駆動 0.8～1.2 m ³ /h	機-15	
空 気 圧 縮 機	可搬式スクリュウエンジン掛（超低騒音型）排出ガス対策型（第2次基準値） 10.5～11.0 m ³ /min	機-16	燃料消費量→69 賃料数量→1.71
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動（超低騒音型）排出ガス対策型（第3次基準値）45kVA	機-16	燃料消費量→31 賃料数量→1.71
ホイールローダ	普通・排出ガス対策型（第2次基準値）山積 0.34 m ³	機-29	運転労務数量→0.80 燃料消費量→14 賃料数量→1.58

(参考) (略)

4-1-5 現場吹付工

- (1)～(5) (略)
(6) 単価表
1)～8) (略)

9) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
モルタルコンクリート	湿式・モータ駆動	機-25	機械損料数量→1.62

9) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値）・クローラ型 山積 0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）	機-1	

4-1-3 現場打法砕工

- (1)～(3) (略)
(4) 機種の選定

機械・規格は、次表を標準とする。

作業種別	機 械 名	規 格	摘 要
コンクリート投入打設	コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 90～110 m ³ /h	ブーム打設及び配管打設に適用
型 枠 工	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	

備考 (略)

- (5)～(12) (略)

4-1-4 簡易法砕工

- (1)～(6)
(7) 単価表
1)～8) (略)

9) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
モルタルコンクリート吹付機	湿式・モータ駆動 0.8～1.2 m ³ /h	機-15	
空 気 圧 縮 機	可搬式スクリュウエンジン掛（超低騒音型）排出ガス対策型（第2次基準値） 10.5～11.0 m ³ /min	機-16	燃料消費量→81 賃料数量→1.71
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動（超低騒音型）排出ガス対策型（第3次基準値）45kVA	機-16	燃料消費量→36 賃料数量→1.71
ホイールローダ	普通・排出ガス対策型（第2次基準値）山積 0.34 m ³	機-29	運転労務数量→0.80 燃料消費量→15 賃料数量→1.58

(参考) (略)

4-1-5 現場吹付工

- (1)～(5) (略)
(6) 単価表
1)～8) (略)

9) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
モルタルコンクリート	湿式・モータ駆動	機-25	機械損料数量→1.6

吹付機 (法枠吹付の場合)	0.8~1.2 m ³ /h		
モルタルコンクリート 吹付機 (枠内吹付の場合)		機-15	
ホイールローダ	普通・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.34 m ³	機-29	運転労務数量→0.80 燃料消費量→ <u>14</u> 賃料数量→1.58
空気圧縮機	可搬式スクリーエンジン掛(超低騒音型) 排出ガス対策型(第2次基準値) 10.5~11.0 m ³ /min	機-16	燃料消費量→ <u>69</u> 賃料数量→1.71
発電機	ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次基準値) 45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>31</u> 賃料数量→1.71

4-2 モルタル・コンクリート吹付工

4-2-1 (略)

4-2-2 モルタル吹付工

(1)~(6) (略)

(7) 施工単価

1) (略)

2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
モルタルコンクリート 吹付機	湿式・モータ駆動 0.8~1.2 m ³ /h	機-15	
空気圧縮機	可搬式スクリーエンジン掛(超低騒音型) 排出ガス対策型(第2次基準値) 10.5~11.0 m ³ /min	機-16	燃料消費量→ <u>69</u> 賃料数量→1.71
発電機	ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次基準値) 45kVA	〃	燃料消費量→ <u>31</u> 賃料数量→1.71

4-2-3 コンクリート吹付工

(1)~(6) (略)

(7) 施工単価

1) (略)

2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
モルタルコンクリート 吹付機	湿式・モータ駆動 0.8~1.2 m ³ /h	機-15	
空気圧縮機	可搬式スクリーエンジン掛(超低騒音型) 排出ガス対策型(第2次基準値) 10.5~11.0 m ³ /min	機-16	燃料消費量→ <u>69</u> 賃料数量→1.71
発電機	ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次基準値) 45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>31</u> 賃料数量→1.71

吹付機 (法枠吹付の場合)	0.8~1.2 m ³ /h		
モルタルコンクリート 吹付機 (枠内吹付の場合)		機-15	
ホイールローダ	普通・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.34 m ³	機-29	運転労務数量→0.80 燃料消費量→ <u>15</u> 賃料数量→1.58
空気圧縮機	可搬式スクリーエンジン掛(超低騒音型) 排出ガス対策型(第2次基準値) 10.5~11.0 m ³ /min	機-16	燃料消費量→ <u>81</u> 賃料数量→1.71
発電機	ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次基準値) 45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>36</u> 賃料数量→1.71

4-2 モルタル・コンクリート吹付工

4-2-1 (略)

4-2-2 モルタル吹付工

(1)~(6) (略)

(7) 施工単価

1) (略)

2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
モルタルコンクリート 吹付機	湿式・モータ駆動 0.8~1.2 m ³ /h	機-15	
空気圧縮機	可搬式スクリーエンジン掛(超低騒音型) 排出ガス対策型(第2次基準値) 10.5~11.0 m ³ /min	機-16	燃料消費量→ <u>81</u> 賃料数量→1.71
発電機	ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次基準値) 45kVA	〃	燃料消費量→ <u>36</u> 賃料数量→1.71

4-2-3 コンクリート吹付工

(1)~(6) (略)

(7) 施工単価

1) (略)

2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
モルタルコンクリート 吹付機	湿式・モータ駆動 0.8~1.2 m ³ /h	機-15	
空気圧縮機	可搬式スクリーエンジン掛(超低騒音型) 排出ガス対策型(第2次基準値) 10.5~11.0 m ³ /min	機-16	燃料消費量→ <u>81</u> 賃料数量→1.71
発電機	ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次基準値) 45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>36</u> 賃料数量→1.71

4-2-4 特殊配合モルタル吹付工A

- (1) ~ (5) (略)
 (6) 単価表
 1)・2) (略)

3) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
モルタルコンクリート吹付機	湿式・モータ駆動 0.8~1.2 m ³ /h	機-15	
空気圧縮機	可搬式スクリーエンジン掛(超低騒音型)排出ガス対策型(第2次基準値) 10.5~11.0 m ³ /min	機-16	燃料消費量→ <u>69</u> 賃料数量→1.71
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型)排出ガス対策型(第3次基準値)45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>31</u> 賃料数量→1.71
種子吹付機	車載用(種子専用)2.5 m ³	機-13	
トラック	4~4.5 t積	機-6	

(参考) (略)

4-2-5 特殊配合モルタル吹付工B

- (1) ~ (5) (略)
 (6) 単価表
 1) (略)
 2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
モルタルコンクリート吹付機	湿式・モータ駆動 0.8~1.2 m ³ /h	機-15	
空気圧縮機	可搬式スクリーエンジン掛(超低騒音型)排出ガス対策型(第2次基準値) 10.5~11.0 m ³ /min	機-16	燃料消費量→ <u>69</u> 賃料数量→1.71
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型)排出ガス対策型(第3次基準値)45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>31</u> 賃料数量→1.71

(参考) (略)

4-2-4 特殊配合モルタル吹付工A

- (1) ~ (5) (略)
 (6) 単価表
 1)・2) (略)

3) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
モルタルコンクリート吹付機	湿式・モータ駆動 0.8~1.2 m ³ /h	機-15	
空気圧縮機	可搬式スクリーエンジン掛(超低騒音型)排出ガス対策型(第2次基準値) 10.5~11.0 m ³ /min	機-16	燃料消費量→ <u>81</u> 賃料数量→1.71
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型)排出ガス対策型(第3次基準値)45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>36</u> 賃料数量→1.71
種子吹付機	車載用(種子専用)2.5 m ³	機-13	
トラック	4~4.5 t積	機-6	

(参考) (略)

4-2-5 特殊配合モルタル吹付工B

- (1) ~ (5) (略)
 (6) 単価表
 1) (略)
 2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
モルタルコンクリート吹付機	湿式・モータ駆動 0.8~1.2 m ³ /h	機-15	
空気圧縮機	可搬式スクリーエンジン掛(超低騒音型)排出ガス対策型(第2次基準値) 10.5~11.0 m ³ /min	機-16	燃料消費量→ <u>81</u> 賃料数量→1.71
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型)排出ガス対策型(第3次基準値)45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>36</u> 賃料数量→1.71

(参考) (略)

4-2-6 特殊配合モルタル吹付工C

- (1) ~ (5) (略)
 (6) 単価表
 1) (略)
 2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
モルタルコンクリート吹付機	湿式・モータ駆動 0.8~1.2 m ³ /h	機-15	
空気圧縮機	可搬式スクリーエンジン掛(超低騒音型) 排出ガス対策型(第2次基準値) 10.5~11.0 m ³ /min	機-16	燃料消費量→ <u>69</u> 賃料数量→1.71
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次基準値) 45kVA	〃	燃料消費量→ <u>31</u> 賃料数量→1.71

(参考) (略)

4-3 植生基材吹付工

4-3-1 植生基材吹付工・特殊植生基材吹付工

- (1) ~ (6) (略)
 (7) 単価表
 1) (略)
 2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
モルタルコンクリート吹付機	湿式・モータ駆動 0.8~1.2 m ³ /h	機-15	
空気圧縮機	可搬式スクリーエンジン掛(超低騒音型) 排出ガス対策型(第2次基準値) 10.5~11.0 m ³ /min	機-16	燃料消費量→ <u>69</u> 賃料数量→1.71
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次基準値) 45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>31</u> 賃料数量→1.71

4-3-2 (略)

4-3-3 客土吹付特殊工

- (1) ~ (4) (略)
 (5) 単価表
 1) (略)
 2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
種子吹付機	車載式(種子専用) 2.5 m ³	機-13	
トラック	4~4.5 t積	機-6	
発動発電機	排出ガス対策型 ディーゼルエンジン駆動 13/15kVA	機-16	燃料消費量→ <u>17</u> 賃料数量→1.09

(参考) (略)

4-4~4-6 (略)

4-2-6 特殊配合モルタル吹付工C

- (1) ~ (5) (略)
 (6) 単価表
 1) (略)
 2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
モルタルコンクリート吹付機	湿式・モータ駆動 0.8~1.2 m ³ /h	機-15	
空気圧縮機	可搬式スクリーエンジン掛(超低騒音型) 排出ガス対策型(第2次基準値) 10.5~11.0 m ³ /min	機-16	燃料消費量→ <u>81</u> 賃料数量→1.71
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次基準値) 45kVA	〃	燃料消費量→ <u>36</u> 賃料数量→1.71

(参考) (略)

4-3 植生基材吹付工

4-3-1 植生基材吹付工・特殊植生基材吹付工

- (1) ~ (6) (略)
 (7) 単価表
 1) (略)
 2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
モルタルコンクリート吹付機	湿式・モータ駆動 0.8~1.2 m ³ /h	機-15	
空気圧縮機	可搬式スクリーエンジン掛(超低騒音型) 排出ガス対策型(第2次基準値) 10.5~11.0 m ³ /min	機-16	燃料消費量→ <u>81</u> 賃料数量→1.71
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次基準値) 45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>36</u> 賃料数量→1.71

4-3-2 (略)

4-3-3 客土吹付特殊工

- (1) ~ (4) (略)
 (5) 単価表
 1) (略)
 2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
種子吹付機	車載式(種子専用) 2.5 m ³	機-13	
トラック	4~4.5 t積	機-6	
発動発電機	排出ガス対策型 ディーゼルエンジン駆動 13/15kVA	機-16	燃料消費量→ <u>20</u> 賃料数量→1.09

(参考) (略)

4-4~4-6 (略)

4-7 斜面安定工

4-7-1 鉄筋挿入工

(1) ~ (5) (略)

(6) 単価表

1) ~ 5) (略)

6) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
空気圧縮機運転	排出ガス対策型 可搬式、エンジン駆動 18~19 m ³ /min	機-16	燃料消費量→139 賃料数量→1.27

4-7-2 鉄筋挿入工 (自穿孔)

1~7 (略)

(1) ~ (6)

(7) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
空気圧縮機運転	排出ガス対策型 可搬式、 エンジン駆動 7.5~7.8 m ³ /min	機-16	燃料消費量→66 賃料数量→1.75

4-7-3 (略)

第5 共通工(2) (土留工・擁壁工等)

5-1~5-4 (略)

5-5 基礎工・裏込工

5-5-1 基礎・裏込砕石工

(1) ~ (7) (略)

(8) 単価表

1)・2) (略)

3) 機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準 値)・クローラ型 山積 0.8 m ³ (平 積 0.6 m ³)	機-28	基礎砕石工 運転労務数量→0.58 燃料消費量→39 賃料数量→0.79 裏込砕石工 運転労務数量→0.90 燃料消費量→61 賃料数量→1.00

5-5-2 基礎・裏込栗石工

(1) ~ (6) (略)

(7) 単価表

1) ~ 3) (略)

4) 機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) ・クローラ型 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-28	基礎栗石工 (敷均し) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→68 賃料数量→1.00 基礎栗石工 (敷並べ) 運転労務数量→0.58 燃料消費量→39 賃料数量→0.79

4-7 斜面安定工

4-7-1 鉄筋挿入工

(1) ~ (5) (略)

(6) 単価表

1) ~ 5) (略)

6) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
空気圧縮機運転	排出ガス対策型 可搬式、エンジン駆動 18~19 m ³ /min	機-16	燃料数量→164 賃料数量→1.27

4-7-2 鉄筋挿入工 (自穿孔)

1~7 (略)

(1) ~ (6)

(7) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
空気圧縮機運 転	排出ガス対策型 可搬式、 エンジン駆動 7.5~7.8 m ³ /min	機-16	燃料→78 賃料→1.75

4-7-3 (略)

第5 共通工(2) (土留工・擁壁工等)

5-1~5-4 (略)

5-5 基礎工・裏込工

5-5-1 基礎・裏込砕石工

(1) ~ (7) (略)

(8) 単価表

1)・2) (略)

3) 機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準 値)・クローラ型 山積 0.8 m ³ (平 積 0.6 m ³)	機-28	基礎砕石工 運転労務数量→0.58 燃料消費量→41 賃料数量→0.79 裏込砕石工 運転労務数量→0.90 燃料消費量→65 賃料数量→1.00

5-5-2 基礎・裏込栗石工

(1) ~ (6) (略)

(7) 単価表

1) ~ 3) (略)

4) 機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) ・クローラ型 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-28	基礎栗石工 (敷均し) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→72 賃料数量→1.00 基礎栗石工 (敷並べ) 運転労務数量→0.58 燃料消費量→41 賃料数量→0.79

			裏込栗石工 (かき込み) 運転労務数量→0.90 燃料消費量→ <u>61</u> 賃料数量→1.00
--	--	--	---

5-5-3 (略)

5-6~5-8 (略)

5-9 落石防護柵工

5-9-1 (略)

5-9-2 落石防止網 (ロックネット) 設置工

(1)~(11) (略)

(12) 単価表

1)~10) (略)

11) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
簡易ケーブルクレーン	エンジン式 巻上げ能力 1.0 t	機-23	運転労務数量→1.00 燃料消費量→6 機械損料数量→ <u>1.55</u>

(参考1)~(参考3) (略)

5-9-3~5-9-5 (略)

5-10~5-18 (略)

5-19 (参考歩掛) 目地・止水板設置工

(1)・(2) (略)

(3) 施工歩掛

1) 目地板設置歩掛

目地板の設置歩掛は、次表のとおりとする。

目地板設置歩掛

(10㎡当たり)

名称	単位	数量
世話役	人	<u>0.22</u>
山林砂防工 (普通作業員)	"	<u>0.76</u>

2) 止水板設置歩掛

止水板の設置歩掛は、次表のとおりとする。

止水板設置歩掛

(10m当たり)

名称	単位	数量
世話役	人	<u>0.14</u>
山林砂防工	"	<u>0.48</u>

			裏込栗石工 (かき込み) 運転労務数量→0.90 燃料消費量→ <u>65</u> 賃料数量→1.00
--	--	--	---

5-5-3 (略)

5-6~5-8 (略)

5-9 落石防護柵工

5-9-1 (略)

5-9-2 落石防止網 (ロックネット) 設置工

(1)~(11) (略)

(12) 単価表

1)~10) (略)

11) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
簡易ケーブルクレーン	エンジン式 巻上げ能力 1.0 t	機-23	運転労務数量→1.00 燃料消費量→6 機械損料数量→ <u>1.53</u>

(参考1)~(参考3) (略)

5-9-3~5-9-5 (略)

5-10~5-18 (略)

5-19 (参考歩掛) 目地・止水板設置工

(1)・(2) (略)

(3) 施工歩掛

1) 目地板設置歩掛

目地板の設置歩掛は、次表のとおりとする。

目地板設置歩掛

(10㎡当たり)

名称	単位	数量
世話役	人	<u>0.05</u>
山林砂防工 (普通作業員)	"	<u>0.29</u>

2) 止水板設置歩掛

止水板の設置歩掛は、次表のとおりとする。

止水板設置歩掛

(10m当たり)

名称	単位	数量
世話役	人	<u>0.13</u>
山林砂防工	"	<u>0.45</u>

(普通作業員)		
---------	--	--

(4)・(5) (略)

(普通作業員)		
---------	--	--

(4)・(5) (略)

第6 基礎工

6-1 杭打工

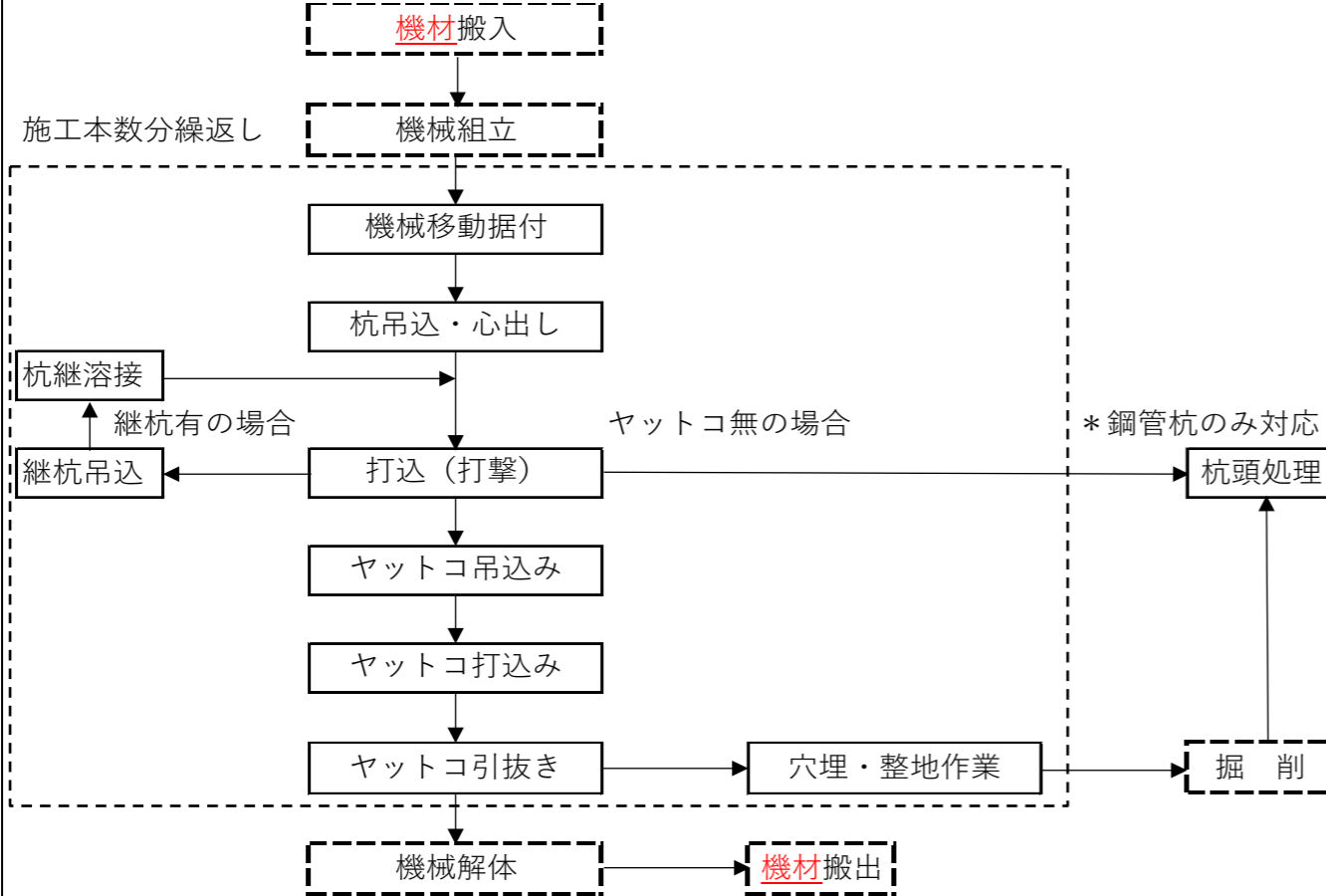
6-1-1~6-1-4 (略)

6-1-5 鋼管・既製コンクリート杭打工 (パイルハンマ工)

(1) (略)

(2) 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

(3) ~ (5) (略)

(6) 施工歩掛

1) 杭 10 本当たり施工日数 (Td)

杭 10 本当たり施工日数は、次式による。

鋼管杭の場合

$$Td = \alpha \times Ta \times B \quad (\text{日/10 本})$$

既製コンクリート杭の場合

$$Td = Ta \times B \quad (\text{日/10 本})$$

Td : 杭 10 本当たり施工日数 (日/10 本)

α : 板厚係数

B : 作業係数 (ヤットコ使用の場合及び打込長 10m 以下は、 $B = 1$)

Ta : 杭種、機種別施工日数 (ヤットコ打込みを含む。) (日/10 本)

ア~ウ (略)

第6 基礎工

6-1 杭打工

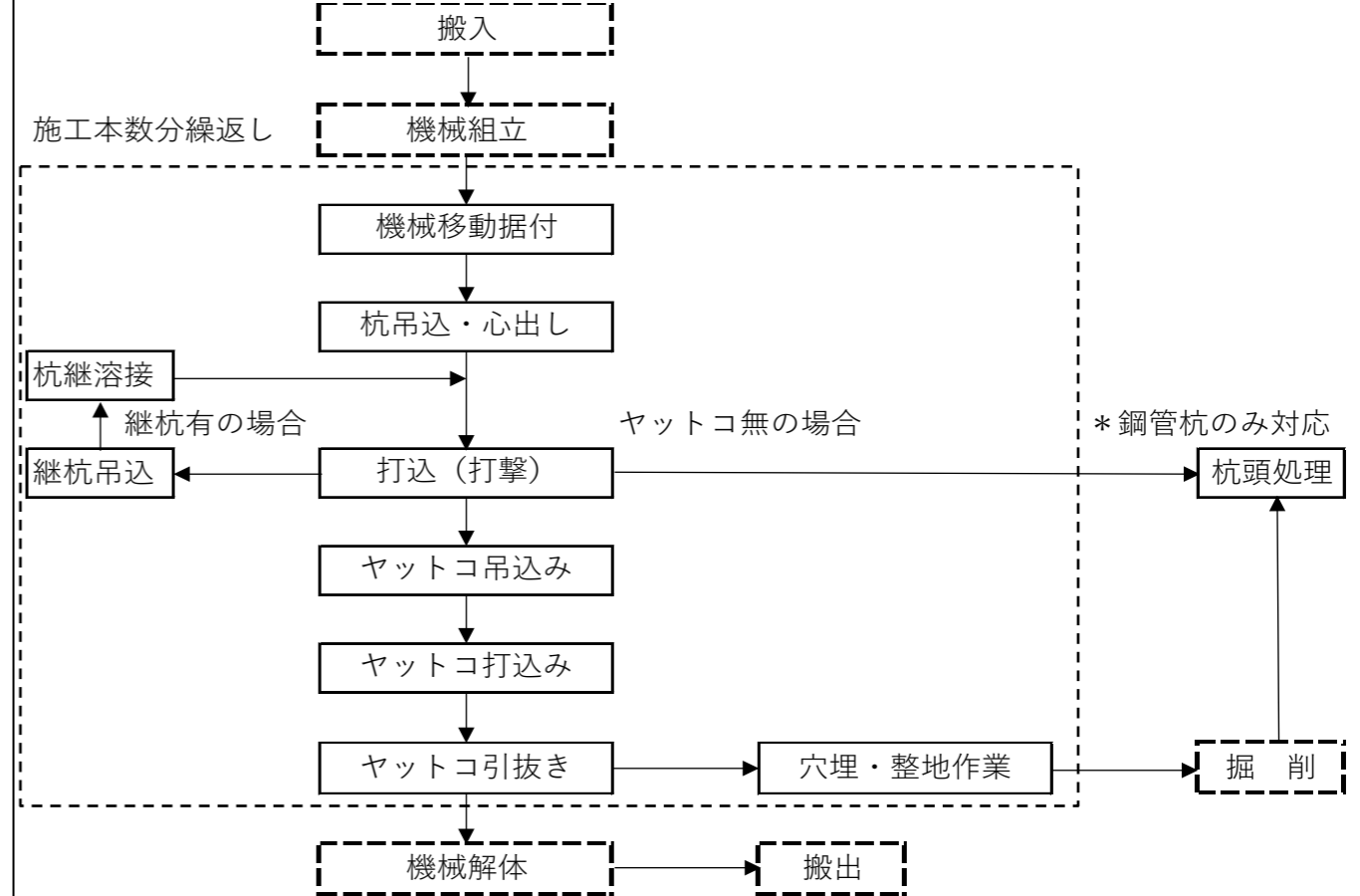
6-1-1~6-1-4 (略)

6-1-5 鋼管・既製コンクリート杭打工 (パイルハンマ工)

(1) (略)

(2) 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

(3) ~ (5) (略)

(6) 施工歩掛

1) 杭 10 本当たり施工日数 (Td)

杭 10 本当たり施工日数は、次式による。

鋼管杭の場合

$$Td = \alpha \times Ta \times B \quad (\text{日/10 本})$$

既製コンクリート杭の場合

$$Td = Ta \times B \quad (\text{日/10 本})$$

Td : 杭 10 本当たり施工日数 (日/10 本)

α : 板厚係数

B : 作業係数 (ヤットコ使用の場合及び打込長 10m 以下は、 $B = 1$)

Ta : 杭種、機種別施工日数 (ヤットコ打ちを含む。) (日/10 本)

ア~ウ (略)

2) (略)

(7) 諸雑費率

諸雑費率は、労務費、機械損料、機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

1) 鋼管杭

鋼管杭打設による諸雑費は、裏当てリング及びストッパー、鋼バンド、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー、鋼管吊具、吊ワイヤー、先端補強バンド、ヤットコ並びに溶接機の損料、足場材(敷鉄板)賃料、設置・撤去・移設及び電力に関する経費、溶接ワイヤー等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸雑費率を使用できる。

諸雑費率(鋼管杭)

継杭の有無	諸雑費率 (%)
継杭なし	34
継杭あり	<u>15</u>

2) (略)

(8) 単価表

1)・2) (略)

3) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項	
クローラ式杭打機	油圧ハマ直結三点支持式	機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→ <u>1.77</u> 燃料消費量→下記のとおりとする	
			ラム質量	燃料消費量(ℓ/日)
			2 t	<u>87</u>
			4~4.5 t	<u>129</u>
			6.5~8 t	<u>125</u>
	10~12.5 t	<u>177</u>		
ハックホウ(クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	機-28	運転労務数量→1.00g 燃料消費量→ <u>3.5</u> 機械賃料数量→1.6	
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチング型排出ガス対策型(第2次基準値) 50~55 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→27 機械損料数量→ <u>1.13</u>	

4) 鋼管杭杭頭処理用機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
電気溶接機	ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式・排出ガス対策型(第1次基準値) 最大溶接電流 300A	機-12	燃料消費量→ <u>27</u>

2) (略)

(7) 諸雑費率

諸雑費率は、労務費、機械損料、機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

1) 鋼管杭

鋼管杭打設による諸雑費は、裏当てリング及びストッパー、鋼バンド、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー、鋼管吊具、吊ワイヤー、先端補強バンド、ヤットコ並びに溶接機の損料、足場材(敷鉄板)賃料、設置・撤去・移設及び電力に関する経費、溶接ワイヤー等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸雑費率を使用できる。

諸雑費率(鋼管杭)

継杭の有無	諸雑費率 (%)
継杭なし	34
継杭あり	<u>16</u>

2) (略)

(8) 単価表

1)・2) (略)

3) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項	
クローラ式杭打機	油圧ハマ直結三点支持式	機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→ <u>1.75</u> 燃料消費量→下記のとおりとする	
			ラム質量	燃料消費量(ℓ/日)
			2 t	<u>85</u>
			4~4.5 t	<u>123</u>
			6.5~8 t	<u>123</u>
	10~12.5 t	<u>160</u>		
ハックホウ(クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>3.8</u> 機械賃料数量→1.6	
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチング型排出ガス対策型(第2次基準値) 50~55 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→27 機械損料数量→ <u>1.12</u>	

4) 鋼管杭杭頭処理用機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
電気溶接機	ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式・排出ガス対策型(第1次基準値) 最大溶接電流 300A	機-12	燃料消費量→ <u>32</u>

6-1-6 鋼管・既製コンクリート杭打工（中掘工）

1 適用範囲

本歩掛は、中掘工（打撃又はグラウト注入（拡大根固め工法を含む。）による打止め）による鋼管杭及び既製コンクリート杭（PHC杭、RC杭、SC+PHC杭）の施工に適用する。

なお、適用杭径は次表による。

適用杭径

(削る。)	杭径 (mm)	杭 種
(削る。)	400~1000	鋼管杭
	400~1000	既製コンクリート杭

掘削長については、次図を標準とする。また、現場条件により次図により難しい場合は、別途考慮する。

図 1-1・1-2 (略)

2 施工概要

(略)

施工フロー

備考 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。
ヤットコは必要により施工

6-1-6 鋼管・既製コンクリート杭打工（中掘工）

1 適用範囲

本歩掛は、中掘工（打撃又はグラウト注入（拡大根固め工法を含む。）による打止め）による鋼管杭及び既製コンクリート杭（PHC杭、RC杭、SC+PHC杭）の施工に適用する。

なお、適用杭径は次表による。

適用杭径

工 法	杭径 (mm)	摘 要
中掘工	400~1000	鋼管杭
	400~1000	既製コンクリート杭

掘削長については、次図を標準とする。また、現場条件により次図により難しい場合は、別途考慮する。

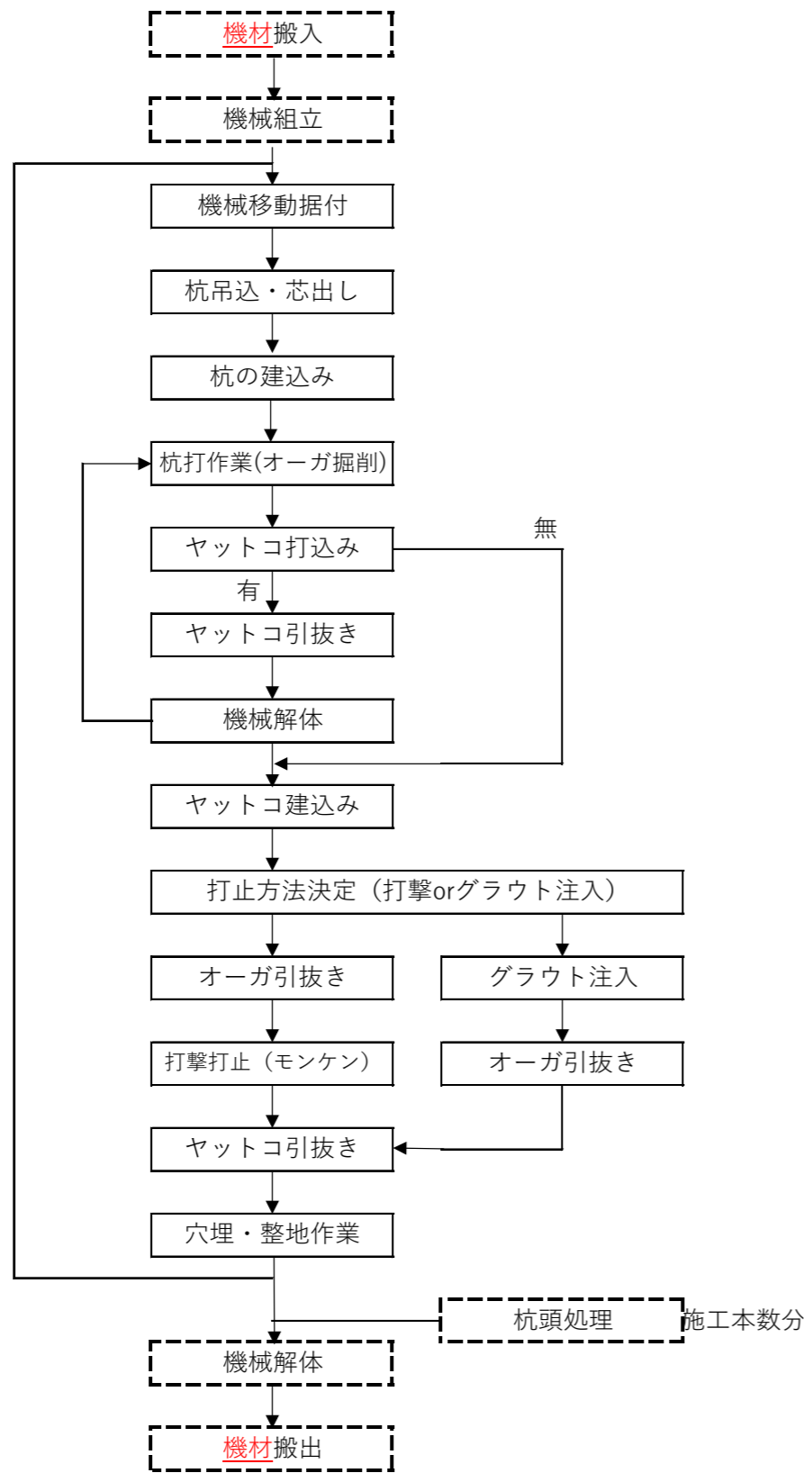
図 1-1・1-2 (略)

2 施工概要

(略)

施工フロー

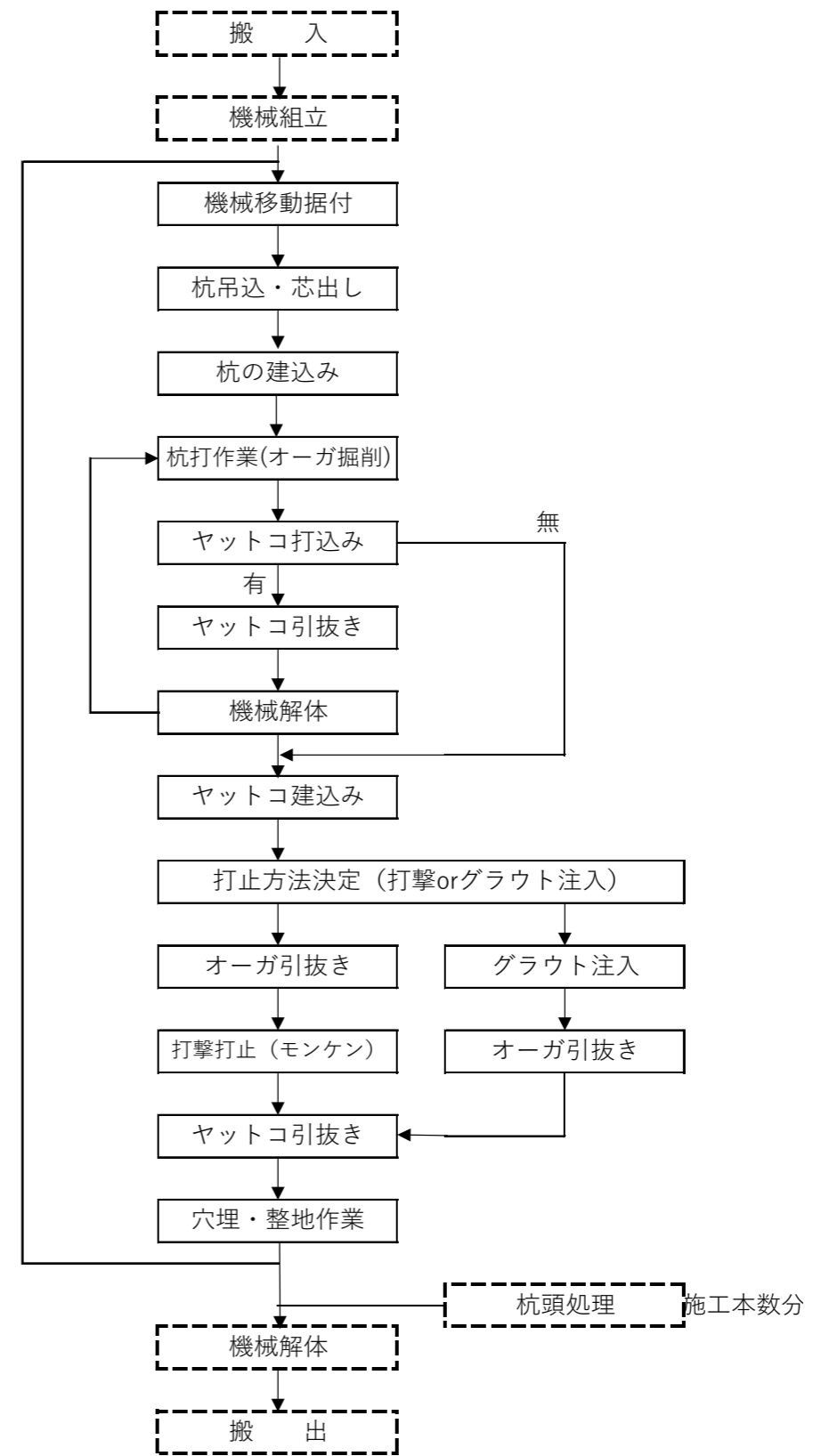
備考 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。
ヤットコは必要により施工



3 機種を選定
機種・規格は、次表を標準とする。

機種を選定

機種	規格	単	数	量	摘要
----	----	---	---	---	----



3 機種を選定
機種・規格は、次表を標準とする。

機種を選定

機種	規格	単	数	量	摘要
----	----	---	---	---	----

	500未満	600未満	700未満	800未満	900未満	1000未満	
16m以下	<u>1.78</u>	<u>1.86</u>	<u>1.91</u>	<u>1.98</u>	<u>2.09</u>	<u>2.22</u>	<u>2.37</u>
16mを超え 32m以下	<u>3.41</u>	<u>3.69</u>	<u>3.91</u>	<u>4.17</u>	<u>4.44</u>	<u>4.73</u>	<u>5.08</u>
32mを超え 48m以下	<u>5.03</u>	<u>5.52</u>	<u>5.90</u>	<u>6.36</u>	<u>6.79</u>	<u>7.25</u>	<u>7.78</u>
48mを超え 64m以下	<u>6.65</u>	<u>7.36</u>	<u>7.90</u>	<u>8.55</u>	<u>9.14</u>	<u>9.76</u>	<u>10.49</u>

イ 鋼管杭（打撃方式）

(日/10本)

掘削長 (m)	杭 径 (mm)						
	400以上 500未満	500以上 600未満	600以上 700未満	700以上 800未満	800以上 900未満	900以上 1000未満	1000
16m以下	<u>1.86</u>	<u>1.91</u>	<u>1.93</u>	<u>1.95</u>	<u>1.97</u>	<u>2.00</u>	<u>2.02</u>
16mを超え 32m以下	<u>3.48</u>	<u>3.74</u>	<u>3.92</u>	<u>4.14</u>	<u>4.33</u>	<u>4.51</u>	<u>4.73</u>
32mを超え 48m以下	<u>5.10</u>	<u>5.57</u>	<u>5.92</u>	<u>6.33</u>	<u>6.68</u>	<u>7.02</u>	<u>7.43</u>
48mを超え 64m以下	<u>6.73</u>	<u>7.40</u>	<u>7.91</u>	<u>8.51</u>	<u>9.03</u>	<u>9.54</u>	<u>10.14</u>

ウ 既製コンクリート杭（グラウト方式）

(日/10本)

掘削長 (m)	杭 径 (mm)						
	400以上 500未満	500以上 600未満	600以上 700未満	700以上 800未満	800以上 900未満	900以上 1000未満	1000
16m以下	<u>1.77</u>	<u>1.87</u>	<u>1.93</u>	<u>2.00</u>	<u>2.09</u>	<u>2.22</u>	<u>2.37</u>
16mを超え 32m以下	<u>3.48</u>	<u>3.73</u>	<u>3.92</u>	<u>4.12</u>	<u>4.33</u>	<u>4.59</u>	<u>4.93</u>
32mを超え 48m以下	<u>5.19</u>	<u>5.60</u>	<u>5.92</u>	<u>6.25</u>	<u>6.56</u>	<u>6.95</u>	<u>7.49</u>
48mを超え 64m以下	<u>6.90</u>	<u>7.46</u>	<u>7.91</u>	<u>8.38</u>	<u>8.79</u>	<u>9.32</u>	<u>10.05</u>

エ 既製コンクリート杭（打撃方式）

(日/10本)

掘削長 (m)	杭 径 (mm)						
	400以上 500未満	500以上 600未満	600以上 700未満	700以上 800未満	800以上 900未満	900以上 1000未満	1000
16m以下	<u>1.86</u>	<u>1.91</u>	<u>1.93</u>	<u>1.95</u>	<u>1.97</u>	<u>2.00</u>	<u>2.02</u>
16mを超え 32m以下	<u>3.57</u>	<u>3.77</u>	<u>3.92</u>	<u>4.08</u>	<u>4.21</u>	<u>4.37</u>	<u>4.58</u>
32mを超え 48m以下	<u>5.28</u>	<u>5.63</u>	<u>5.92</u>	<u>6.21</u>	<u>6.44</u>	<u>6.73</u>	<u>7.14</u>
48mを超え 64m以下	<u>6.99</u>	<u>7.49</u>	<u>7.91</u>	<u>8.34</u>	<u>8.68</u>	<u>9.10</u>	<u>9.70</u>

	500未満	600未満	700未満	800未満	900未満	1000未満	
16m以下	<u>1.76</u>	<u>1.84</u>	<u>1.89</u>	<u>1.96</u>	<u>2.06</u>	<u>2.19</u>	<u>2.34</u>
16mを超え 32m以下	<u>3.36</u>	<u>3.65</u>	<u>3.86</u>	<u>4.12</u>	<u>4.38</u>	<u>4.68</u>	<u>5.02</u>
32mを超え 48m以下	<u>4.97</u>	<u>5.46</u>	<u>5.83</u>	<u>6.28</u>	<u>6.70</u>	<u>7.16</u>	<u>7.69</u>
48mを超え 64m以下	<u>6.57</u>	<u>7.27</u>	<u>7.80</u>	<u>8.44</u>	<u>9.03</u>	<u>9.64</u>	<u>10.36</u>

イ 鋼管杭（打撃方式）

(日/10本)

掘削長 (m)	杭 径 (mm)						
	400以上 500未満	500以上 600未満	600以上 700未満	700以上 800未満	800以上 900未満	900以上 1000未満	1000
16m以下	<u>1.84</u>	<u>1.88</u>	<u>1.91</u>	<u>1.93</u>	<u>1.95</u>	<u>1.97</u>	<u>2.00</u>
16mを超え 32m以下	<u>3.44</u>	<u>3.69</u>	<u>3.88</u>	<u>4.09</u>	<u>4.27</u>	<u>4.46</u>	<u>4.67</u>
32mを超え 48m以下	<u>5.04</u>	<u>5.50</u>	<u>5.85</u>	<u>6.25</u>	<u>6.59</u>	<u>6.94</u>	<u>7.34</u>
48mを超え 64m以下	<u>6.65</u>	<u>7.31</u>	<u>7.82</u>	<u>8.41</u>	<u>8.92</u>	<u>9.42</u>	<u>10.01</u>

ウ 既製コンクリート杭（グラウト方式）

(日/10本)

掘削長 (m)	杭 径 (mm)						
	400以上 500未満	500以上 600未満	600以上 700未満	700以上 800未満	800以上 900未満	900以上 1000未満	1000
16m以下	<u>1.75</u>	<u>1.85</u>	<u>1.90</u>	<u>1.97</u>	<u>2.07</u>	<u>2.19</u>	<u>2.34</u>
16mを超え 32m以下	<u>3.44</u>	<u>3.69</u>	<u>3.87</u>	<u>4.07</u>	<u>4.27</u>	<u>4.53</u>	<u>4.87</u>
32mを超え 48m以下	<u>5.13</u>	<u>5.53</u>	<u>5.84</u>	<u>6.18</u>	<u>6.48</u>	<u>6.87</u>	<u>7.40</u>
48mを超え 64m以下	<u>6.82</u>	<u>7.37</u>	<u>7.82</u>	<u>8.28</u>	<u>8.69</u>	<u>9.21</u>	<u>9.93</u>

エ 既製コンクリート杭（打撃方式）

(日/10本)

掘削長 (m)	杭 径 (mm)						
	400以上 500未満	500以上 600未満	600以上 700未満	700以上 800未満	800以上 900未満	900以上 1000未満	1000
16m以下	<u>1.84</u>	<u>1.88</u>	<u>1.91</u>	<u>1.93</u>	<u>1.95</u>	<u>1.97</u>	<u>2.00</u>
16mを超え 32m以下	<u>3.53</u>	<u>3.72</u>	<u>3.88</u>	<u>4.03</u>	<u>4.16</u>	<u>4.31</u>	<u>4.53</u>
32mを超え 48m以下	<u>5.22</u>	<u>5.56</u>	<u>5.85</u>	<u>6.14</u>	<u>6.36</u>	<u>6.65</u>	<u>7.05</u>
48mを超え 64m以下	<u>6.91</u>	<u>7.40</u>	<u>7.82</u>	<u>8.24</u>	<u>8.57</u>	<u>8.99</u>	<u>9.58</u>

(2) 杭頭処理
杭頭処理の適用については、6-1-5 鋼管・既製コンクリート杭打込（パイルハンマ工）及び6-1-10 鋼管・既製コンクリート杭打込（杭打処理工）により別途計上する。

(3) 諸雑費
諸雑費は、労務費、材料費（杭）、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

① 鋼管杭（打撃方式）

中掘工（打撃打止め）による鋼管杭打込の諸雑費は、溶接ワイヤ、鋼管吊具、吊ワイヤ、裏当てリング及びストッパー、銅バンド、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、半自動アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）の運転、電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸経費率を適用できる。

諸雑費率（鋼管杭） (%)

継杭の有無	諸雑費率
継杭無し	<u>32</u>
継杭有り	<u>37</u>

(削る。)

② 既製コンクリート杭（打撃方式）

中掘工（打撃打止め）による既製コンクリート杭打込の諸雑費は、溶接ワイヤ、吊ワイヤ、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、半自動アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）の運転、電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無にかかわらず本諸雑費率を適用できる。

諸雑費率（既製コンクリート杭） (%)

継杭の有無	諸雑費率
継杭無し	<u>24</u>
継杭有り	<u>28</u>

③ 鋼管杭（グラウト方式）

中掘工（グラウト注入）による鋼管杭打込の諸雑費は、グラウト材（セメントミルク）、溶接ワイヤ、鋼管吊具、吊ワイヤ、裏当てリング及びストッパー、銅バンド、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、半自動アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）、モルタルプラント運転及び電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸雑費率を適用できる。

(2) 杭頭処理
杭頭処理の適用については、6-1-5 鋼管・既製コンクリート杭打込（パイルハンマ工）及び6-1-10 鋼管・既製コンクリート杭打込（杭打処理工）による。

(3) 諸雑費
諸雑費は、労務費、材料費（杭）、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

① 鋼管杭（打撃方式）

中掘工（打撃打止め）による鋼管杭打込の諸雑費は、溶接棒、現場溶接にて行う杭先端加工費（労務費、材料費を含む。）、鋼管吊具、吊ワイヤ、裏当てリング及びストッパー、銅バンド、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）の運転、電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸経費率を適用できる。

諸雑費率（鋼管杭） (%)

継杭の有無	諸雑費率
継杭無し	<u>27</u>
継杭有り	<u>29</u>

(注) 杭先端加工費とは、周辺摩擦低減の為に杭先端内部に現場で加工する費用のことであり、杭の補強を目的とする費用は含まない。

② 既製コンクリート杭（打撃方式）

中掘工（打撃打止め）による既製コンクリート杭打込の諸雑費は、溶接棒、吊ワイヤ、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）の運転、電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無にかかわらず本諸雑費率を適用できる。

諸雑費率（既製コンクリート杭） (%)

継杭の有無	諸雑費率
継杭無し	<u>9</u>
継杭有り	<u>23</u>

③ 鋼管杭（グラウト方式）

中掘工（グラウト注入）による鋼管杭打込の諸雑費は、グラウト材（セメントミルク）、溶接棒、現場溶接にて行う杭先端加工費（労務費、材料費を含む。）、鋼管吊具、吊ワイヤ、裏当てリング及びストッパー、銅バンド、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）、モルタルプラント運転及び電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸雑費率を適用できる。

諸雑費率（鋼管杭）

(%)

継杭の有無	諸雑費率
継杭無し	58
継杭有り	48

(注) 拡大根固め工法も上表の率を適用する。

④ 既製コンクリート杭（グラウト方式）

中掘工（グラウト注入）による既製コンクリート杭打込の諸雑費は、グラウト材（セメントミルク）、溶接ワイヤ、吊ワイヤ、オーガスクリュ、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、半自動アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）、モルタルプラント運転及び電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無にかかわらず本諸雑費率を適用できる。

諸雑費率（既製コンクリート杭）

(%)

継杭の有無	諸雑費率
継杭無し	52
継杭有り	40

(注) 拡大根固め工法も上表の率を適用する。

6 単価表

(1) 中掘工（打撃打止め）による鋼管・既製コンクリート杭打込 10 本当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	Td×1	
溶接工		〃	Td×1	4 必要に応じて計上する。
とび工		〃	Td×1	
山林砂防工 (普通作業員)		〃	Td×1	
杭		本	10	
クローラ式アースオーガ アースオーガ中掘機運転		日	Td	
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型 排出ガス対策型(第〇次基準 値)〇〇 t 吊	〃	Td	
バックホウ運転	標準型・超低騒音型 排出ガス対策型(2014 年規 制)クローラ型 山積 0.5 m ³ (平積 0.4 m ³)	〃	Td	
諸雑費 計		式	1	(5)-3)-7

(注) Td : 杭 10 本当たり施工日数

諸雑費率（鋼管杭）

(%)

継杭の有無	諸雑費率
継杭無し	52
継杭有り	38

(注) 拡大根固め工法も上表の率を適用する。

杭先端加工費とは、周辺摩擦低減のために杭先端内部に現場で加工する費用のことであり、杭の補強を目的とする費用は含まない。

④ 既製コンクリート杭（グラウト方式）

中掘工（グラウト注入）による既製コンクリート杭打込の諸雑費は、グラウト材（セメントミルク）、溶接棒、吊ワイヤ、オーガスクリュ、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）、モルタルプラント運転及び電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無にかかわらず本諸雑費率を適用できる。

諸雑費率（既製コンクリート杭）

(%)

継杭の有無	諸雑費率
継杭無し	36
継杭有り	33

(注) 拡大根固め工法も上表の率を適用する。

6 単価表

(1) 中掘工（打撃打止め）による鋼管・既製コンクリート杭打込 10 本当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	Td×1	
溶接工		〃	Td×1	4 必要に応じて計上する。
とび工		〃	Td×1	
山林砂防工 (普通作業員)		〃	Td×1	
杭		本	10	
クローラ式アースオーガ アースオーガ中掘機運転		日	Td	
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型 排出ガス対策型(第〇次基準 値)〇〇 t 吊	〃	Td	
バックホウ運転	標準型・排出ガス対策型(第 2次基準値) クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	〃	Td	
諸雑費 計		式	1	(5)-3)-7

(注) Td : 杭 10 本当たり施工日数

(2) 中掘工（グラウト注入）による鋼管・既製コンクリート杭打込 10 本当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	Td×1	
溶 接 工		〃	Td×1	4 必要に応じて計上する。
特 殊 作 業 員		〃	Td×1	
と び 工		〃	Td×1	
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)		〃	Td×1	
杭		本	10	
クローラ式アースオーガ アースオーガ中掘機運転		日	Td	
クローラクレーン 運 転	油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型 排出ガス対策型(第〇次基準 値)〇〇 t 吊	〃	Td	
ハックホウ 運 転	標準型・ <u>超低騒音型</u> 排出ガス対策型(2014 年規 制)クローラ型 山積 0.5 m ³ (平積 0.4 m ³)	〃	Td	
諸 雑 費		式	1	5-(3)-②
計				

(注) Td : 杭 10 本当たり施工日数

(3) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
クローラ式アースオーガ	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力 55kW 公称杭径 400~1,200mm リーダ長 21~33m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>57</u> 機械損料数量→ <u>1.46</u>
	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力 90kW 公称杭径 400~1,200mm リーダ長 21~33m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>69</u> 機械損料数量→ <u>1.46</u>
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型・排出ガス 対策型(第 3 次基準値)50~55 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>56</u> 機械損料数量→ <u>1.46</u>
	油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型・排出ガス 対策型(第 3 次基準値)80 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>82</u> 機械損料数量→ <u>1.46</u>
ハックホウ	標準型・ <u>超低騒音型</u> 排出ガス対策型(2014 年規制) クローラ型 0.5 m ³ (平積 0.4 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>45</u> 機械損料数量→ <u>1.52</u>

(2) 中掘工（グラウト注入）による鋼管・既製コンクリート杭打込 10 本当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	Td×1	
溶 接 工		〃	Td×1	4 必要に応じて計上する。
特 殊 作 業 員		〃	Td×1	
と び 工		〃	Td×1	
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)		〃	Td×1	
杭		本	10	
クローラ式アースオーガ アースオーガ中掘機運転		日	Td	
クローラクレーン 運 転	油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型 排出ガス対策型(第〇次基準 値)〇〇 t 吊	〃	Td	
ハックホウ 運 転	クローラ型 標準型・排出ガス対策型(第 2 次基準値)山積 0.45 m ³ (平 積 0.35 m ³)	〃	Td	
諸 雑 費		式	1	5-(3)-②
計				

(注) Td : 杭 10 本当たり施工日数

(3) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
クローラ式アースオーガ	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力 55kW 公称杭径 400~1,200mm リーダ長 21~33m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>61</u> 機械損料数量→ <u>1.50</u>
	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力 90kW 公称杭径 400~1,200mm リーダ長 21~33m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>77</u> 機械損料数量→ <u>1.50</u>
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型・排出ガス 対策型(第 2 次基準値)50~55 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>51</u> 機械損料数量→ <u>1.45</u>
	油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型・排出ガス 対策型(第 1 次基準値)80 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>66</u> 機械損料数量→ <u>1.45</u>
ハックホウ	標準型・排出ガス対策型(第 2 次基準 値) クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>39</u> 機械損料数量→ <u>1.50</u>

6-1-7 (参考歩掛) 木杭打工 (大型ブレーカ)

- (1) ~ (4) (略)
 (5) 単価表
 1) (略)
 2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
大型ブレーカ (バックホウ装着)	油圧式 600~800kg	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→62 機械損料数量 1→ <u>1.40</u> バックホウ排出ガス対策型・クローラ 型山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³) 機械損料数量 2→ <u>1.40</u> 大型ブレーカ(油圧式 600~800 kg)

6-1-8 鋼管・既製コンクリート杭打工 (鋼管ソイルセメント杭工)

- 1~6 (略)

7 諸雑費

諸雑費は、電力に関する経費、足場材 (敷鉄板) 賃料及び設置・撤去・移設、溶接機と付属機材及び溶接材料の費用、口元管、ヤットコ、掘削攪拌ヘッド及びロッド、鋼管キャップ・カラー、ロッドスタビライザ、スタビライザブラケット、下部振れ止め、ロッド吊金具、高圧洗浄機等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 7. 1 諸雑费率 (%)

継杭の有無	諸雑费率
継杭なし	<u>26</u>
継杭あり	<u>27</u>

8 単価表

- (1) (略)

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500 mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~150kw	機-1	運転労務数量→0.19 燃料消費量→13
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60~65 t 吊排出ガス対策型(第1次基準値)	機-1	運転労務数量→0.17 燃料消費量→12
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90 t 吊排出ガス対策型(第3次基準値)	機-1	運転労務数量→0.17 燃料消費量→18
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.5 m ³ (平積 0.4 m ³)	機-1	運転労務数量→0.16 燃料消費量→ <u>9.2</u>

6-1-9 鋼管・既製コンクリート杭打工 (回転杭工)

- 1~5 (略)

6 単価表

6-1-7 (参考歩掛) 木杭打工 (大型ブレーカ)

- (1) ~ (4) (略)
 (5) 単価表
 1) (略)
 2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
大型ブレーカ (バックホウ装着)	油圧式 600~800kg	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→62 機械損料数量 1→ <u>1.39</u> バックホウ排出ガス対策型・クローラ 型山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³) 機械損料数量 2→ <u>1.39</u> 大型ブレーカ(油圧式 600~800 kg)

6-1-8 鋼管・既製コンクリート杭打工 (鋼管ソイルセメント杭工)

- 1~4 (略)

7 諸雑費

諸雑費は、電力に関する経費、足場材 (敷鉄板) 賃料及び設置・撤去・移設、溶接機と付属機材及び溶接材料の費用、口元管、ヤットコ、掘削攪拌ヘッド及びロッド、鋼管キャップ・カラー、ロッドスタビライザ、スタビライザブラケット、下部振れ止め、ロッド吊金具、高圧洗浄機等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 7. 1 諸雑费率 (%)

継杭の有無	諸雑费率
継杭なし	<u>27</u>
継杭あり	<u>28</u>

8 単価表

- (1) (略)

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1,500 mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110~150kw	機-1	運転労務数量→0.19 燃料消費量→13
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60~65 t 吊排出ガス対策型(第1次基準値)	機-1	運転労務数量→0.17 燃料消費量→12
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90 t 吊排出ガス対策型(第3次基準値)	機-1	運転労務数量→0.17 燃料消費量→18
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.5 m ³ (平積 0.4 m ³)	機-1	運転労務数量→0.16 燃料消費量→ <u>9.8</u>

6-1-9 鋼管・既製コンクリート杭打工 (回転杭工)

- 1~5 (略)

6 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
全回転型オールケーシング掘削機 (回転杭用)	ケーシングドライバ(スキッド式・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削径 2,000 mm 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>150</u> 機械損料数量→ <u>1.49</u>
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 100 t 吊 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>121</u> 機械損料数量→ <u>1.53</u>
クローラクレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-28	運転労務数量→0.18 燃料消費量→2.1 機械賃料数量→1.64
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.5 m ³ (平積 0.4 m ³)	機-28	運転労務数量→0.28 燃料消費量→ <u>10</u> 機械賃料数量→1.59

(注) (略)

6-1-10 (略)

第7 (略)

7-1 土留工・擁壁工

7-1-1~7-1-6 (略)

7-1-7 (参考歩掛) 木製枠工(ユニット式)

1 適用範囲

本歩掛は、工場で製作された組み立てが容易な木製枠に、栗石、砕石及び現地発生材などの中詰材を詰める構造体で、積工、土留工等に適用する。構造体に使用する角材は45mm程度を標準とする。

2 施工歩掛

木製枠工(ユニット式)の施工歩掛は、次表を標準とする。

表2.1 施工歩掛

(中詰:割栗石-機械)

(10m当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	0.09	組立等指導
山林砂防工 (普通作業員)		人	0.34	小運搬、組立、据付、詰石補助、シート設置
バックホウ運転経費	山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	時間	0.54	中詰材投入

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
全回転型オールケーシング掘削機 (回転杭用)	ケーシングドライバ(スキッド式・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削径 2,000 mm 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>174</u> 機械損料数量→ <u>1.48</u>
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 100 t 吊 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>94</u> 機械損料数量→ <u>1.51</u>
クローラクレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-28	運転労務数量→0.18 燃料消費量→2.1 機械賃料数量→1.64
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.5 m ³ (平積 0.4 m ³)	機-28	運転労務数量→0.28 燃料消費量→ <u>11</u> 機械賃料数量→1.59

(注) (略)

6-1-10 (略)

第7 (略)

7-1 土留工・擁壁工

7-1-1~7-1-6 (略)

(新設)

	山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	時間	0.81	
	山積 0.13 m ³ (平積 0.1 m ³)	日	0.45	

(中詰：割栗石 - 人力)

(10m当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	0.09	組立等指導
山林砂防工 (普通作業員)		人	0.88	小運搬、組立、据付、詰石、シート設置

(中詰：土砂 - 機械)

(10m当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	0.06	組立等指導
山林砂防工 (普通作業員)		人	0.31	小運搬、組立、据付、詰土補助、シート設置
バックホウ運転経費	山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	時間	0.12	中詰材詰土
	山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	時間	0.17	
	山積 0.13 m ³ (平積 0.1 m ³)	日	0.10	
タンパ運転 (60~80 kg)		日	0.09	中詰材転圧

(中詰：土砂 - 人力)

(10m当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	0.06	組立等指導
山林砂防工 (普通作業員)		人	0.72	小運搬、組立、据付、詰土、シート設置
タンパ運転 (60~80 kg)		日	0.09	中詰材転圧

備考 上表歩掛には小運搬は含まないため、現場条件により、使用材料の仮置場からの小運搬が必要な場合は別途計上する。

3 使用材料

木製枠工 (ユニット式) の使用材料は次表を標準とする。

表 3.1 使用材料

(中詰：割栗石)

(10m当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
木製枠 (ユニット式)	□45×45・H=495・W=750・L=1500	基	6.67	
割栗石	50~150	m ³	2.7	
吸出防止シート	t = 10 mm (非分解性)	m ²		設置数量 (m ²) × (1 + K) K : 補正係数 (+0.07)

(中詰：土砂)

(10m当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
木製枠 (ユニット式)	□45×45・H=495・W=750・L=1500	基	6.67	
中詰土砂		m ³	2.9	
土留シート	t = 5~10 mm	m ²	5.4	

4 単価表

(1) 木製枠工 (ユニット式) 10m当たり単価表

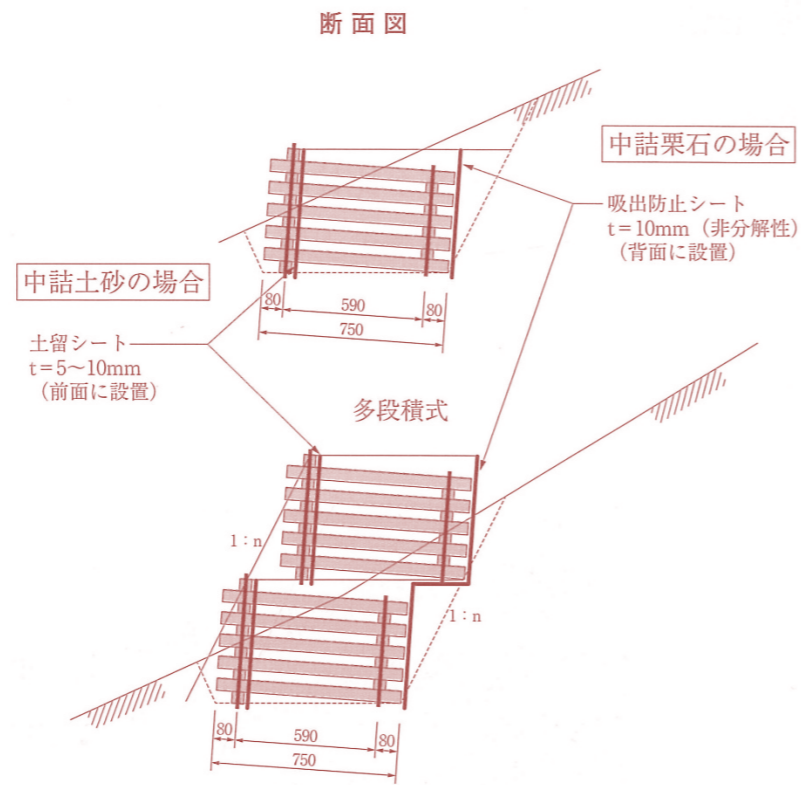
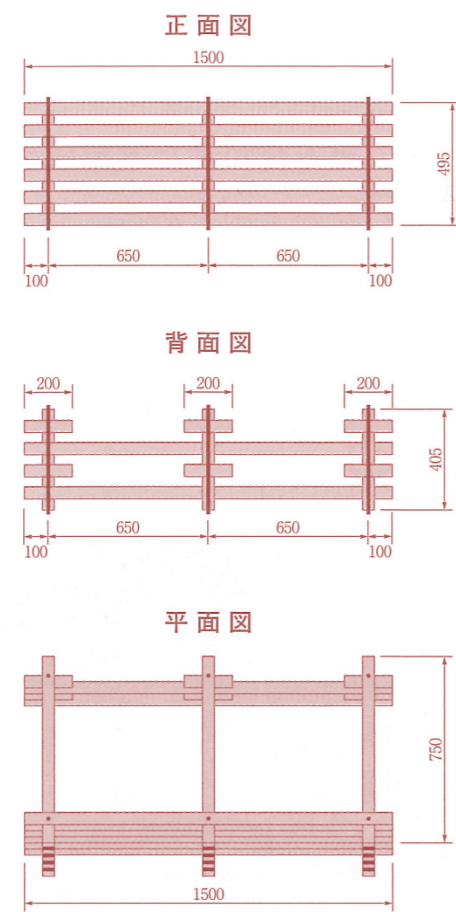
名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		表 2.1
山林砂防工 (普通作業員)		人		表 2.1
バックホウ運転 (小型バックホウ運転)		時間 (日)		表 2.1
タンバ運転		日		表 2.1
木製枠 (ユニット式)		基		表 3.1
割栗石 (中詰土砂)		m ³		表 3.1
吸出防止シート (土留シート)		m ²		表 3.1

(2) 機械運転単価表

名称	規格	摘要単価表	指定要項
バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機 - 1	
バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機 - 1	
小型バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス対策型 (2014年規制) 山積 0.13 m ³ (平積 0.10 m ³)	機 - 18	
タンバ	60~80 kg	機 - 8	運転時間→5h/日

(参考)

施工標準図



7-2~7-14 (略)

第8 仮設工

8-1~8-3 (略)

8-4 水替工

8-4-1 水替工

(1)~(5) (略)

(6) 単価表

1)~3) (略)

4) 機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
工 事 用 水中ポンプ		機-30	賃料数量→ (常時排水) 1.1 (作業時排水) 1.2
発動発電機	排出ガス対策型(第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 25kVA 35kVA 60kVA 100kVA	機-16	(常時排水) 燃料消費量→25kVA→ <u>67</u> 35kVA→ <u>98</u> 60kVA→ <u>168</u> 100kVA→ <u>264</u> 賃料数量→1.1
発動発電機	排出ガス対策型(第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 25kVA 35kVA 60kVA 100kVA	機-16	(作業時排水) 燃料消費量→25kVA→ <u>22</u> 35kVA→ <u>33</u> 60kVA→ <u>56</u> 100kVA→ <u>88</u> 賃料数量→1.2
バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) ・クローラ型クレーン機能付 山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)2.9 t 吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>65</u> 賃料数量→1.16

8-4-2 水替工(小口径)

(1)~(5) (略)

(6) 単価表

1)~3) (略)

4) 機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
発動発電機	ガソリンエンジン駆動 2kVA	機-16	燃料消費量→28(常時排水) <u>8.9</u> (作業時排水) 賃料数量→1.1
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動 5kVA	機-16	燃料消費量→ <u>20</u> (常時排水) <u>6.7</u> (作業時排水) 賃料数量→1.1
バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 クレーン機能付山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)2.9 t 吊	機-28	運転労務数量→0.68 燃料消費量→ <u>40</u> 機械賃料数量→1.00

8-5~8-7 (略)

第8 仮設工

8-1~8-3 (略)

8-4 水替工

8-4-1 水替工

(1)~(5) (略)

(6) 単価表

1)~3) (略)

4) 機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
工 事 用 水中ポンプ		機-30	賃料数量→ (常時排水) 1.1 (作業時排水) 1.2
発動発電機	排出ガス対策型(第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 25kVA 35kVA 60kVA 100kVA	機-16	(常時排水) 燃料消費量→25kVA→ <u>79</u> 35kVA→ <u>115</u> 60kVA→ <u>199</u> 100kVA→ <u>312</u> 賃料数量→1.1
発動発電機	排出ガス対策型(第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 25kVA 35kVA 60kVA 100kVA	機-16	(作業時排水) 燃料消費量→25kVA→ <u>26</u> 35kVA→ <u>38</u> 60kVA→ <u>66</u> 100kVA→ <u>104</u> 賃料数量→1.2
バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) ・クローラ型クレーン機能付 山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)2.9 t 吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>69</u> 賃料数量→1.16

8-4-2 水替工(小口径)

(1)~(5) (略)

(6) 単価表

1)~3) (略)

4) 機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
発動発電機	ガソリンエンジン駆動 2kVA	機-16	燃料消費量→28(常時排水) <u>9</u> (作業時排水) 賃料数量→1.1
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動 5kVA	機-16	燃料消費量→ <u>24</u> (常時排水) <u>7.9</u> (作業時排水) 賃料数量→1.1
バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 クレーン機能付山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)2.9 t 吊	機-28	運転労務数量→0.68 燃料消費量→ <u>43</u> 機械賃料数量→1.00

8-5~8-7 (略)

8-8 仮囲い設置・撤去工

8-8-1 (略)

8-8-2 雪寒仮囲い工

1~7 (略)

8 単価表

(1)~(4) (略)

(5) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	摘要
バックホウ	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2011年規制) 山積/平積み 0.8 m ³ /0.6 m ³	機-28	運転労務数量→0.25 燃料消費量→ <u>17</u> 機械賃料数量→1.02
業務用可搬型ヒータ (ジェットヒータ) 運転	油だき・熱風・直火型 126MJ/h (30、100kcal/h) 油種 灯油	機-16	燃料消費量→表 5.2 機械賃料数量→1.20
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動 (50/60Hz) 2.7/3KVA	機-24	燃料消費量→表 5.2 機械損料数量→ <u>1.21</u>

8-9 大型土のう工

(1)~(5) (略)

(6) 単価表

1)~5) (略)

6) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クレーン仕様)	超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) クローラ型 クレーン機能付 2.9 t 吊 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-28	[製作・設置] (バックホウによる設置) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>104</u> 賃料数量→1.39
			[製作・設置] (ラフテレーンクレーンによる設置) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>119</u> 賃料数量→1.44
			[製作] 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>119</u> 賃料数量→1.44
			[設置] 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>94</u> 賃料数量→1.36
			[撤去] 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>78</u> 賃料数量→1.26

8-8 仮囲い設置・撤去工

8-8-1 (略)

8-8-2 雪寒仮囲い工

1~7 (略)

8 単価表

(1)~(4) (略)

(5) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	摘要
バックホウ	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2011年規制) 山積/平積み 0.8 m ³ /0.6 m ³	機-28	運転労務数量→0.25 燃料消費量→ <u>18</u> 機械賃料数量→1.02
業務用可搬型ヒータ (ジェットヒータ) 運転	油だき・熱風・直火型 126MJ/h (30、100kcal/h) 油種 灯油	機-16	燃料消費量→表 5.2 機械賃料数量→1.20
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動 (50/60Hz) 2.7/3KVA	機-24	燃料消費量→表 5.2 機械損料数量→ <u>1.20</u>

8-9 大型土のう工

(1)~(5) (略)

(6) 単価表

1)~5) (略)

6) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クレーン仕様)	超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) クローラ型 クレーン機能付 2.9 t 吊 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-28	[製作・設置] (バックホウによる設置) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>98</u> 賃料数量→1.39
			[製作・設置] (ラフテレーンクレーンによる設置) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>112</u> 賃料数量→1.44
			[製作] 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>112</u> 賃料数量→1.44
			[設置] 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>88</u> 賃料数量→1.36
			[撤去] 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>74</u> 賃料数量→1.26

8-10 敷鉄板敷設・撤去工

(1)・(2) (略)

(3) 機種の選定

機械・規格は、次表を標準とする。

表3. 1 機種を選定

機械名	規格	敷鉄板	
		設置	撤去
バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付 排出ガス対策型(2014年規制)山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)吊能力2.9 t	○	○

(注) (略)

(4)・(5) (略)

(6) 単価表

1) 敷鉄板設置 100 m²当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人	1×100/D	表4.1、表4.2
とび工		〃	1×100/D	〃
山林砂防工 (普通作業員)		〃	1×100/D	〃
バックホウ (クローラ型) 運転	標準型・クレーン機能付排出 ガス対策型(2014年規制)山 積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)吊能 力2.9 t	日	100/D	表4.2 機械賃料
諸雑費		式		表5.1
計				

2) 敷鉄板撤去 100 m²当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人	1×100/D	表4.1、表4.2
とび工		〃	1×100/D	〃
山林砂防工 (普通作業員)		〃	1×100/D	〃
バックホウ (クローラ型) 運転	標準型・クレーン機能付排出 ガス対策型(2014年規制)山 積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)吊能 力2.9 t	日	100/D	表4.2 機械賃料
諸雑費		式		表5.1
計				

3) (略)

8-10 敷鉄板敷設・撤去工

(1)・(2) (略)

(3) 機種の選定

機械・規格は、次表を標準とする。

表3. 1 機種を選定

機械名	規格	敷鉄板	
		設置	撤去
バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付 排出ガス対策型(第3次基準値)山積 0.8 m ³ (平積0.6 m ³)吊能力2.9 t	○	○

(注) (略)

(4)・(5) (略)

(6) 単価表

1) 敷鉄板設置 100 m²当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人	1×100/D	表4.1、表4.2
とび工		〃	1×100/D	〃
山林砂防工 (普通作業員)		〃	1×100/D	〃
バックホウ (クローラ型) 運転	標準型・クレーン機能付排出 ガス対策型(第3次基準値) 山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)吊 能力2.9 t	日	100/D	表4.2 機械賃料
諸雑費		式		表5.1
計				

2) 敷鉄板撤去 100 m²当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人	1×100/D	表4.1、表4.2
とび工		〃	1×100/D	〃
山林砂防工 (普通作業員)		〃	1×100/D	〃
バックホウ (クローラ型) 運転	標準型・クレーン機能付排出 ガス対策型(第3次基準値) 山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³)吊 能力2.9 t	日	100/D	表4.2 機械賃料
諸雑費		式		表5.1
計				

3) (略)

4) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型) 運 転	標準型・クレーン機能付排 出ガス対策型(2014年規 制)山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³) 吊能力 2.9 t	機-28	【設置】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→119 機械賃料数量→1.06 【撤去】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→119 機械賃料数量→1.06

8-11 鋼矢板(H型鋼)工(バイプロハンマ工・油圧圧入引抜工)

8-11-1 バイプロハンマ工

1・2 (略)

3 施工歩掛

(1) 機種を選定

① バイプロハンマの規格

(略)

ア 打込み(電動式バイプロハンマ)

図3-1 (略)

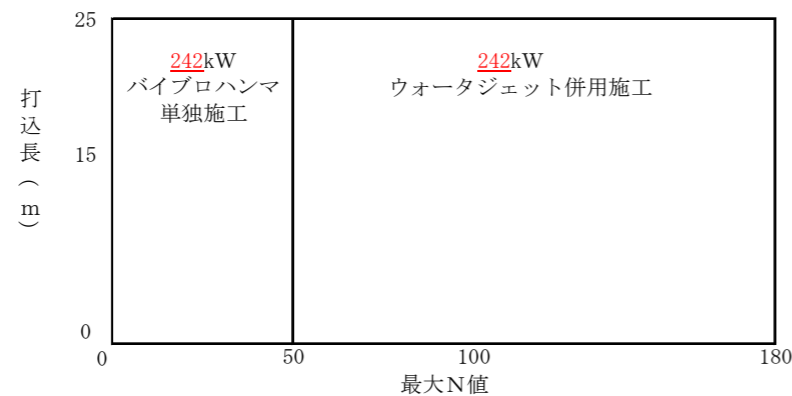
表3.1 機種を選定(電動式バイプロハンマ)

施工方法		バイプロハンマ 単 独 施 工	ウォータージェット併用施工	
最大N値		Nmax<50	50≤Nmax<100	100≤Nmax≤180
打 込 長	15m以下	電動式・普通型 60kW 電動式・可変モーメント型 (ハット型鋼矢板用)60kW	電動式・普通型 90kW 電動式・可変モーメント型 (ハット型鋼矢板用)90kW	
	25m以下	電動式・普通型 90kW 電動式・可変モーメント型(ハット型鋼矢板用)90kW		
杭打ち用ウオー タージェット		—	エンジン式・排出ガス対策型(第3次基準値) ポンプ圧力 14.7MPa、吐出量 325ℓ/min×2台 (14.7MPa 325ℓ/min×1台)(注1)	

(注) (略)

イ 打込み(油圧式バイプロハンマ)

図3-2 油圧式バイプロハンマ機種を選定範囲



4) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型) 運 転	標準型・クレーン機能付排 出ガス対策型(第3次基準 値)山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³) 吊能力 2.9 t	機-28	【設置】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→112 機械賃料数量→1.06 【撤去】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→112 機械賃料数量→1.06

8-11 鋼矢板(H型鋼)工(バイプロハンマ工・油圧圧入引抜工)

8-11-1 バイプロハンマ工

1・2 (略)

3 施工歩掛

(1) 機種を選定

① バイプロハンマの規格

(略)

ア 打込み(電動式バイプロハンマ)

図3-1 (略)

表3.1 機種を選定(電動式バイプロハンマ)

施工方法		バイプロハンマ 単 独 施 工	ウォータージェット併用施工	
最大N値		Nmax<50	50≤Nmax<100	100≤Nmax≤180
打 込 長	15m以下	電動式・普通型 60kW 電動式・可変モーメント型 (ハット型鋼矢板用)60kW	電動式・普通型 90kW 電動式・可変モーメント型 (ハット型鋼矢板用)90kW	
	25m以下	電動式・普通型 90kW 電動式・可変モーメント型(ハット型鋼矢板用)90kW		
杭打ち用ウオー タージェット		—	エンジン式・排出ガス対策型(第1次基準値) ポンプ圧力 14.7MPa、吐出量 325ℓ/min×2台 (14.7MPa 325ℓ/min×1台)(注1)	

(注) (略)

イ 打込み(油圧式バイプロハンマ)

図3-2 油圧式バイプロハンマ機種を選定範囲

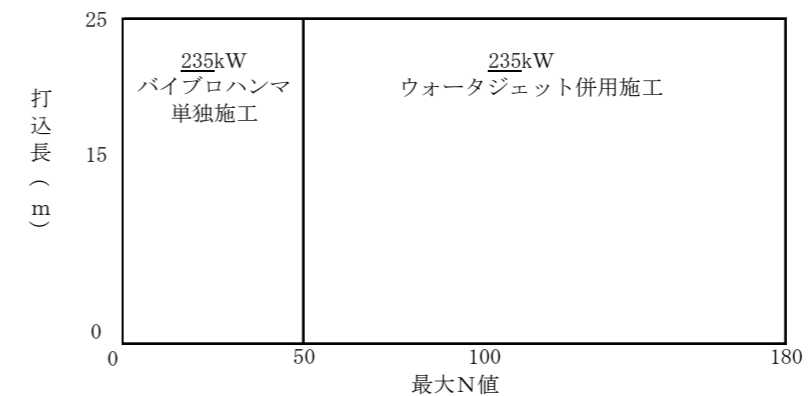


表3.2 機種を選定（油圧式バイプロハンマ）

施工方法		バイプロハンマ 単独施工	ウォータージェット併用施工	
最大N値		Nmax<50	50≤Nmax<100	100≤Nmax≤180
打込長	25m以下	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型(第3次基準値)・ 最大起振力 473kN・242kW 油圧式・可変超高周波型(ハット型鋼矢板用)・排出ガス対策型(第3次基準値)・ 最大起振力 473kN・242kW		
杭打ち用ウォータージェット		—	エンジン式・排出ガス対策型(第3次基準値) ポンプ圧力 14.7MPa、吐出量 325ℓ/min×2台 (14.7MPa 325ℓ/min×1台) (注1)	

(注) (略)

ウ 引抜き

引抜き作業に使用する機械・規格は、N値にかかわらず次表のとおりとする。

表3.3 引抜き作業の機種を選定

	電動式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ	
	引抜き長	規格	引抜き長	規格
鋼矢板 H形鋼	25m以下	60kW	25m以下	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型(第3次基準値)・ 最大起振力 473kN・242kW

(注) (略)

② 付属機械

(略)

表3.4 付属機械の機種を選定

バイプロハンマ種別	施工内容	機械名	規格
電動式バイプロハンマ	打込み(WJ併用施工を含む。)・引抜き	クローラークレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)50~55t吊
油圧式バイプロハンマ	打込み(WJ併用施工を含む。)		
	引抜き	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第3次基準値)25t吊

(注) (略)

表3.5 (略)

(2) (略)

(3) 日当たり施工枚(本)数

①・② (略)

表3.2 機種を選定（油圧式バイプロハンマ）

施工方法		バイプロハンマ 単独施工	ウォータージェット併用施工	
最大N値		Nmax<50	50≤Nmax<100	100≤Nmax≤180
打込長	25m以下	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型(第2次基準値)235kW		
杭打ち用ウォータージェット		—	エンジン式・排出ガス対策型(第1次基準値) ポンプ圧力 14.7MPa、吐出量 325ℓ/min×2台 (14.7MPa 325ℓ/min×1台) (注1)	

(注) (略)

ウ 引抜き

引抜き作業に使用する機械・規格は、N値にかかわらず次表のとおりとする。

表3.3 引抜き作業の機種を選定

	電動式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ	
	引抜き長	規格	引抜き長	規格
鋼矢板 H形鋼	25m以下	60kW	25m以下	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型(第2次基準値)235kW

(注) (略)

② 付属機械

(略)

表3.4 付属機械の機種を選定

バイプロハンマ種別	施工内容	機械名	規格
電動式バイプロハンマ	打込み(WJ併用施工を含む。)・引抜き	クローラークレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)50~55t吊
油圧式バイプロハンマ	打込み(WJ併用施工を含む。)		
	引抜き	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)25t吊

(注) (略)

表3.5 (略)

(2) (略)

(3) 日当たり施工枚(本)数

①・② (略)

③ 継施工費

継施工が必要な場合の費用は、次表による。

鋼矢板・H形鋼型式		継施工費(円/箇所)
鋼矢板	Ⅱ型	<u>8,160</u>
	Ⅲ型	<u>8,580</u>
	Ⅳ型	<u>8,880</u>
	V _L 型	<u>12,200</u>
	VI _L 型	<u>12,500</u>
	Ⅱw型	<u>9,760</u>
	Ⅲw型	<u>10,000</u>
	Ⅳw型	<u>10,600</u>
	10H型(ハット)	<u>15,800</u>
	25H型(ハット)	<u>16,900</u>
H形鋼	H250	<u>28,800</u>
	H300	<u>36,300</u>
	H350	<u>50,900</u>
	H400	<u>73,400</u>

(注) (略)

④ (略)

(4) 諸雑費

(略)

表3.35 諸雑費率 (%)

施工区分	バイプロハンマ 機種・規格		諸 雑 費 率					
			継施工なし		継施工あり			
			普通・広幅 鋼矢板 H形鋼	ハット形 鋼矢板	普通・広幅 鋼矢板	ハット形 鋼矢板	H形鋼	
バイプロハンマ単独施工・打込み	電動式	60kW	19 13	16 11	17 12	15 11	17 12	
		90kW	22 15	18 13	20 14	17 12	20 14	
	油圧式	<u>242kW</u>	1 1	1 1	2 1	2 1	1 1	
ウォータージェット併用施工・打込み	電動式	60kW	18(22) 14(16) (注2)	16(19) 13(15) (注2)	18(21) 14(16) (注2)	16(19) 13(15) (注2)	17(20) 13(15) (注2)	
		90kW	20(24) 15(18) (注2)	18(21) 14(16) (注2)	20(23) 15(18) (注2)	17(20) 14(16) (注2)	19(22) 15(17) (注2)	
	油圧式	<u>242kW</u>	6(7) 5(5) (注2)	5(6) 5(5) (注2)	6(7) 5(6) (注2)	6(6) 5(5) (注2)	5(6) 5(5) (注2)	
	引抜き	電動式	60kW	18 12 (注3)	—	—	—	—
		油圧式	<u>242kW</u>	0.2 — (注3)	—	—	—	—

③ 継施工費

継施工が必要な場合の費用は、別途計上する。

鋼矢板・H形鋼型式		継施工費(円/箇所)
鋼矢板	Ⅱ型	<u>7,970</u>
	Ⅲ型	<u>8,330</u>
	Ⅳ型	<u>8,450</u>
	V _L 型	<u>11,600</u>
	VI _L 型	<u>11,900</u>
	Ⅱw型	<u>9,390</u>
	Ⅲw型	<u>9,630</u>
	Ⅳw型	<u>10,100</u>
	10H型(ハット)	<u>15,100</u>
	25H型(ハット)	<u>16,100</u>
H形鋼	H250	<u>26,100</u>
	H300	<u>33,200</u>
	H350	<u>46,900</u>
	H400	<u>67,400</u>

(注) (略)

④ (略)

(4) 諸雑費

(略)

表3.35 諸雑費率 (%)

施工区分	バイプロハンマ 機種・規格		諸 雑 費 率					
			継施工なし		継施工あり			
			普通・広幅 鋼矢板 H形鋼	ハット形 鋼矢板	普通・広幅 鋼矢板	ハット形 鋼矢板	H形鋼	
バイプロハンマ単独施工・打込み	電動式	60kW	19 13	16 11	17 12	15 11	17 12	
		90kW	22 15	18 13	20 14	17 12	20 14	
	油圧式	<u>235kW</u>	1 1	1 1	2 1	2 1	1 1	
ウォータージェット併用施工・打込み	電動式	60kW	18(22) 14(16) (注2)	16(19) 13(15) (注2)	18(21) 14(16) (注2)	16(19) 13(15) (注2)	17(20) 13(15) (注2)	
		90kW	20(24) 15(18) (注2)	18(21) 14(16) (注2)	20(23) 15(18) (注2)	17(20) 14(16) (注2)	19(22) 15(17) (注2)	
	油圧式	<u>235kW</u>	6(7) 5(5) (注2)	5(6) 5(5) (注2)	6(7) 5(6) (注2)	6(6) 5(5) (注2)	5(6) 5(5) (注2)	
	引抜き	電動式	60kW	18 12 (注3)	—	—	—	—
		油圧式	<u>235kW</u>	0.2 — (注3)	—	—	—	—

(注) (略)
(5) (略)

4 単価表
(1) (略)

(2) バイプロハンマとウォータジェット併用施工による鋼矢板等の打込み
10枚(本)当たり単価表

(鋼矢板等打込長〇〇m)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	10/N×1	表 3.6 表 3.12~3.19、3.24~ 3.32、3.34
~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
杭打ち用ウォータ ジェット運転	エンジン式・排出ガ ス対策型(第3次基準 値)ポンプ圧力 14.7MPa、吐出量 3250/min	〃	10/N×台数	表 3.1~3.2 〃
~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
諸 雑 費		式	1	表 3.35
計				

(注) (略)

(3) 矢板積台船(200t積)運転1日当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
台 船 損 料	200 t 積	供用日	<u>1.31</u>	
諸 雑 費		式	1	
計				

(注) (略)
(5) (略)

4 単価表
(1) (略)

(2) バイプロハンマとウォータジェット併用施工による鋼矢板等の打込み
10枚(本)当たり単価表

(鋼矢板等打込長〇〇m)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	10/N×1	表 3.6 表 3.12~3.19、3.24~ 3.32、3.34
~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
杭打ち用ウォータ ジェット運転	エンジン式・排出ガ ス対策型(第1次基準 値)ポンプ圧力 14.7MPa、吐出量 3250/min	〃	10/N×台数	表 3.1~3.2 〃
~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
諸 雑 費		式	1	表 3.35
計				

(注) (略)

(3) 矢板積台船(200t積)運転1日当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
台 船 損 料	200 t 積	供用日	<u>1.3</u>	
諸 雑 費		式	1	
計				

(4) 機械運転単価表 (陸上施工)

機械名	規格	適用単価表	指定事項	適用
電動式 バイプロハンマ 杭打機	電動式・普通 型 60 kW 90 kW	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>76</u> 機械損料1→バイプロハンマ(単体)[電動式・普通型]60 kW、90 kW 機械損料数量→ <u>1.31</u> 機械損料2→クローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラ チスジブ型・排出ガス対策型(2014年規 制)]50~55 t 吊 機械損料数量→ <u>1.31</u>	打込み 引抜き
電動式 バイプロハン マ杭打機 (ハット形 鋼矢板用)	電動式・可変 モーメント 型 60 kW 90 kW	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>76</u> 機械損料1→バイプロハンマ(単体)[電動式・可変モー メント型] 60 kW、90 kW 機械損料数量→ <u>1.31</u> 機械損料2→クローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラ チスジブ型・排出ガス対策型(2014年規 制)]50~55 t 吊 機械損料数量→ <u>1.31</u>	打込み
油圧式 バイプロハン マ杭打機	油圧式・可変 超高周波型・ 排出ガス対策 型(第3次基準 値)・最大 起振力 473 k N・242 kW	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>473</u> 機械損料1→バイプロハンマ[油圧式・可変超高周波型] 機械損料数量→ <u>1.31</u> 機械損料2→クローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラ チスジブ型・排出ガス対策型(2014年規 制)]50~55 t 吊 機械損料数量→ <u>1.31</u> 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>484</u> 機械損料1→バイプロハンマ[油圧式・可変超高周波型] 機械損料数量→ <u>1.21</u> 機械損料2→ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第3次基準値)]25 t 吊 機械損料数量→ <u>1.21</u>	打込み 引抜き
油圧式 バイプロハン マ杭打機 (ハット形鋼 矢板用)	油圧式・可変 超高周波型・ 排出ガス対策 型(第3次基準 値)・最大起 振力 473 kN ・242 kW	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>473</u> 機械損料1→バイプロハンマ[油圧式・可変超高周波型] 機械損料数量→ <u>1.31</u> 機械損料2→クローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ 型・排出ガス対策型(2014年規制)]50~55 t 吊 機械損料数量→ <u>1.31</u>	打込み
杭打ち用 ウォータジ ェット	エンジン式・ 排出ガス対策 型(第3次基準 値) ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→ <u>139</u> 機械損料数量→ <u>1.31</u>	打込み

(4) 機械運転単価表 (陸上施工)

機械名	規格	適用単価表	指定事項	適用
電動式 バイプロハンマ 杭打機	電動式・普通 型 60 kW 90 kW	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>69</u> 機械損料1→バイプロハンマ(単体)[電動式・普通型]60 kW、90 kW 機械損料数量→ <u>1.3</u> 機械損料2→クローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラ チスジブ型・排出ガス対策型(第1次基準 値)]50~55 t 吊 機械損料数量→ <u>1.3</u>	打込み 引抜き
電動式 バイプロハン マ杭打機 (ハット形 鋼矢板用)	電動式・可変 モーメント 型 60 kW 90 kW	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>69</u> 機械損料1→バイプロハンマ(単体)[電動式・可変モー メント型] 60 kW、90 kW 機械損料数量→ <u>1.3</u> 機械損料2→クローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラ チスジブ型・排出ガス対策型(第1次基準 値)]50~55 t 吊 機械損料数量→ <u>1.3</u>	打込み
油圧式 バイプロハン マ杭打機	油圧式・可変 超高周波型・ 排出ガス対策 型(第2次基準 値) 235 kW	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>523</u> 機械損料1→バイプロハンマ[油圧式・可変超高周波型・ 排出ガス対策型(第2次基準値)] 機械損料数量→ <u>1.3</u> 機械損料2→クローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラ チスジブ型・排出ガス対策型(第1次基準 値)]50~55 t 吊 機械損料数量→ <u>1.3</u> 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>570</u> 機械損料1→バイプロハンマ[油圧式・可変超高周波型・ 排出ガス対策型(第2次基準値)] 機械損料数量→ <u>1.2</u> 機械損料2→ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第1次基準値)]25 t 吊 機械損料数量→ <u>1.2</u>	打込み 引抜き
油圧式 バイプロハン マ杭打機 (ハット形鋼 矢板用)	油圧式・可変 超高周波型・ 排出ガス対策 型(第2次基準 値) 235 kW	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>523</u> 機械損料1→バイプロハンマ[油圧式・可変超高周波型・排出ガ ス対策型(第2次基準値)] 機械損料数量→ <u>1.3</u> 機械損料2→クローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ 型・排出ガス対策型(第1次基準値)]50~55 t 吊 機械損料数量→ <u>1.3</u>	打込み
杭打ち用 ウォータジ ェット	エンジン式・ 排出ガス対策 型(第1次基準 値) ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→ <u>120</u> 機械損料数量→ <u>1.3</u>	打込み

(5) 機械運転単価表 (水上施工)

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バイプロハンマ (単体)	電動式・普通型 60 kW、90 kW	機-25	機械損料数量→ <u>1.31</u>
バイプロハンマ (単体) (ハット形鋼 矢板用)	電動式・可変モーメント型 60 kW、90 kW	機-25	機械損料数量→ <u>1.31</u>
バイプロハンマ (単体)	油圧式・可変超高周波型・排 出ガス対策型(第3次基準値) ・最大起振力 473 kN・242 kW	機-24	燃料消費量→ <u>397</u> 機械損料数量→ <u>1.31</u>
バイプロハンマ (単体) (ハット形鋼 矢板用)	油圧式・可変超高周波型・排 出ガス対策型(第3次基準値) ・最大起振力 473 kN・242 kW	機-24	燃料消費量→ <u>397</u> 機械損料数量→ <u>1.31</u>
杭打ち用 ウォータジェット	エンジン式・排出ガス対策型 (第3次基準値) ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 325ℓ/min	機-24	燃料消費量→ <u>139</u> 機械損料数量→ <u>1.31</u>
クレーン付台船	クローラクレーン 45~50 t 吊 台船 300 t 積	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 (クローラクレーン) 機械損料単位→供用日 燃料消費量→51 機械損料数量→ <u>1.31</u> (台船) 機械損料数量→ <u>1.31</u>
引船	鋼製 200PS 型	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 燃料消費量→111 (重油) 機械損料単位→供用日 機械損料数量→ <u>1.01</u>

8-11-2 バイプロハンマ工 (軽量鋼矢板打込引抜き)
1~4 (略)

5 施工歩掛

(1) 打込打込及び引抜き施工時間
(略)

① (略)

②軽量鋼矢板 1 枚当たり打込又は引抜き時間 (T b)
(略)

ア (略)

イ 軽量鋼矢板の種類による係数 (K)

表 5. 3 軽量鋼矢板の種類による係数 (K)

矢板種類	打込み	引抜き
軽量矢 250 mm	0.5	0.6

(5) 機械運転単価表 (水上施工)

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バイプロハンマ (単体)	電動式・普通型 60 kW、90 kW	機-25	機械損料数量→ <u>1.3</u>
バイプロハンマ (単体) (ハット形鋼 矢板用)	電動式・可変モーメント型 60 kW、90 kW	機-25	機械損料数量→ <u>1.3</u>
バイプロハンマ (単体)	油圧式・可変超高周波型・排 出ガス対策型(第2次基準 値)242 kW	機-24	燃料消費量→ <u>454</u> 機械損料数量→ <u>1.3</u>
バイプロハンマ (単体) (ハット形鋼 矢板用)	油圧式・可変超高周波型・排 出ガス対策型(第2次基準 値)242 kW	機-24	燃料消費量→ <u>454</u> 機械損料数量→ <u>1.3</u>
杭打ち用 ウォータジェット	エンジン式・排出ガス対策型 (第1次基準値) ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 325ℓ/min	機-24	燃料消費量→ <u>120</u> 機械損料数量→ <u>1.3</u>
クレーン付台船	クローラクレーン 45~50 t 吊 台船 300 t 積	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 (クローラクレーン) 機械損料単位→供用日 燃料消費量→51 機械損料数量→ <u>1.3</u> (台船) 機械損料数量→ <u>1.3</u>
引船	鋼製 200PS 型	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 燃料消費量→111 (重油) 機械損料単位→供用日 機械損料数量→ <u>1.0</u>

8-11-2 バイプロハンマ工 (軽量鋼矢板打込引抜き)
1~4 (略)

5 施工歩掛

(1) 打込打込及び引抜き施工時間
(略)

① (略)

②軽量鋼矢板 1 枚当たり打込又は引抜き時間 (T b)
(略)

ア (略)

イ 軽量鋼矢板の種類による係数 (K)

表 5. 3 軽量鋼矢板の種類による係数 (K)

矢板種類	打込み	引抜き
軽量矢 250 mm	0.5	0.6

＼ 333 mm	0.8	0.95
----------	-----	------

ウ (略)

(2) (略)

6 (略)

8-11-3 油圧圧入引抜工

1・2 (略)

3 施工歩掛

(1) 機種を選定

① 油圧式杭圧入引抜機

油圧式杭圧入引抜機の規格は、次表を標準とする。

表3.1 機種を選定

作業の種類	圧入			引抜き
	最大N値	Nmax ≤ 25	Nmax ≤ 50	
鋼矢板型式	II型 III型 IV型	エンジン式ユニット・排出ガス対策型 (2014年規制) 圧入力 800kN 引抜力 900kN	エンジン式ユニット (硬質地盤専用)・排出ガス対策型 (第3次基準値) 普通鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜力 900kN	エンジン式ユニット・排出ガス対策型 (2014年規制) 圧入力 800kN 引抜力 900kN
	VI型 VII型	エンジン式ユニット・排出ガス対策型 (第3次基準値) 広幅鋼矢板用 圧入力 1,000kN 引抜力 1,100kN	エンジン式ユニット (硬質地盤専用)・排出ガス対策型 (第3次基準値) 広幅鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜力 1,000kN	エンジン式ユニット・排出ガス対策型 (第3次基準値) 広幅鋼矢板用 圧入力 1,000kN 引抜力 1,100kN
	IIw型 IIIw型 IVw型			-
	10H型 25H型	エンジン式ユニット・排出ガス対策型 (2014年規制) ハット形鋼矢板 900 mm用 圧入力 1,000kN 引抜力 1,200kN	-	-

(注) (略)

＼ 300 mm	0.8	0.95
----------	-----	------

ウ (略)

(2) (略)

6 (略)

8-11-3 油圧圧入引抜工

1・2 (略)

3 施工歩掛

(1) 機種を選定

① 油圧式杭圧入引抜機

油圧式杭圧入引抜機の規格は、次表を標準とする。

表3.1 機種を選定

作業の種類	圧入			引抜き
	最大N値	Nmax ≤ 25	Nmax ≤ 50	
鋼矢板型式	II型 III型 IV型	エンジン式ユニット・排出ガス対策型 (第2次基準値) 圧入力 1,000kN 引抜力 1,100kN	エンジン式ユニット (硬質地盤専用)・排出ガス対策型 (第3次基準値) 普通鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜力 900kN	エンジン式ユニット・排出ガス対策型 (第2次基準値) 圧入力 1,000kN 引抜力 1,100kN
	VI型 VII型	エンジン式ユニット・排出ガス対策型 (第1次基準値) 広幅鋼矢板用 圧入力 981~1,471kN 引抜力 1,079~1,569kN	エンジン式ユニット (硬質地盤専用)・排出ガス対策型 (第2次基準値) 広幅鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜力 900kN	エンジン式ユニット・排出ガス対策型 (第1次基準値) 広幅鋼矢板用 圧入力 981~1,471kN 引抜力 1,079~1,569kN
	IIw型 IIIw型 IVw型			-
	10H型 25H型	エンジン式ユニット・排出ガス対策型 (第2次基準値) ハット形鋼矢板 900 mm用 圧入力 1000kN 引抜力 1,100kN	-	-

(注) (略)

② 付属機械

油圧式杭圧入引抜機の付属機械の機械・規格は、次表を標準とする。

表 3. 2 付属機械の機種を選定

作業の種類 機械名	作業の種類			備考
	圧入(Nmax≤25) 引抜き	圧入(Nmax≤50)	圧入(50<Nmax≤600)	
ラフテレーン クレーン (注) 4	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 25 t 吊(注)2		油圧伸縮ジブ型・排出 ガス対策型 (2011年規 制) 50~51 t 吊(注)2	陸上からの施 工時のみ
杭打ち用 ウォータジェ ット	—	エンジン式・排出 ガス対策型 (第3 次基準値) 圧力 14.7MPa 吐出量 325ℓ /min	—	
クレーン付台 船	クローラクレーン 35~ 40 t 吊 台船 300 t 積(注)3		—	水上からの施 工時のみ
引 船	鋼製D100P S型 4.9GT(注)3		—	

(注) (略)

(2)・(3) (略)

4 単価表

(1) 鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表 (Nmax≤25)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 3.3 表 3.5
~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
ラフテレーン クレーン運 転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第3次 基準値)25 t 吊	”	$\frac{10}{N}$	表 3.2(注)2 表 3.5 機械損料
~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
諸 雑 費 計		式	1	表 3.17

(注) (略)

(2) 鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表 (Nmax≤50)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 3.3 表 3.6
~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
杭 打 ち 用 ウォータジェ ット 運 転	エンジン式・排出ガス対 策型(第3次基準値) 圧力 14.7MPa 吐出量 325ℓ/min	”	$\frac{10}{N}$	表 3.2 表 3.6 機械損料
ラフテレーン クレーン運 転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第3次 基準値)25 t 吊	”	$\frac{10}{N}$	表 3.2(注)3 表 3.6 機械損料

② 付属機械

油圧式杭圧入引抜機の付属機械の機械・規格は、次表を標準とする。

表 3. 2 付属機械の機種を選定

作業の種類 機械名	作業の種類			備考
	圧入(Nmax≤25) 引抜き	圧入(Nmax≤50)	圧入(50<Nmax≤600)	
ラフテレーン クレーン (注) 4	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 25 t 吊(注)2		油圧伸縮ジブ型・排出 ガス対策型 (第1次基 準値) 50~51 t 吊(注)2	陸上からの施 工時のみ
杭打ち用 ウォータジェ ット	—	エンジン式・排出 ガス対策型 (第1 次基準値) 圧力 14.7MPa 吐出量 325ℓ /min	—	
クレーン付台 船	クローラクレーン 35~ 40 t 吊 台船 300 t 積(注)3		—	水上からの施 工時のみ
引 船	鋼製D100P S型 4.9GT(注)3		—	

(注) (略)

(2)・(3) (略)

4 単価表

(1) 鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表 (Nmax≤25)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 3.3 表 3.5
~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
ラフテレーン クレーン運 転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第2次 基準値)25 t 吊	”	$\frac{10}{N}$	表 3.2(注)2 表 3.5 機械損料
~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
諸 雑 費 計		式	1	表 3.17

(注) (略)

(2) 鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表 (Nmax≤50)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 3.3 表 3.6
~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
杭 打 ち 用 ウォータジェ ット 運 転	エンジン式・排出ガス対 策型(第1次基準値) 圧力 14.7MPa 吐出量 325ℓ/min	”	$\frac{10}{N}$	表 3.2 表 3.6 機械損料
ラフテレーン クレーン運 転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第2次 基準値)25 t 吊	”	$\frac{10}{N}$	表 3.2(注)3 表 3.6 機械損料
~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~

～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
諸 雑 費		式	1	表 3.17
計				

(注) (略)

(3) 鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表 (50 < Nmax ≤ 600)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 3.3 表 3.7～表 3.11
～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(2011 年規制)50～51 t 吊	〃	$\frac{10}{N}$	表 3.2(注)2 表 3.7～表 3.11 機械損料
諸 雑 費		式	1	表 3.17
計				

(注) (略)

(4) 継鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表 (Nmax ≤ 25)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	$\frac{10}{\text{Nor}N'} \times 1$	表 3.3 表 3.13、表 3.15
～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第3次 基準値)25 t 吊	〃	$\frac{10}{\text{Nor}N'}$	表 3.2(注)2 表 3.13、表 3.15 機械損料
～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
諸 雑 費		式	1	表 3.17
計				

(注) (略)

(5) 継鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表 (Nmax ≤ 50)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	$\frac{10}{\text{Nor}N'} \times 1$	表 3.3 表 3.14、表 3.15
～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
杭 打 ち 用 ウォータジェット 運 転	エンジン式・排出ガス対 策型(第3次基準値) 圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	〃	$\frac{10}{\text{Nor}N'}$	表 3.2 表 3.14、表 3.15 機械損料
ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第3次 基準値)25 t 吊	〃	$\frac{10}{\text{Nor}N'}$	表 3.2(注)3 表 3.14、表 3.15 機械損料
～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
諸 雑 費		式	1	表 3.17
計				

(注) (略)

諸 雑 費		式	1	表 3.17
計				

(注) (略)

(3) 鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表 (50 < Nmax ≤ 600)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 3.3 表 3.7～表 3.11
～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第1次 基準値)50～51 t 吊	〃	$\frac{10}{N}$	表 3.2(注)2 表 3.7～表 3.11 機械損料
諸 雑 費		式	1	表 3.17
計				

(注) (略)

(4) 継鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表 (Nmax ≤ 25)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	$\frac{10}{\text{Nor}N'} \times 1$	表 3.3 表 3.13、表 3.15
～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第2次 基準値)25 t 吊	〃	$\frac{10}{\text{Nor}N'}$	表 3.2(注)2 表 3.13、表 3.15 機械損料
～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
諸 雑 費		式	1	表 3.17
計				

(注) (略)

(5) 継鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表 (Nmax ≤ 50)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	$\frac{10}{\text{Nor}N'} \times 1$	表 3.3 表 3.14、表 3.15
～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
杭 打 ち 用 ウォータジェット 運 転	エンジン式・排出ガス対 策型(第1次基準値) 圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	〃	$\frac{10}{\text{Nor}N'}$	表 3.2 表 3.14、表 3.15 機械損料
ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第2次 基準値)25 t 吊	〃	$\frac{10}{\text{Nor}N'}$	表 3.2(注)3 表 3.14、表 3.15 機械損料
～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
諸 雑 費		式	1	表 3.17
計				

(注) (略)

(6) 鋼矢板引抜き 10 枚当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 3.3 表 3.12
～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第3次 基準値)25 t 吊	〃	$\frac{10}{N}$	表 3.2(注)2 表 3.12 機械損料
～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
諸 雑 費		式	1	表 3.17
計				

(注) (略)

(7) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 1 回当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人		表 3.16
～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第3次 基準値)25 t 吊	〃		表 3.2(注)2 表 3.16 機械損料
ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(2011 年規制)50～51 t 吊	〃		表 3.2(注)2 表 3.16 機械損料
～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
諸 雑 費		式	1	
計				

(注) (略)

(6) 鋼矢板引抜き 10 枚当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 3.3 表 3.12
～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第2次 基準値)25 t 吊	〃	$\frac{10}{N}$	表 3.2(注)2 表 3.12 機械損料
～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
諸 雑 費		式	1	表 3.17
計				

(注) (略)

(7) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体 1 回当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人		表 3.16
～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第2次 基準値)25 t 吊	〃		表 3.2(注)2 表 3.16 機械損料
ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第1次 基準値)50～51 t 吊	〃		表 3.2(注)2 表 3.16 機械損料
～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～	～ (略) ～
諸 雑 費		式	1	
計				

(注) (略)

(8) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(2014年 規制) 圧入力 800kN 引抜力 900kN	機-24	燃料消費量→132 機械損料数量→1.46
油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(第3次基 準値)広幅鋼矢板用 圧入力 1,000kN 引抜力 1,100kN	機-24	燃料消費量→151 機械損料数量→1.46
油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(2014年 規制) ハット形鋼矢板 900mm用 圧入力 1,000kN 引抜力 1,200kN	機-24	燃料消費量→176 機械損料数量→1.46
油圧式杭圧入引抜機 (鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス 対策型(第3次基準値)普通鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜力 900kN	機-24	燃料消費量→176 機械損料数量→1.46
油圧式 杭圧入引抜機 (鋼矢板Ⅴ _L ・Ⅵ _L ・ Ⅱ _w ・Ⅲ _w ・Ⅳ _w 型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス 対策型(第3次基準値)広幅鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜力 1,000kN	機-24	燃料消費量→176 機械損料数量→1.46
杭打ち用ウォータジ ェット	エンジン式・排出ガス対策型(第3次基準値) ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 325ℓ/min	機-24	燃料消費量→139 機械損料数量→1.46
ラフテレーンクレー ン	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第3次基準 値)25t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→95 機械損料数量→1.46
ラフテレーンクレー ン	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(2011年規制)50 ～51t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→132 機械損料数量→1.46
クレーン付台船	(クローラクレーン) 35～40t吊 (台船) 300t積	機-11	運転1日当たり単価表 船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 (クローラクレーン) 燃料消費量→45 機械損料数量→1.46 機械損料単位→供用日(台船) 機械損料数量→1.46
引船	鋼製 D100PS 型 4.9GT	機-11	運転1日当たり単価表 船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 主燃料→重油 燃料消費量→57 機械損料数量→1.22

(8) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(第2次基 準値) 圧入力 1,000kN 引抜力 1,100kN	機-24	燃料消費量→202 機械損料数量→1.45
油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(第1次基 準値)広幅鋼矢板用 圧入力 981～1,471kN 引抜力 1,079～1,569kN	機-24	燃料消費量→132 機械損料数量→1.45
油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(第2次基 準値) ハット形鋼矢板 900mm用 圧入力 1,000kN 引抜力 1,100kN	機-24	燃料消費量→202 機械損料数量→1.45
油圧式杭圧入引抜機 (鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス 対策型(第3次基準値)普通鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜力 900kN	機-24	燃料消費量→208 機械損料数量→1.45
油圧式 杭圧入引抜機 (鋼矢板Ⅴ _L ・Ⅵ _L ・ Ⅱ _w ・Ⅲ _w ・Ⅳ _w 型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス 対策型(第2次基準値)広幅鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜力 900kN	機-24	燃料消費量→202 機械損料数量→1.45
杭打ち用ウォータジ ェット	エンジン式・排出ガス対策型(第1次基準値) ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 325ℓ/min	機-24	燃料消費量→120 機械損料数量→1.45
ラフテレーンクレー ン	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第2次基準 値)25t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→107 機械損料数量→1.45
ラフテレーンクレー ン	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第1次基準 値)50～51t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→139 機械損料数量→1.45
クレーン付台船	(クローラクレーン) 35～40t吊 (台船) 300t積	機-11	運転1日当たり単価表 船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 (クローラクレーン) 燃料消費量→45 機械損料数量→1.45 機械損料単位→供用日(台船) 機械損料数量→1.45
引船	鋼製 D100PS 型 4.9GT	機-11	運転1日当たり単価表 船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 主燃料→重油 燃料消費量→57 機械損料数量→1.21 機械損料単位→供用日

			機械損料単位→供用日
--	--	--	------------

8-11-4 プレボーリング
1～3 (略)

4 施工歩掛
(略)
(1)～(3) (略)

(4) 諸雑費
諸雑費は、オーガスクリュー及びオーガヘッド損料、発動発電機を使用した場合の発動発電機損料及び運転経費等の費用であり、労務費、杭打機損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、商用電源を使用した場合は()内の率を乗じた金額を上限として計上する。

表4.6 諸雑费率(%)

諸雑费率	10(4)
------	-------

5 (略)

8-12 鋼矢板工(アースオーガ併用圧入工)

1～4 (略)
(1) (略)

(2) 諸雑費
諸雑費は、掘削土処理(穴埋め作業等)作業費、矢板等設置小運搬費、オーガスクリュー及びオーガヘッド損料、電力に関する経費、足場材(敷鉄板等)、鋼矢板圧入金具取付に関する経費等の費用であり、労務費及び杭打機運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表5.5 諸雑费率(%)

機種	諸雑费率
油圧式オーガ 34kN-m	34
電動式オーガ 90kW	37

6 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
アースオーガ併用圧入杭打機	油圧式 34kN-m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →57 機械損料数量→ <u>1.61</u>
	電動式 90kW		運転労務数量→1.00 燃料消費量 →74 機械損料数量→ <u>1.61</u>

8-13 鋼矢板(H形鋼)工(クレーン引抜工)

1～3 (略)

4 単価表

(1) (略)

8-11-4 プレボーリング
1～3 (略)

4 施工歩掛
(略)
(1)～(3) (略)

(4) 諸雑費
諸雑費は、オーガスクリュー及びオーガヘッド損料、発動発電機を使用した場合の発動発電機損料及び運転経費等の費用であり、労務費、杭打機損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、商用電源を使用した場合は()内の率を乗じた金額を上限として計上する。

表4.6 諸雑费率(%)

諸雑费率	11(4)
------	-------

5 (略)

8-12 鋼矢板工(アースオーガ併用圧入工)

1～4 (略)
(1) (略)

(2) 諸雑費
諸雑費は、掘削土処理(穴埋め作業等)作業費、矢板等設置小運搬費、オーガスクリュー及びオーガヘッド損料、電力に関する経費、足場材(敷鉄板等)、鋼矢板圧入金具取付に関する経費等の費用であり、労務費及び杭打機運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表5.5 諸雑费率(%)

機種	諸雑费率
油圧式オーガ 34kN-m	34
電動式オーガ 90kW	39

6 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
アースオーガ併用圧入杭打機	油圧式 34kN-m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →57 機械損料数量→ <u>1.59</u>
	電動式 90kW		運転労務数量→1.00 燃料消費量 →74 機械損料数量→ <u>1.59</u>

8-13 鋼矢板(H形鋼)工(クレーン引抜工)

1～3 (略)

4 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
杭拔機	ワイヤ式 最大引抜力 2,940kN (300 t)	機-20	運転労務数量→1.0 燃料消費量→53 機械損料1→杭抜き機 損料数量→ <u>1.60</u>
			機械損料2 →クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ 型・排出ガス対策型(第1次基準値) 30~35 t 吊) 損料数量→ <u>1.60</u>

8-14 (略)

8-15 仮橋・仮棧橋工

1 (略)

3 機種を選定

機械・規格は、次表を標準とする。

表3.1 機種を選定

作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要
直接基礎形式	ラフテレーンクレーン	〇〇 t 吊	台	1	
	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)				
杭基礎形式	クローラクレーン	〇〇 t 吊	"	1	
	排出ガス対策型(2014年規制) 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型				

(注) 1~3 (略)

4. ラフテレーンクレーンで 45t 吊を選定した場合は、排出ガス対策型(第1次基準値)とし、35t 吊を選定した場合は、排出ガス対策型(2011年規制)とする。

4 施工歩掛

(1) (略)

(2) 下部工

① (略)

② 杭橋脚設置・撤去工(杭基礎形式)

ア 杭橋脚打込・引抜工

(ア) 機種を選定

a (略)

b 付属機械

バイプロハンマの付属機器の機械は、次表を標準とし、吊上げ能力については現場条件に適合した規格とすることができる。現場条件によりこれにより難しい場合は、別途考慮する。

表4.8 付属機器の機械・規格

機種	バイプロハンマ規格	電動式バイプロハンマ	
		60kW	90kW

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
杭拔機	ワイヤ式 最大引抜力 2,940kN (300 t)	機-20	運転労務数量→1.0 燃料消費量→53 機械損料1→杭抜き機 損料数量→ <u>1.58</u>
			機械損料2 →クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ 型・排出ガス対策型(第1次基準値) 30~35 t 吊) 損料数量→ <u>1.58</u>

8-14 (略)

8-15 仮橋・仮棧橋工

1 (略)

3 機種を選定

機械・規格は、次表を標準とする。

表3.1 機種を選定

作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要
直接基礎形式	ラフテレーンクレーン	〇〇 t 吊	台	1	
	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)				
杭基礎形式	クローラクレーン	〇〇 t 吊	"	1	
	排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型				

(注) 1~3 (略)

4. ラフテレーンクレーンで 7t 吊、10t 吊、45t 吊 を選定した場合は、第1次基準値とする。

4 施工歩掛

(1) (略)

(2) 下部工

① (略)

② 杭橋脚設置・撤去工(杭基礎形式)

ア 杭橋脚打込・引抜工

(ア) 機種を選定

a (略)

b 付属機械

バイプロハンマの付属機器の機械は、次表を標準とし、吊上げ能力については現場条件に適合した規格とすることができる。現場条件によりこれにより難しい場合は、別途考慮する。

表4.8 付属機器の機械・規格

機種	バイプロハンマ規格	電動式バイプロハンマ	
		60kW	90kW

クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型 (2014年規制))	〇〇 t 吊
---	--------

(イ) ~ (エ) (略)

イ (略)

③ (略)

5 単価表

(1) ~ (8)

(9) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
クローラ クレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 50-55 t 吊 70 t 吊 80 t 吊 90 t 吊 100 t 吊 120 t 吊 200 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 50-55 t →72 70 t →105 80 t →118 90 t →105 100 t →118 120 t →118 200 t →138 機械損料数量→1.32
バイプロハン マ杭打機	電動式・普通型 60kW 90kW	機-20	運転労務数量→1.00 機械損料1→バイプロハンマ(単体)電 動式・普通型 60kW、90kW 機械損料数量→1.32 機械損料2→クローラクレーン(油圧駆 動式ウインチ・ラチスジ ブ型・排出ガス対策型 (2014年規制))〇〇 t 吊 燃料消費量 50-55 t →72 70 t →105 80 t →118 90 t →105 100 t →118 120 t →118 200 t →138 機械損料数量→1.32
杭打用 ウォータジェ ット	エンジン式・ 排出ガス対策型 (第3 次基準値) ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→136 機械損料数量→1.32

8-16 切土及び発破防護柵工

1~3 (略)

4 単価表

(1)・(2) (略)

(3) 機械運転単価表

クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値))	〇〇 t 吊
--	--------

(イ) ~ (エ) (略)

イ (略)

③ (略)

5 単価表

(1) ~ (8)

(9) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
クローラ クレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第3次基準値) 40-45 t 吊 50-55 t 吊 70 t 吊 80 t 吊 90 t 吊 100 t 吊 120 t 吊 200 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 40-45 t →64 50-55 t →74 70 t →106 80 t →106 90 t →121 100 t →121 120 t →121 200 t →136 機械損料数量→1.31
バイプロハン マ杭打機	電動式・普通型 60kW 90kW	機-20	運転労務数量→1.00 機械損料1→バイプロハンマ(単体)電 動式・普通型 60kW、90kW 機械損料数量→1.31 機械損料2→クローラクレーン(油圧駆 動式ウインチ・ラチスジ ブ型・排出ガス対策型 (第3次基準値))〇〇 t 吊 燃料消費量 40-45 t →64 50-55 t →74 70 t →106 80 t →106 90 t →121 100 t →121 120 t →121 200 t →136 機械損料数量→1.31
杭打用 ウォータジェ ット	ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→118 機械損料数量→1.31

8-16 切土及び発破防護柵工

1~3 (略)

4 単価表

(1)・(2) (略)

(3) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
高所作業車	トラック架装・伸縮ブーム・バスケット型 作業床高さ 12m	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>24</u> 機械賃料数量→1.07

8-17 (略)

8-18 法面工 (仮設用モルタル吹付工)

1~5 (略)

6 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

名称	規格	適用単価表	指定事項
モルタルコンクリート吹付機 (法面用)	湿式 モータ駆動 能力 0.8~1.2 m ³ /h 所要空気量 10~19 m ³ /min	機-15	
空気圧縮機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型 (超低騒音型)・排出ガス対策型 (第2次基準値) 吐出量 10.5~11.0 m ³ /min 吐出圧力 0.7MPa	機-16	燃料消費量→ <u>65</u> 賃料数量→1.71
電動発電機	ディーゼルエンジン駆動 (超低騒音型) 排出ガス対策型 (第3次基準値) 定格容量 (50/60Hz) 37/45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>31</u> 賃料数量→1.71
ホイールローダ	普通・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.34 m ³	機-29	運転労務数量→0.80 燃料消費量→ <u>14</u> 機械賃料数量→1.58

8-19 (略)

第9~第11 (略)

機械名	規格	適用単価表	指定事項
高所作業車	トラック架装・伸縮ブーム・バスケット型 作業床高さ 12m	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>28</u> 機械賃料数量→1.07

8-17 (略)

8-18 法面工 (仮設用モルタル吹付工)

1~5 (略)

6 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

名称	規格	適用単価表	指定事項
モルタルコンクリート吹付機 (法面用)	湿式 モータ駆動 能力 0.8~1.2 m ³ /h 所要空気量 10~19 m ³ /min	機-15	
空気圧縮機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型 (超低騒音型)・排出ガス対策型 (第2次基準値) 吐出量 10.5~11.0 m ³ /min 吐出圧力 0.7MPa	機-16	燃料消費量→ <u>81</u> 賃料数量→1.71
電動発電機	ディーゼルエンジン駆動 (超低騒音型) 排出ガス対策型 (第3次基準値) 定格容量 (50/60Hz) 37/45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>36</u> 賃料数量→1.71
ホイールローダ	普通・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.34 m ³	機-29	運転労務数量→0.80 燃料消費量→ <u>15</u> 機械賃料数量→1.58

8-19 (略)

第9~第11 (略)

第2編 治山

第1 山地治山土工

1-1 機械土工

1～3 (略)

4 施工歩掛

(1) バックホウ掘削(掘削・積込み、積込み)

バックホウ掘削による各作業の日当たり作業量は、次表を標準とする。

表4.1 (略)

(注) 1～3 (略)

4 地山の掘削・積込みは、地山の掘削及び掘削・積込みの作業に適用する。

5 ルーズな状態の積込みは、掘削により仮置きされた土砂等の積込、転圧・締固めを伴わない埋戻しの作業等に適用する。

(2) (略)

5 単価表

(1)・(2) (略)

(3) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型) (掘削・積込み、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>58</u> 機械損料数量→ <u>1.54</u>
バックホウ (クローラ型) (掘削・積込み、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>94</u> 機械損料数量→ <u>1.47</u>
バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>58</u> 機械損料数量→ <u>1.56</u>
バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>94</u> 機械損料数量→ <u>1.45</u>

(参考) (略)

1-2～1-4 (略)

第2 治山ダム工

2-1 コンクリート工

2-1-1・2-1-2 (略)

2-1-3 コンクリート打設工法の選定

(1) 打設工法

(略)

2-1-4 人力打設

(略)

2-1-5 コンクリートポンプ車打設歩掛

(1)・(2) (略)

第2編 治山

第1 山地治山土工

1-1 機械土工

1～3 (略)

4 施工歩掛

(1) バックホウの日当たり作業量

バックホウによる各作業の日当たり作業量は、次表を標準とする。

表4.1 (略)

(注) 1～3 (略)

(新設)

(新設)

(2) (略)

5 単価表

(1)・(2) (略)

(3) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型) (掘削・積込み、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>62</u> 機械損料数量→ <u>1.52</u>
バックホウ (クローラ型) (掘削・積込み、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>100</u> 機械損料数量→ <u>1.46</u>
バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>62</u> 機械損料数量→ <u>1.54</u>
バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>100</u> 機械損料数量→ <u>1.44</u>

(参考) (略)

1-2～1-4 (略)

第2 治山ダム工

2-1 コンクリート工

2-1-1・2-1-2 (略)

2-1-3 投入打設工法の選定

(1) 投入打設工法

(略)

2-1-4 人力投入打設歩掛

(略)

2-1-5 コンクリートポンプ車打設歩掛

(1)・(2) (略)

(3) 打設歩掛

(10 m³当たり)

区 分	世 話 役	特殊作業員	山林砂防工
打設 (A)	無筋構造物	0.2	0.3 <u>(0.2)</u>
	鉄筋 //	0.2	0.5 <u>(0.4)</u>
打設 (B)	無筋構造物	0.3	0.6 <u>(0.5)</u>
	鉄筋 //	0.3	0.8 <u>(0.6)</u>

- 備考 1 (略)
 2 上表には、ホースの筒先作業等を行う機械付補助労務を含む。なお、コンクリートポンプ車圧送料金について見積により積算する場合は、() 書きの歩掛を適用する。
 3 (略)
 4 諸雑費は、パイプレータ、高周波発動発電機損料等の費用であり、上表の労務費、機械損料及び運転経費の合計額に下表の諸雑費率を乗じて得た金額を上限として計上する。

諸雑費率 (%)	1
----------	---

5・6 (略)

(4) コンクリートポンプ車圧送料金

コンクリートポンプ車圧送を専門業者に外注する際に、該当する地域の専門業者の圧送料金(打設1回あたり)に、打設1回あたり固定の基本料金が設定されていること、打設量に応じて増える従量料金に最低限度の打設量が設定されていることなどの事由により、標準歩掛の適用が適当でない場合は、専門業者の圧送料金相当額を見積により積算することができる。

見積により積算する場合のコンクリートポンプ車圧送料金は、間接工事費等に相当する経費を含んだコンクリートポンプ車の運転・操作・筒先作業等の労務(原則2人)及びコンクリートポンプ車運転(1台、付属機器を含む)に要する費用であり、設計日打設量(m³)に対応する打設1回当たりの単価とする。一般に、圧送料金の見積額は、打設1回あたり固定の基本料金、打設量に応じて増える従量料金である圧送料、諸経費として示される。なお、半日程度の作業、あるいは1回の打設量が少ない場合に最低保証の料金で見積もることになる場合は、当該見積額とする。

また、コンクリートポンプ車圧送料金(打設1回あたり)は、直接工事費に相当する部分と間接工事費等に相当する部分を分離して見積を徴収することが困難であることから、間接工事費等に相当する部分を含めた圧送料金として見積を徴収して計上する。なお、間接工事費等の積算においては、ヘリコプター飛行経費に準じて、計上した圧送料金を共通仮設費(率分)・現場管理費・一般管理費等の算定の対象額に含めないものとする。

(5) (略)

(6) 単価表
(削る。)

(3) 打設歩掛

(10 m³当たり)

区 分	世 話 役	特殊作業員	山林砂防工
打設 (A)	無筋構造物	0.2	0.3
	鉄筋 //	0.2	0.
打設 (B)	無筋構造物	0.3	0.6
	鉄筋 //	0.3	0.8

- 備考 1 (略)
 2 上表には、ホースの筒先作業等を行う機械付補助労務を含む。
 3 (略)
 4 諸雑費は、パイプレータ、高周波発動発電機損料等の費用であり、上表の労務費、機械損料及び運転経費の合計額に下表の諸雑費率を乗じて得た金額を上限として計上する。

	(%)
諸雑費率	1

5・6 (略)

(新設)

(4) (略)

(5) 単価表

1) コンクリートポンプ車運転単価表

(1時間当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
特 殊 運 転 手		人		
燃 料 費		ℓ		
機 械 損 料		h	1	
計				

(削る。)

1) コンクリートポンプ車打設

(10m³当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(3)
特殊作業員		//		(3)
山林砂防工		//		(3)
コンクリートポンプ車運転		h		(2) 10/標準時間当たり打設量
コンクリート		m ³		10×(1+割増率)
諸雑費		式	1	(3)
計				

2) コンクリートポンプ車打設 (コンクリートポンプ車圧送料金による場合)

(10m³当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(3)
特殊作業員		//		(3) () 書き適用
山林砂防工		//		(3)
コンクリートポンプ車圧送料 料金		回		10/設計日打設量
コンクリート圧送管損料		共用日		10/設計日打設量×2
コンクリート		m ³		10×(1+割増率)
諸雑費		式	1	(3)
計				

- 備考 1 見積によりコンクリートポンプ車圧送料金 (打設 1 回あたり) を積算する場合に適用する。
 2 圧送管実延長が 30m を超える部分についてコンクリート圧送管損料を計上する。
 3 諸雑費は労務費及び圧送管損料の合計額に諸雑費率を乗じて得た金額を上限として計上する。

3) 圧送管組立・撤去

(10m 当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
山林砂防工		人		(5)
計				

備考 圧送管実延長が 30m を超える部分に適用する。

2) 投入打設単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
コンクリート		m ³		10×(1+割増率)
コンクリートポンプ車運転		h		10/(A)
コンクリート養生費		m ³		第 1 編 3-1-5、3-1-6
諸雑費		式	1	(3)
世話役		人		
特殊作業員		//		
山林砂防工		//		
計				

- 備考 1 (A)は、(2)の標準時間当たりの打設量。
 2 圧送管実延長 30m以上の部分については、圧送管 (パイプ) 損料を積算する。

(新設)

(新設)

(新設)

4)機械運転単価

機械名	規格	適用単価	指定事項
コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 90~110m ³ /h	機一3	機械損料1→コンクリートポンプ車 機械損料2→コンクリート圧送管(径125mm) 単位→m・h 数量→L×lh

備考 Lは、圧送管実延長が30mを超える部分の延長とする。

2-1-6 クレーン車打設

(1) 打設歩掛
(略)

(2) 単価表

(10 m³当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
コンクリート		m ³		10×(1+割増率)
クレーン車賃料		h		
(削る。)		(削る。)		(削る。)
諸雑費		式	1	(1)
世話役		人		
特殊作業員		//		
山林砂防工		//		
計				

2-1-7 コンクリート養生

「第1編共通工 第3コンクリート工 3-1コンクリート工 3-1-5コンクリート養生工、3-1-6養生工(特殊養生)」による。

また、単価表は、「第1編共通工 第3コンクリート工 3-1コンクリート工 3-1-10単価表」による。

2-1-8 型枠工

(1) 治山ダム型枠

1) 適用範囲

本歩掛は、溪間構造物のうち、谷止、床固工の本体等に適用する。

ただし、治山ダムの増厚・嵩上に係る型枠工は、別途積算することができる。

2)・3) (略)

(2) (略)

2-2~2-9 (略)

2-10 ソイルセメント工

1~4 (略)

5 単価表

(1)~(3) (略)

(新設)

2-1-6 クレーン車類投入打設歩掛

(1) 投入打設歩掛
(略)

(2) 投入打設単価表

(10 m³当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
コンクリート		m ³		10×(1+割増率)
クレーン車賃料		h		
コンクリート養生費		m ³		第1編3-1-5、3-1-6
諸雑費		式	1	(1)
世話役		人		
特殊作業員		//		
山林砂防工		//		
計				

2-1-7 コンクリート養生

「第1編共通工 第3コンクリート工 3-1コンクリート工 3-1-5コンクリート養生工、3-1-6養生工(特殊養生)」による。

(新設)

2-1-8 型枠工

(1) 治山ダム型枠

1) 適用範囲

本歩掛は、溪間構造物のうち、谷止、床固工の本体等に適用する。

(新設)

2)・3) (略)

(2) (略)

2-2~2-9 (略)

2-10 ソイルセメント工

1~4 (略)

5 単価表

(1)~(3) (略)

(4) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (粒径処理)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>93</u> 機械損料数量→ <u>1.73</u>
バックホウ (攪拌混合)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)吊能力 2.9 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>98</u> 機械損料数量→ <u>1.73</u>
バックホウ (敷均し)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>18</u> 賃料数量→1.52
振動ローラ (締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>13</u> 賃料数量→1.45

第3 山腹工

3-1 (略)

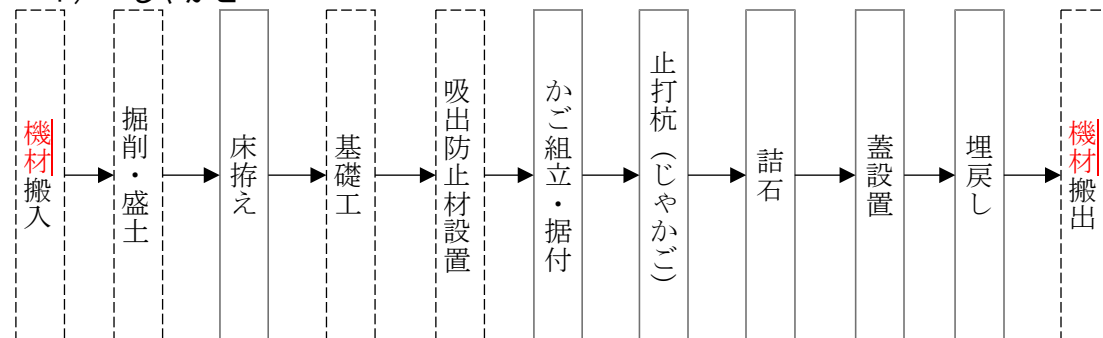
3-2 かご工 (A)

(1) (略)

(2) 施工概要

施工フローは、下図を標準とする。

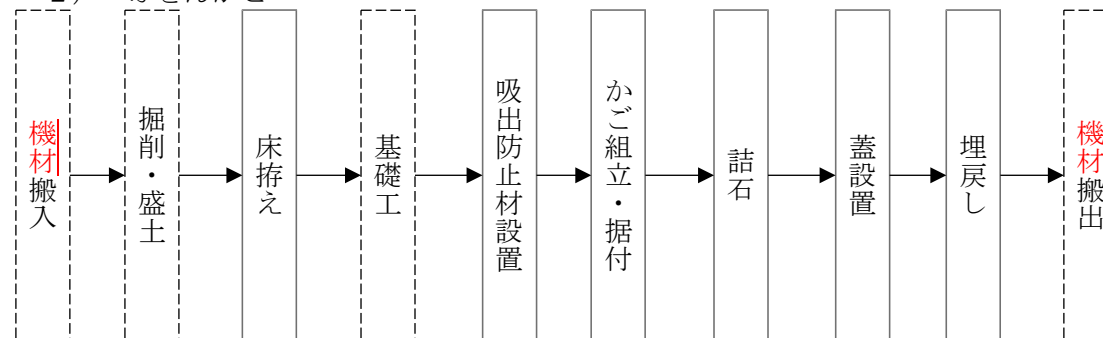
1) じゃかご



必要回数繰り返し

備考 本歩掛に対応しているのは、実線部分のみである。

2) ふとんかご



必要回数繰り返し

備考 本歩掛に対応しているのは、実線部分のみである。

(4) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (粒径処理)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→99 機械損料数量→ <u>1.71</u>
バックホウ (攪拌混合)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)吊能力 2.9 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>104</u> 機械損料数量→ <u>1.71</u>
バックホウ (敷均し)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>19</u> 賃料数量→1.52
振動ローラ (締固め)	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>11</u> 賃料数量→1.45

第3 山腹工

3-1 (略)

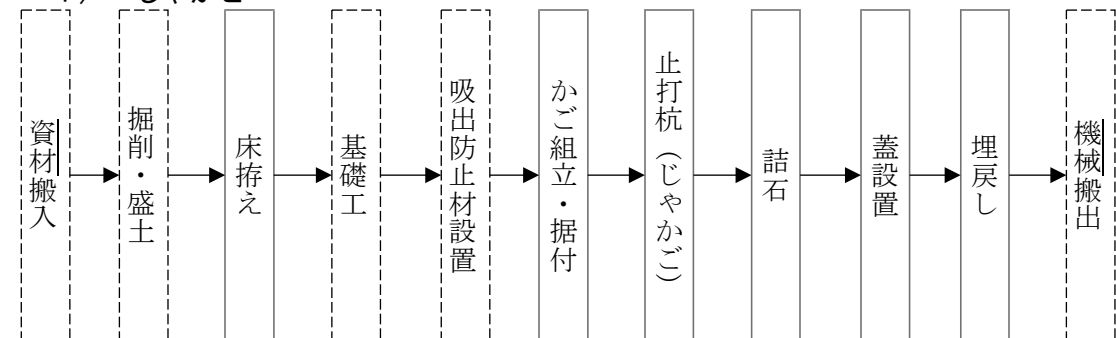
3-2 かご工 (A)

(1) (略)

(2) 施工概要

施工フローは、下図を標準とする。

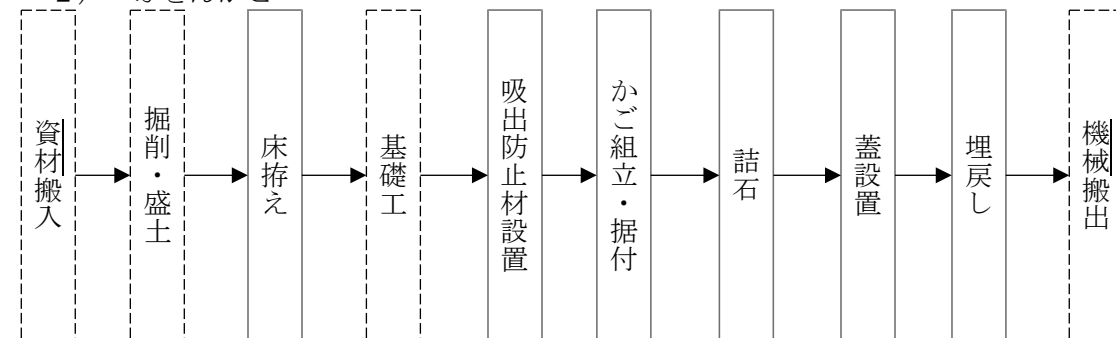
1) じゃかご



必要回数繰り返し

備考 本歩掛に対応しているのは、実線部分のみである。

2) ふとんかご



必要回数繰り返し

備考 本歩掛に対応しているのは、実線部分のみである。

- (3) 機種選定
機種・規格は、次表を標準とする。

機種の選定

機械名	規格	台数	摘要
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.5 m ³ (平積 0.4 m ³)	1	

- (4) 施工歩掛

- 1) ジャかご
ジャかご施工歩掛は、次表を標準とする。

ジャかご施工歩掛

(10m 当たり)

名称	規格	単位	ジャかご径(cm)		摘要
			45	60	
詰 石		m ³	1.5	2.7	
世話役		人	0.2	0.3	
特殊作業員		〃	0.7	1.3	
山林砂防工		〃	0.7	1.2	
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.5 m ³ (平積 0.4 m ³)	h	0.2	0.4	

備考 1～6 (略)

- 2) ふとんかご
ふとんかご施工歩掛は、次表を標準とする。

ふとんかご施工歩掛

(10m 当たり)

ふとんかご規格		高 (cm)	40		50		60		100		摘要
			幅 (cm)		120		200		120		
名称	規格	単位									
詰 石		m ³	4.6	5.7	9.5	6.8	11.0	19.0			
世話役		人	0.6	0.7	1.1	0.8	1.3	2.3			
特殊作業員		〃	0.6	0.8	1.3	0.9	1.5	2.6			
山林砂防工		〃	1.7	2.1	3.5	2.5	4.1	7.0			
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.5 m ³ (平積 0.4 m ³)	h	2.3	2.9	4.8	3.4	5.5	9.6			

備考 1～6 (略)

- 3) (略)

- (5) (略)

- (3) 機種選定
機種・規格は、次表を標準とする。

機種の選定

機械名	規格	台数	摘要
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積 0.5 m ³ (平積 0.4 m ³)	1	

- (4) 施工歩掛

- 1) ジャかご
ジャかご施工歩掛は、次表を標準とする。

ジャかご施工歩掛

(10m 当たり)

名称	規格	単位	ジャかご径(cm)		摘要
			45	60	
詰 石		m ³	1.5	2.7	
世話役		人	0.2	0.3	
特殊作業員		〃	0.7	1.3	
山林砂防工		〃	0.7	1.2	
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積 0.5 m ³ (平積 0.4 m ³)	h	0.2	0.4	

備考 1～6 (略)

- 2) ふとんかご
ふとんかご施工歩掛は、次表を標準とする。

ふとんかご施工歩掛

(10m 当たり)

ふとんかご規格		高 (cm)	40		50		60		100		摘要
			幅 (cm)		120		200		120		
名称	規格	単位									
詰 石		m ³	4.6	5.7	9.5	6.8	11.0	19.0			
世話役		人	0.6	0.7	1.1	0.8	1.3	2.3			
特殊作業員		〃	0.6	0.8	1.3	0.9	1.5	2.6			
山林砂防工		〃	1.7	2.1	3.5	2.5	4.1	7.0			
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積 0.5 m ³ (平積 0.4 m ³)	h	2.3	2.9	4.8	3.4	5.5	9.6			

備考 1～6 (略)

- 3) (略)

- (5) (略)

(6) 単価表

1) ジャかご 10m 当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(4) - 1)
特殊作業員		〃		〃
山林砂防工		〃		〃
じゃかご		m	10	
詰石		m ³		(4) - 1)
止杭		本		必要に応じて計上 (6) - 3)
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第 3 次基準値) 山積 0.5 m ³ (平積 0.4 m ³)	h		(4) - 1)
計				

2) ふとんかご 10m 当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(4) - 2)
特殊作業員		〃		〃
山林砂防工		〃		〃
ふとんかご		m	10	ふとんかごは、パネル式とする。
詰石		m ³		(4) - 2)
吸出防止材	t=10 mm	m ²		必要に応じて計上 式 5 - 2
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第 3 次基準値) 山積 0.5 m ³ (平積 0.4 m ³)	h		(4) - 2)
計				

3) (略)

4) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第 3 次基準値) 山積 0.5 m ³ (平積 0.4 m ³)	機 - 1	

3 - 3 ~ 3 - 5 (略)

3 - 6 航空実播工

(1) ~ (5) (略)

(6) 地上作業の積算 (直接工事費)

(6) 単価表

1) ジャかご 10m 当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(4) - 1)
特殊作業員		〃		〃
山林砂防工		〃		〃
じゃかご		m	10	
詰石		m ³		(4) - 1)
止杭		本		必要に応じて計上 (6) - 3)
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第 1 次基準値) 山積 0.5 m ³ (平積 0.4 m ³)	h		(4) - 1)
計				

2) ふとんかご 10m 当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(4) - 2)
特殊作業員		〃		〃
山林砂防工		〃		〃
ふとんかご		m	10	ふとんかごは、パネル式とする。
詰石		m ³		(4) - 2)
吸出防止材	t=10 mm	m ²		必要に応じて計上 式 5 - 2
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第 1 次基準値) 山積 0.5 m ³ (平積 0.4 m ³)	h		(4) - 2)
計				

3) (略)

4) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第 1 次基準値) 山積 0.5 m ³ (平積 0.4 m ³)	機 - 1	

3 - 3 ~ 3 - 5 (略)

3 - 6 航空実播工

(1) ~ (5) (略)

(6) 地上作業の積算 (直接工事費)

1) 地上作業の歩掛

(1日当たり)

名称	形状・寸法	単位	スラリー方式	空播き方式	摘要
世話役		人	1.0	1.0	ヘリコプター誘導を含む。
運転手		〃	1.0		種子吹付機運転
特殊作業員		〃	1.0	1.0	揚水ポンプ運転積込み
山林砂防工		〃	6.0	4.0	資材運搬、計量、投入
機械損料	車載式種子吹付機 37kW(PS)	時	5.0		
〃	小型渦巻ポンプ可 搬・自吸・エンジン駆 動型 口径40mm 1.0kW(ps)	日	1.0		1日稼働時間 5時間
燃料費	軽油	ℓ	35		
〃	ガソリン	〃	2.5		

備考 本表を標準とするが、現場状況等により、これにより難しい場合は、必要な経費を別途計上するものとする。

2) (略)

(7) (略)

3-7~3-13 (略)

3-14 山腹水路工

1~4 (略)

5 施工歩掛

(1) 山腹集水路・排水路工

① 山腹U型側溝(機械据付)歩掛

ア (略)

イ 諸雑費

諸雑費は、締固め機械及び目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表5.2 諸雑费率

(%)

諸雑费率	0.5
------	-----

② 山腹U型側溝(人力据付)歩掛

ア (略)

イ 諸雑費

諸雑費は、締固め機械及び目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表5.4 諸雑费率

(%)

諸雑费率	0.5
------	-----

③ 山腹コルゲートフリューム据付歩掛

1) 地上作業の歩掛

(1日当たり)

名称	形状・寸法	単位	スラリー方式	空播き方式	摘要
世話役		人	1.0	1.0	ヘリコプター誘導を含む。
運転手		〃	1.0		種子吹付機運転
特殊作業員		〃	1.0	1.0	揚水ポンプ運転積込み
山林砂防工		〃	6.0	4.0	資材運搬、計量、投入
機械損料	車載式種子吹付機 37kW(PS)	時	5.0		
〃	小型渦巻ポンプ可 搬・自吸・エンジン駆 動型 口径40mm 1.0kW(ps)	日	1.0		1日稼働時間 5時間
燃料費	軽油	ℓ	35		
〃	ガソリン	〃	2.5		

(新設)

2) (略)

(7) (略)

3-7~3-13 (略)

3-14 山腹水路工

1~4 (略)

5 施工歩掛

(1) 山腹集水路・排水路工

① 山腹U型側溝(機械据付)歩掛

ア (略)

イ 諸雑費

諸雑費は、締固め機械及び目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表5.2 諸雑费率

(%)

諸雑费率	0.4
------	-----

② 山腹U型側溝(人力据付)歩掛

ア (略)

イ 諸雑費

諸雑費は、締固め機械及び目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表5.4 諸雑费率

(%)

諸雑费率	0.4
------	-----

③ 山腹コルゲートフリューム据付歩掛

ア (略)

イ 諸雑費

諸雑費は、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5. 6 諸雑費率

諸雑費率 (%)	
諸雑費率	0.4

(2)・(3) (略)

(4) 集水樹工

① (略)

② プレキャスト集水樹据付歩掛

プレキャスト集水樹据付の歩掛は、次表を標準とする。

表 5. 16 プレキャスト集水樹据付歩掛

(1 基当たり)

集水樹製品質量			150 kg を超え 500 kg 以下	500 kg を超え 1,000 kg 以下	1,000 kg を超え 1,500 kg 以下	1,500 kg を超え 1,700 kg 以下	摘要
名 称	規 格	単 位					
世 話 役		人	0.2	0.3	0.3	0.3	
特 殊 作 業 員		〃	0.3	0.3	0.3	0.4	
山 林 砂 防 工 (普通作業員)		〃	0.5	0.5	0.6	0.6	
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレ ーン機能付 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³) 吊能力 1.7 t	h	2.2	2.7	3.2	3.5	
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・ダン プ式 2.5 t 積	日	0.1				必要に 応じて 計上 (注)1
諸 雑 費 率		%	0.6				

(注) 1～5 (略)

③ (略)

6～7 (略)

8 単価表

(1)～(7) (略)

ア (略)

イ 諸雑費

諸雑費は、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5. 6 諸雑費率

諸雑費率 (%)	
諸雑費率	0.3

(2)・(3) (略)

(4) 集水樹工

① (略)

② プレキャスト集水樹据付歩掛

プレキャスト集水樹据付の歩掛は、次表を標準とする。

表 5. 16 プレキャスト集水樹据付歩掛

(1 基当たり)

集水樹製品質量			150 kg を超え 500 kg 以下	500 kg を超え 1,000 kg 以下	1,000 kg を超え 1,500 kg 以下	1,500 kg を超え 1,700 kg 以下	摘要
名 称	規 格	単 位					
世 話 役		人	0.2	0.3	0.3	0.3	
特 殊 作 業 員		〃	0.3	0.3	0.3	0.4	
山 林 砂 防 工 (普通作業員)		〃	0.5	0.5	0.6	0.6	
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレ ーン機能付 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³) 吊能力 1.7 t	h	2.2	2.7	3.2	3.5	
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・ダン プ式 2.5 t 積	日	0.1				必要に 応じて 計上 (注)1
諸 雑 費 率		%	0.5				

(注) 1～5 (略)

③ (略)

6～7 (略)

8 単価表

(1)～(7) (略)

(8) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (集水榦工)	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型・クレーン機能付 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³) 吊能力 1.7 t	機-1	
バックホウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型・クレーン機能付 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³) 吊能力 1.7 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>37</u> 機械損料数量→ <u>1.58</u>
不整地運搬車	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型・ダンプ式 2.5 t 積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>8</u> 機械賃料数量→1.66

3-15・3-16 (略)

3-17 (参考歩掛) コンクリートブロック積工(治山)

1~3 (略)

4 単価表

(1)~(4) (略)

(5) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³) 吊能力 2.9t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>28</u> 機械賃料数量→1.64

5 (略)

(8) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (集水榦工)	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型・クレーン機能付 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³) 吊能力 1.7 t	機-1	
バックホウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型・クレーン機能付 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³) 吊能力 1.7 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>39</u> 機械損料数量→ <u>1.56</u>
不整地運搬車	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型・ダンプ式 2.5 t 積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>10</u> 機械賃料数量→1.66

3-15・3-16 (略)

3-17 (参考歩掛) コンクリートブロック積工(治山)

1~3 (略)

4 単価表

(1)~(4) (略)

(5) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³) 吊能力 2.9t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>30</u> 機械賃料数量→1.64

5 (略)

第4 地すべり防止工

4-1 小口径ボーリング

(1) ~ (7) (略)

(8) 消耗品損耗量

1) (略)

2) ボーリングロッド、ケーシング、コアチューブ及びコアリフトリング

(100m当たり)

品名	規格	単位	粘性土	砂・砂質土	礫質土	岩塊・玉石	軟岩 (I)	軟岩 (II)・中硬岩	硬岩	摘要
ボーリングロッド	径 40.5mm 長 3.0m	本	2	2	2	2	2	2	2	地上作業用
〃	径 40.5mm 長 1.0m 3本	〃	6	6	6	6	6	6	6	坑内作業用
ケーシング	各径 長 1.5m	〃	1	1	1	1	—	—	—	地上作業用
〃	各径 長 1.0m 1.5本	〃	1.5	1.5	1.5	1.5	—	—	—	坑内作業用
コアチューブ	各径	〃	1	2	3	1	2	2	3	
コアリフトリング		個	1	1	1	3	8	8	16	

備考 (略)

(9) ~ (12) (略)

4-2 中口径ボーリング

(1) ~ (7) (略)

(8) 消耗品損耗量

1) (略)

第4 地すべり防止工

4-1 小口径ボーリング

(1) ~ (7) (略)

(8) 消耗品損耗量

1) (略)

2) ボーリングロッド、ケーシング、コアチューブ及びコアリフトリング

(100m当たり)

品名	規格	単位	粘性土	砂・砂質土	礫質土	岩塊・玉石	軟岩 (I)	軟岩 (II)	硬岩	摘要
ボーリングロッド	径 40.5mm 長 3.0m	本	2	2	2	2	2	2	2	地上作業用
〃	径 40.5mm 長 1.0m 3本	〃	6	6	6	6	6	6	6	坑内作業用
ケーシング	各径 長 1.5m	〃	1	1	1	1	1	—	—	地上作業用
〃	各径 長 1.0m 1.5本	〃	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	—	—	坑内作業用
コアチューブ	各径	〃	1	2	3	1	2	2	3	
コアリフトリング		個	1	1	1	3	8	8	16	

備考 (略)

(9) ~ (12) (略)

4-2 中口径ボーリング

(1) ~ (7) (略)

(8) 消耗品損耗量

1) (略)

2) ボーリングロッド、ケーシング、コアチューブ及びコアリフトリング (100m当たり)

品名	規格	単位	粘性土	砂・砂質土	礫質土	岩塊・玉石	軟岩 (I)	軟岩 (II)・中硬岩	硬岩	摘要
ボーリングロッド	長 3.0m 各径	本	2	2	2	2	2	2	2	地上作業用
〃	長 1.0m 3本各径	〃	6	6	6	6	6	6	6	坑内作業用
ケーシング	各径 長 1.5m	〃	1	1	1	1	1	—	—	
〃	各径 長 1.0m 1.5本	〃	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	—	—	坑内作業用
コアチューブ	各径	〃	1	2	3	1	2	2	3	
コアリフトリング		個	1	1	1	3	8	8	16	

備考 (略)

(9) ~ (12) (略)

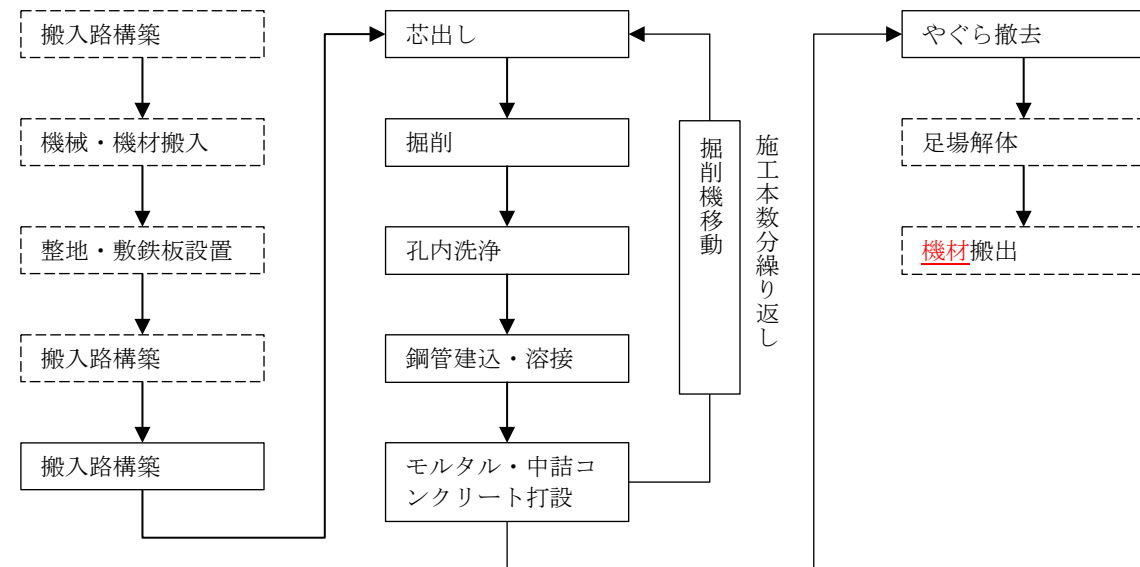
4-3 大口径ボーリング

(1) (略)

(2) 施工概要

本工法は、大口径ボーリングマシンを使用して施工するもので、地盤を掘削し、鋼管杭又はH形鋼を建て込み、中詰コンクリートの打設、外詰モルタルの注入等の一連作業で杭を形成するものである。

なお、本工法は、土質・岩質に対する適用範囲が広く、使用するビットによって粘性土、レキ質土、岩等に対応でき、孔壁の崩落保護を行いながら施工することを標準とする。



備考 (略)

2) ボーリングロッド、ケーシング、コアチューブ及びコアリフトリング (100m当たり)

品名	規格	単位	粘性土	砂・砂質土	礫質土	岩塊・玉石	軟岩 (I)	軟岩 (II)	硬岩	摘要
ボーリングロッド	長 3.0m 各径	本	2	2	2	2	2	2	2	地上作業用
〃	長 1.0m 3本各径	〃	6	6	6	6	6	6	6	坑内作業用
ケーシング	各径 長 1.5m	〃	1	1	1	1	1	—	—	
〃	各径 長 1.0m 1.5本	〃	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	—	—	坑内作業用
コアチューブ	各径	〃	1	2	3	1	2	2	3	
コアリフトリング		個	1	1	1	3	8	8	16	

備考 (略)

(9) ~ (12) (略)

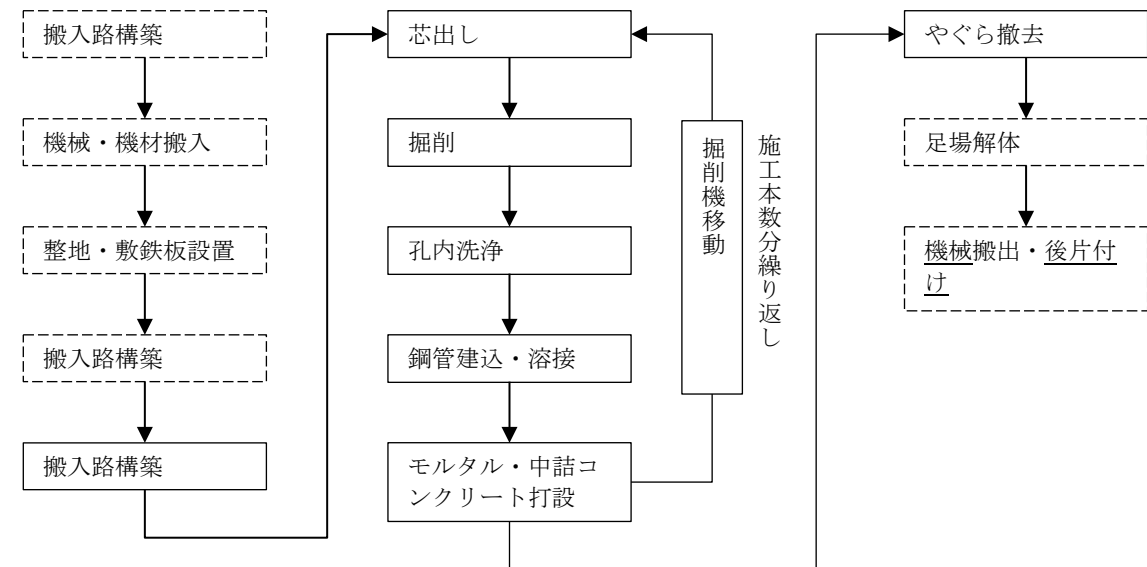
4-3 大口径ボーリング

(1) (略)

(2) 施工概要

本工法は、大口径ボーリングマシンを使用して施工するもので、地盤を掘削し、鋼管杭又はH形鋼を建て込み、中詰コンクリートの打設、外詰モルタルの注入等の一連作業で杭を形成するものである。

なお、本工法は、土質・岩質に対する適用範囲が広く、使用するビットによって粘性土、レキ質土、岩等に対応でき、孔壁の崩落保護を行いながら施工することを標準とする。



備考 (略)

- (3) 機種の選定
 1) (略)
 2) 補助機械の選定
 (略)
 現場及び作業条件
 ①～③ (略)

機械の選定

機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 用
ラフテレーン クレーン	排出ガス対策型 (2014 年規制) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	台	1	資材等の小運搬、鋼管、H型鋼の 建込、溶接大口径ボーリングマ シンの移動 必要に応じて計上する。

備考 (略)

- (4) ～ (6) (略)

- (7) やぐらの設置・撤去
 やぐらの設置・撤去歩掛は、次表とする。ただし、搬入搬出時及びやぐらの分解をしな
 ければ移動できない場合に計上する。

やぐらの設置・撤去歩掛 (ラフテレーンクレーン使用の場合)

(1基1回当たり)

名 称	単 位	数 量	摘 要
世 話 役 人	人	1.0	
と び 工	〃	1.0	
特 殊 作 業 員	〃	2.0	
山 林 砂 防 工	〃	2.0	
ラフテレーンクレーン運転	日	1.0	排出ガス対策型 (2014年規制) ・油圧伸縮ジブ型 25t 吊

備考 (略)

やぐらの設置・撤去歩掛 (索道使用の場合) (略)

- (8) ビット等損耗費
 ビット等損耗費は、大口径ボーリングマシンに使用するビット及びロッド等の費用であ
 り、労務費、機械損料の合計金額に次表の率を乗じた額を上限として計上する。
 なお、ビット等損耗費については、杭1本当たりで算出する。

ビット損耗费率 (P) (略)

- (9)・(10) (略)

- (3) 機種の選定
 1) (略)
 2) 補助機械の選定
 (略)
 現場及び作業条件
 ①～③ (略)

機械の選定

機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 用
ラフテレーン クレーン	排出ガス対策型 (第3 次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	台	1	資材等の小運搬、鋼管、H型鋼の 建込、溶接大口径ボーリングマ シンの移動 必要に応じて計上する。

備考 (略)

- (4) ～ (6) (略)

- (7) やぐらの設置・撤去
 やぐらの設置・撤去歩掛は、次表とする。ただし、搬入搬出時及びやぐらの分解をしな
 ければ移動できない場合に計上する。

やぐらの設置・撤去歩掛 (ラフテレーンクレーン使用の場合)

(1基1回当たり)

名 称	単 位	数 量	摘 要
世 話 役 人	人	1.0	
と び 工	〃	1.0	
特 殊 作 業 員	〃	2.0	
山 林 砂 防 工	〃	2.0	
ラフテレーンクレーン運転	日	1.0	排出ガス対策型 (第3次基準値) ・油圧伸縮ジブ型 25t 吊

備考 (略)

やぐらの設置・撤去歩掛 (索道使用の場合) (略)

- (8) ビット等損耗費
 ビット等損耗費は、大口径ボーリングマシンに使用するビット及びロッド等の費用であ
 り、労務費、機械損料の合計金額に次表の率を乗じた額を計上する。
 なお、ビット等損耗費については、杭1本当たりで算出する。

ビット損耗费率 (P) (略)

- (9)・(10) (略)

(11) 単価表

1) 大口径ボーリングマシンによる場所打杭1本当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	Tc×1	(4)
～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～
ラフテレーンクレーン賃料	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)25t吊	〃	T ₂ +T ₃	必要に応じて計上
ビット等損耗費		式	1	(8)
諸雑費		〃	1	(9)
計				

備考 (略)

2) やぐらの設置・撤去単価表(ラフテレーンクレーン使用の場合)

(1基1回当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(7)
～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～
ラフテレーンクレーン賃料	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)25t吊	日		〃
計				

3) (略)

4) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
大口径ボーリングマシン	(3)	機-25	機械損料数量→ <u>1.34</u>
ウインチ	単胴開放式 巻上能力2.8t×30m/分	〃	機械損料数量→ <u>1.42</u>
発動発電機	排出ガス対策型 ディーゼルエンジン駆動 75kVA(19kW用) 100kVA(30kW用)	機-16	燃料消費量 75kVA→ <u>37</u> 100kVA→ <u>60</u> 機械賃料数量→ <u>1.30</u>

4-4 集水井工

4-4-1 集水井工(ライナープレート土留工法)

(1)～(3) (略)

(4) 機種の選定

1) 掘削土留作業に使用する機種、規格は、次表を標準とする。

(11) 単価表

1) 大口径ボーリングマシンによる場所打杭1本当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	Tc×1	(4)
～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～
ラフテレーンクレーン賃料	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第3次基準値)25t吊	〃	T ₂ +T ₃	必要に応じて計上
ビット等損耗費		式	1	(8)
諸雑費		〃	1	(9)
計				

備考 (略)

2) やぐらの設置・撤去単価表(ラフテレーンクレーン使用の場合)

(1基1回当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(7)
～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～
ラフテレーンクレーン賃料	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第3次基準値)25t吊	日		〃
計				

3) (略)

4) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
大口径ボーリングマシン	(3)	機-25	機械損料数量→ <u>1.33</u>
ウインチ	単胴開放式 巻上能力2.8t×30m/分	〃	機械損料数量→ <u>1.41</u>
発動発電機	排出ガス対策型 ディーゼルエンジン駆動 75kVA(19kW用) 100kVA(30kW用)	機-16	燃料消費量→ <u>86</u> 75kVA→ <u>43</u> 100kVA→ <u>73</u> 賃料数量→ <u>1.3</u>

4-4 集水井工

4-4-1 集水井工(ライナープレート土留工法)

(1)～(3) (略)

(4) 機種の選定

1) 掘削土留作業に使用する機種、規格は、次表を標準とする。

機種を選定

用途	機械名	規格	単位	数量	工法		
					A	B	C
掘削及び排土	クラムシエール	油圧クラムシエールテレスコピック式クローラ型平積 0.4 m ³	台	1	○		
排土及び土留材・機材の吊り込み	クローラクレーン	排出ガス対策型(第3次基準値)油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	〃	1	○	○	
	やぐら装置	簡易やぐら (モータウインチ付)能力 2.0t 鋼製φ60.5mm×4.0m	〃	1			○
掘削	小型バックホウ	電動式・クローラ型山積 0.022 m ³ (平積 0.015 m ³)	〃	1		○	○

備考 (略)

2) (略)

(5)～(7) (略)

(8) 井戸蓋工

1) 使用機械

井戸蓋工に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

井戸蓋工使用機械

機械名	規格	単位	数量
クローラクレーン	排出ガス対策型(第3次基準値)油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	台	1

備考 (略)

2)・3) (略)

(9) 昇降用設備設置工

1) 使用機械

昇降用設備設置工に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

昇降用設備設置工使用機械

機械名	規格	単位	数量
クローラクレーン	排出ガス対策型(第3次基準値)油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	台	1

備考 (略)

2)～4) (略)

(10) (略)

(11) 内訳表及び単価表

1)

機種を選定

用途	機械名	規格	単位	数量	工法		
					A	B	C
掘削及び排土	クラムシエール	油圧クラムシエールテレスコピック式クローラ型平積 0.4 m ³	台	1	○		
排土及び土留材・機材の吊り込み	クローラクレーン	排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	〃	1	○	○	
	やぐら装置	簡易やぐら (モータウインチ付)能力 2.0t 鋼製φ60.5mm×4.0m	〃	1			○
掘削	小型バックホウ	電動式・クローラ型山積 0.022 m ³ (平積 0.015 m ³)	〃	1		○	○

備考 (略)

2) (略)

(5)～(7) (略)

(8) 井戸蓋工

1) 使用機械

井戸蓋工に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

井戸蓋工使用機械

機械名	規格	単位	数量
クローラクレーン	排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	台	1

備考 (略)

2)・3) (略)

(9) 昇降用設備設置工

1) 使用機械

昇降用設備設置工に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

昇降用設備設置工使用機械

機械名	規格	単位	数量
クローラクレーン	排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	台	1

備考 (略)

2)～4) (略)

(10) (略)

(11) 内訳表及び単価表

1)

2) 掘削土留1基当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	1×D	(5)、(6)
～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～
クローラクレーン運転	排出ガス対策型(第3次基準値)油圧伸縮ジブ型4.9t吊	〃	D	(6) A・B工法のみ計上 機械賃料
～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～
諸雑費		式	1	(6)-1)-イ
計				

備考 (略)

3) (略)

4) 井戸蓋工1基当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	1×1/D	(8)-2)、3)
特殊作業員		〃	2×1/D	
山林砂防工		〃	1×1/D	
クローラクレーン運転	排出ガス対策型(第3次基準値)油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日	1×1/D	(8)-1)、3) 機械賃料
井戸蓋材		基	1	
計				

備考 (略)

5) 昇降用設備設置工10m当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	1×10/D	(9)-2)、3)
特殊作業員		〃	2×10/D	
山林砂防工		〃	1×10/D	
クローラクレーン運転	排出ガス対策型(第3次基準値)油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日	1×10/D	(9)-1)、3) 機械賃料
諸雑費		式	1	(9)-4)
計				

備考 (略)

6) (略)

7) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
クラムシェル	油圧クラムシェルテレスコピック式 クローラ型平積0.4m ³	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費数量→ <u>45</u> 機械賃料数量→1.41
クローラクレーン	排出ガス対策型(第3次基準値)油圧伸縮ジブ型4.9t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費数量 (A工法)→ <u>12</u> (B工法)→ <u>16</u> (井戸蓋、昇降用施設設置)→ <u>14</u> 機械賃料数量→1.47

2) 掘削土留1基当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	1×D	(5)、(6)
～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～
クローラクレーン運転	排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型4.9t吊	〃	D	(6) A・B工法のみ計上 機械賃料
～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～
諸雑費		式	1	(6)-1)-イ
計				

備考 (略)

3) (略)

4) 井戸蓋工1基当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	1×1/D	(8)-2)、3)
特殊作業員		〃	2×1/D	
山林砂防工		〃	1×1/D	
クローラクレーン運転	排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日	1×1/D	(8)-1)、3) 機械賃料
井戸蓋材		基	1	
計				

備考 (略)

5) 昇降用設備設置工10m当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	1×10/D	(9)-2)、3)
特殊作業員		〃	2×10/D	
山林砂防工		〃	1×10/D	
クローラクレーン運転	排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日	1×10/D	(9)-1)、3) 機械賃料
諸雑費		式	1	(9)-4)
計				

備考 (略)

6) (略)

7) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
クラムシェル	油圧クラムシェルテレスコピック式 クローラ型平積0.4m ³	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費数量→ <u>48</u> 機械賃料数量→1.41
クローラクレーン	排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型4.9t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費数量 (A工法)→ <u>13</u> (B工法)→ <u>17</u> (井戸蓋、昇降用施設設置)→ <u>15</u> 機械賃料数量→1.47

小型バックホウ	電動式クローラ型 山積 0.022 m ³ (平積 0.015 m ³)	機-25	(B工法) 機械損料数量→ <u>1.48</u> (C工法) 機械損料数量→ <u>1.41</u>
やぐら装置	簡易やぐら(モータウイ ンチ付)能力 2.0t 鋼 製 φ60.5mm×4.0m	機-25	機械損料数量→ <u>1.44</u>
トラック	クレーン装置付 2t 積 2.9t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費数量→ <u>21</u> 機械損料数量→ <u>1.21</u>

4-4-2 集水井工(プレキャスト土留工法)

- (1)・(2) (略)
(3) 機種の選定
1) 掘削土留作業に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

機種選定

用途	機械名	規格	単位	数量
掘削及び排土	クラムシェル	油圧クラムシェル テレスコピック式 クローラ型平積 0.4 m ³	台	1
土留材・機材の吊り込み	クローラクレーン	排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次 基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	〃	1

備考 (略)

- 2) (略)
(4)～(6) (略)
(7) 昇降用設備設置工
1) 使用機械
昇降用設備設置工に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

昇降用設備設置工使用機械

機械名	規格	単位	数量
クローラクレーン	排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	台	1

備考 (略)

- 2)～4) (略)
(8) 井戸蓋工
1) 使用機械
井戸蓋工に使用する機種・規格は次表を標準とする。

井戸蓋工使用機械

機械名	規格	単位	数量
クローラクレーン	排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	台	1

備考 (略)

- 2)・3) (略)
(9) 内訳表及び単価表

小型バックホウ	電動式クローラ型 山積 0.022 m ³ (平積 0.015 m ³)	機-25	(B工法) 機械損料数量→ <u>1.47</u> (C工法) 機械損料数量→ <u>1.40</u>
やぐら装置	簡易やぐら(モータウイ ンチ付)能力 2.0t 鋼 製 φ60.5mm×4.0m	機-25	機械損料数量→ <u>1.43</u>
トラック	クレーン装置付 2t 積 2.9t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費数量→ <u>23</u> 機械損料数量→ <u>1.20</u>

4-4-2 集水井工(プレキャスト土留工法)

- (1)・(2) (略)
(3) 機種の選定
1) 掘削土留作業に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

機種選定

用途	機械名	規格	単位	数量
掘削及び排土	クラムシェル	油圧クラムシェル テレスコピック式 クローラ型平積 0.4 m ³	台	1
土留材・機材の吊り込み	クローラクレーン	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次 基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	〃	1

備考 (略)

- 2) (略)
(4)～(6) (略)
(7) 昇降用設備設置工
1) 使用機械
昇降用設備設置工に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

昇降用設備設置工使用機械

機械名	規格	単位	数量
クローラクレーン	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	台	1

備考 (略)

- 2)～4) (略)
(8) 井戸蓋工
1) 使用機械
井戸蓋工に使用する機種・規格は次表を標準とする。

井戸蓋工使用機械

機械名	規格	単位	数量
クローラクレーン	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	台	1

備考 (略)

- 2)・3) (略)
(9) 内訳表及び単価表

1) (略)

2) 掘削土留 1 基当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	1×D	(4)、(5)
～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～
クローラクレーン運転	排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	〃	D	(5) 機械賃料
土留材	プレキャスト土留材	基	1	
諸雑費		式	1	(5)-1)-イ
計				

備考 (略)

3) 昇降用設備設置工 10m 当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	1×10/D	(7)-2)、3)
特殊作業員		〃	2×10/D	
山林砂防工		〃	1×10/D	
クローラクレーン運転	排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日	1×10/D	(7)-1)、3) 機械賃料
諸雑費		式	1	(7)-4)
計				

備考 (略)

4) 井戸蓋工 1 基当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	1×1/D	(8)-2)、3)
特殊作業員		〃	2×1/D	
山林砂防工		〃	1×1/D	
クローラクレーン運転	排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日	1×1/D	(8)-1)、3) 機械賃料
井戸蓋材		基	1	
計				

備考 (略)

5) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
クラムシェル	油圧クラムシェルテレスコピック式 クローラ型平積 0.4 m ³	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費数量→45 機械賃料数量→1.36
クローラクレーン	排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費数量 (掘削土留) →11 (昇降用設備設置) →12 (井戸蓋設置) →6.7 機械賃料数量→1.41

4-5 (略)

1) (略)

2) 掘削土留 1 基当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	1×D	(4)、(5)
～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～	～(略)～
クローラクレーン運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	〃	D	(5) 機械賃料
土留材	プレキャスト土留材	基	1	
諸雑費		式	1	(5)-1)-イ
計				

備考 (略)

3) 昇降用設備設置工 10m 当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	1×10/D	(7)-2)、3)
特殊作業員		〃	2×10/D	
山林砂防工		〃	1×10/D	
クローラクレーン運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日	1×10/D	(7)-1)、3) 機械賃料
諸雑費		式	1	(7)-4)
計				

備考 (略)

4) 井戸蓋工 1 基当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	1×1/D	(8)-2)、3)
特殊作業員		〃	2×1/D	
山林砂防工		〃	1×1/D	
クローラクレーン運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日	1×1/D	(8)-1)、3) 機械賃料
井戸蓋材		基	1	
計				

備考 (略)

5) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
クラムシェル	油圧クラムシェルテレスコピック式 クローラ型平積 0.4 m ³	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費数量→48 機械賃料数量→1.36
クローラクレーン	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費数量 (掘削土留) →11 (昇降用設備設置) →12 (井戸蓋設置) →6.7 機械賃料数量→1.41

4-5 (略)

4-6 集排水ボーリング孔洗浄工

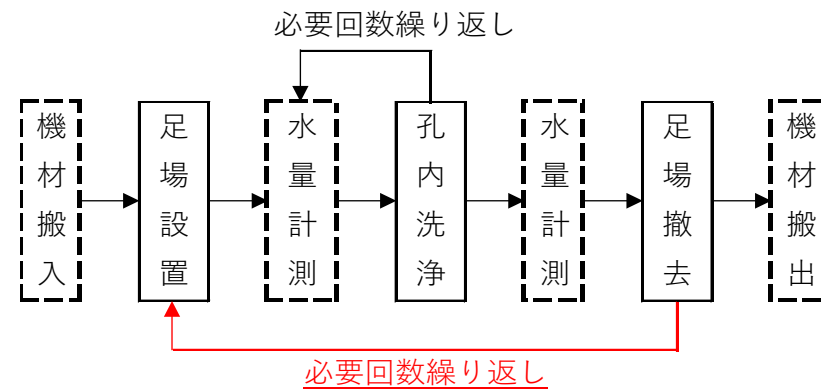
- (1) 適用範囲
本歩掛は、地すべり防止施設における集排水ボーリング孔の洗浄工に適用する。

- 1) 洗浄工
横ボーリング孔及び集水井内での集排水ボーリング孔(φ30mm~φ150mm、延長130m以下/本)の洗浄工に適用する。
なお、洗浄工程数については、集水孔は4工程まで、排水孔は3工程までに適用する。

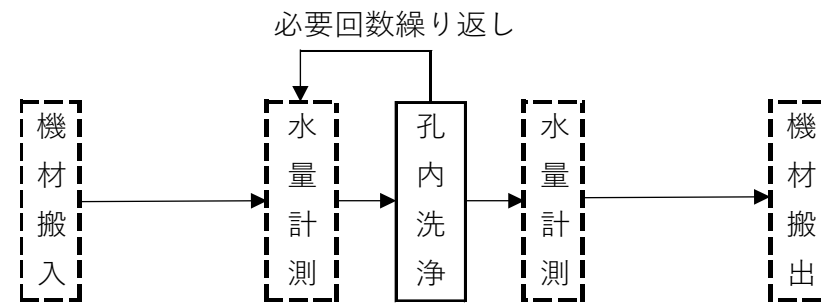
- 2) 集水井内足場工
井内作業における集水井内足場の設置・撤去に適用する。
また、本歩掛は足場設置高さに関係なく適用できる。

- (2) 施工概要
施工フローは、下記を標準とする。

1) 井内作業



2) 井外作業



- 備考 1 本歩掛で対応しているのは実線部分のみである。
2 水量計測は、共通仮設費率に含むものとする。

(削る。)

- (3) 施工歩掛
(削る。)

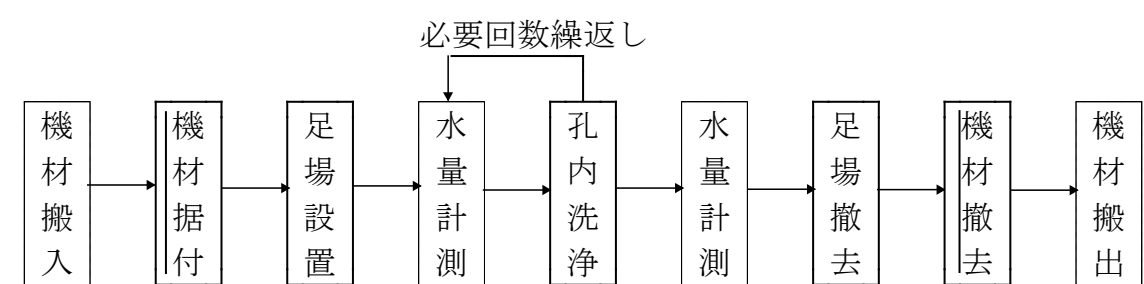
4-6 集排水ボーリング孔洗浄工

- (1) 適用範囲
本歩掛は、地すべり防止施設における横ボーリング孔及び集水井内での集排水ボーリング孔(φ30mm~φ150mm、延長130m以下/本)の高圧ポンプによる洗浄工に適用する。
なお、洗浄工程数については、集水孔は4工程まで、排水孔は3工程までに適用する。
(新設)

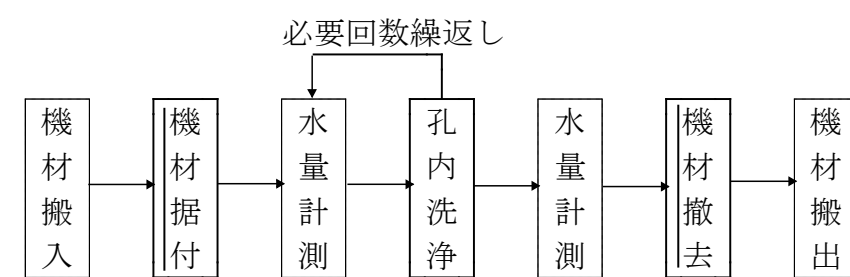
(新設)

- (2) 施工概要
施工フローは、下記を標準とする。

1) 井内作業



2) 井外作業



- 備考 1 本歩掛で対応しているのは実線部分のみである。
2 水量計測は、共通仮設費率に含むものとする。

- (3) 機種を選定
洗浄作業における機械等の機種・規格は、次表を標準とする。

機種を選定

機械名	規格	単位	数量	摘要
高圧洗浄機	工事用・ガソリンエンジン 駆動 吐出量 35~70 l/min 圧力 14.7MPa	台	1	ノズル、高圧ホースを含む。

- (4) 施工歩掛
洗浄工の施工歩掛は、次表とする。

1) 洗淨工

ア 編成人員

洗淨工の日当たり編成人員は、次表を標準とする。

日当たり編成人員			
(人/日)			
洗 淨 工	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員
	1	2	1

イ 日当たり施工量

洗淨工の日当たり施工量は、次表を標準とする。

日当たり施工量		
(1日当たり)		
洗 淨 工	単位	数量
	m	230

ウ 諸雑費率

諸雑費は、高圧洗淨機（ノズル、高圧ホース含む。）賃料、工事用水中モータポンプ賃料、軸流ファン（軸流式）の損料、水槽の損料、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、軸流ファン（軸流式）は、井内作業の場合に計上する。井外作業の場合は、（）内の率を乗じた金額を上限として計上する。

また、高圧洗淨機は、「工事用・モータ駆動 吐出量 15～20l/min 圧力 20MPa」を標準とし、現場条件等により、これにより難しい場合は、別途考慮する。

洗淨水は、沢水を工事用水中モータポンプにて採取し、水槽に貯水して使用することを標準としており、現場条件等により、これにより難しい場合は、洗淨水に要する費用を別途計上する。

諸雑費率	
(%)	
諸雑費率	16 (15)

2) 集水井内足場工

(削る。)

施工歩掛

井内作業における集水井内足場の設置・撤去歩掛は、次表のとおりとする。
 なお、本歩掛で対応しているのは、集水井内足場概念図（参考図）に示す足場工である。

集水井内足場設置・撤去歩掛

洗淨工歩掛

1日当たり施工量 (m/日)	編成人員 (人)	使用機械	諸雑費率 (%)
D=220	世話役	高圧洗淨機 1台	2
	特殊作業員		
	山林砂防工		

備考 諸雑費は、工事用水中モータポンプ賃料、軸流ファン（軸流式）の損料、水槽の損料、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

(新設)

(5) 集水井内足場工

1) 適用範囲

井内作業における集水井内足場の設置・撤去に適用する。
 また、本歩掛は足場設置高さに関係なく適用できる。

2) 施工歩掛

井内作業における集水井内足場の設置・撤去歩掛は、次表のとおりとする。
 なお、本歩掛で対応しているのは、集水井内足場概念図（参考図）に示す足場工である。

集水井内足場設置・撤去歩掛

(1回当たり)

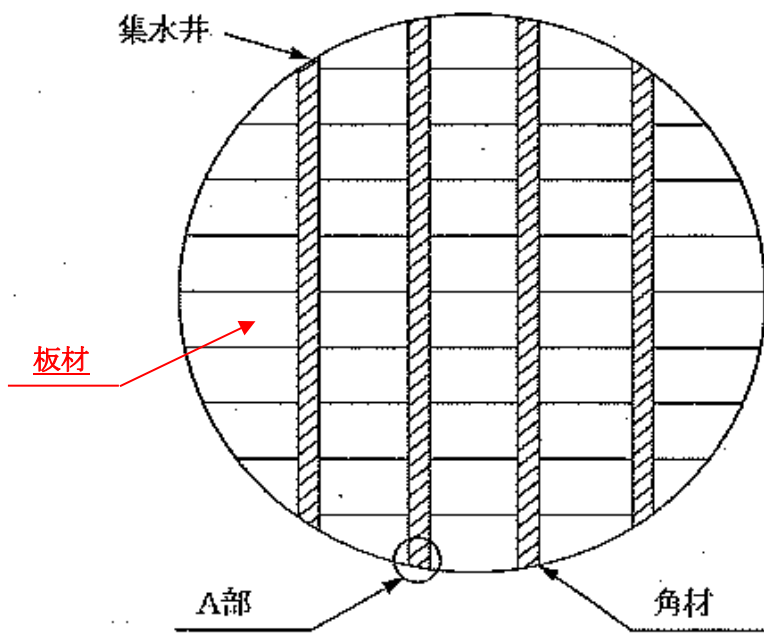
名称	単位	数量
世話役	人	0.43
とび工	〃	0.72
山林砂防工	〃	0.51
諸雑费率	%	11

備考1 諸雑費は、軸流ファン（軸流式）の損料、足場板合板、角材、安全ネット及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

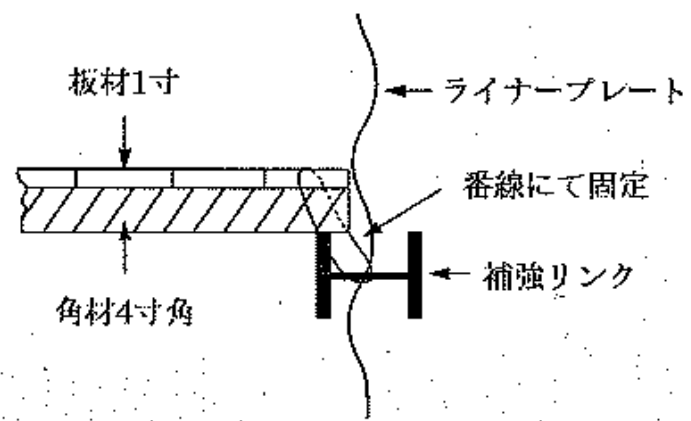
2 上表は、足場の設置・撤去1回当たりの数量であり同一集水井内で複数の設置・撤去を行う場合は、その実施回数を計上すること。

集水井内足場概念図（参考図）

〔平面図〕



〔A部詳細断面図〕



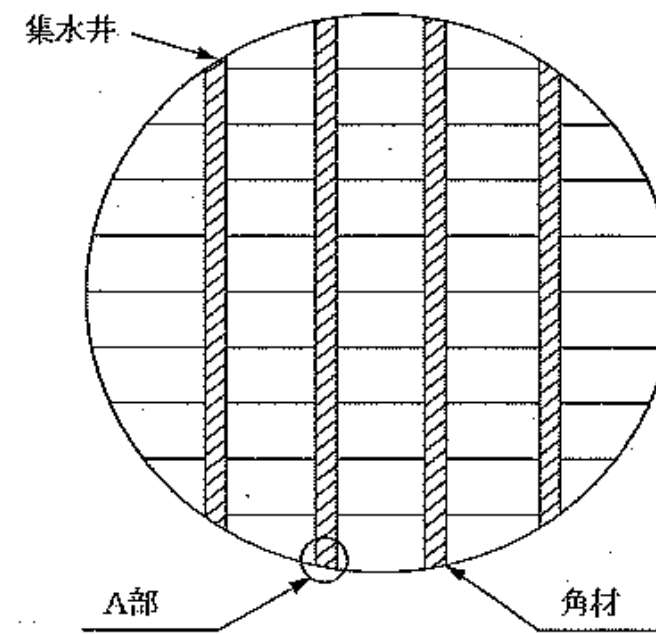
(1回当たり)

名称	単位	数量
世話役	人	0.4
とび工	〃	0.7
山林砂防工	〃	0.5
諸雑费率	%	7

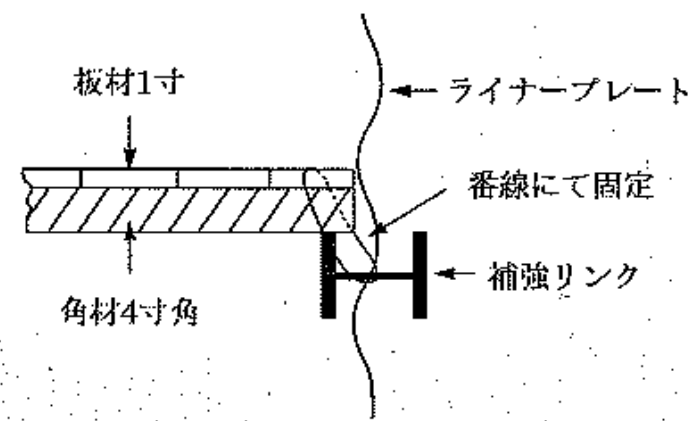
備考 諸雑費は、軸流ファン（軸流式）の損料、足場板合板、角材、安全ネット及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

集水井内足場概念図（参考図）

〔平面図〕



〔A部詳細断面図〕



(4) 単価表

1) 洗浄工 10m 当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	(10/D)×1	(3) 1) ア、イ
特 殊 作 業 員		〃	(10/D)×2	〃
山 林 砂 防 工		〃	(10/D)×1	〃
(削 る 。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)
諸 雑 費		式	1	(3) 1) ウ
計				

備考 D：1日当たり施工量

2) 集水井内足場設置・撤去 1回当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	0.43	(3) 2)
と び 工		〃	0.72	〃
山 林 砂 防 工		〃	0.51	〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

(削る。)

4-7 (参考歩掛) ダウンザホールハンマ工

(1) ~ (11) (略)

(12) 諸雑費
(略)
諸雑費率

(%)

	A工法、B工法、C工法
諸雑費率	29

備考 (略)

(B工法：足場概念図)・(C工法：足場概念図)・ (略)

(13) (略)

(14) 単価表

1) ~ 5) (略)

(6) 単価表

1) 洗浄工 10m 当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	(10/D)×1	(4)
特 殊 作 業 員		〃	(10/D)×2	〃
山 林 砂 防 工		〃	(10/D)×1	〃
高 圧 洗 浄 機 運	工 事 用 ・ ガ ソ リ ン エ ン ジ ン 駆 動 吐 出 量 35 ~ 70 ℓ / min 圧 力 14.7MPa	日	(10/D)×1	(4) 機械損料
諸 雑 費		式	1	(4)
計				

備考 D：1日当たり施工量

2) 集水井内足場設置・撤去 1回当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	0.4	(5) 2)
と び 工		〃	0.7	〃
山 林 砂 防 工		〃	0.5	〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

3) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	摘 要
高 圧 洗 浄 機	工 事 用 ・ ガ ソ リ ン エ ン ジ ン 駆 動 吐 出 量 35 ~ 70 ℓ / min 圧 力 14.7MPa	機-24	燃料消費量→28 機械損料数量→1.61

4-7 (参考歩掛) ダウンザホールハンマ工

(1) ~ (11) (略)

(12) 諸雑費
(略)
諸雑費率

(%)

	A工法、B工法、C工法
諸雑費率	28

備考 (略)

(B工法：足場概念図)・(C工法：足場概念図)・ (略)

(13) (略)

(14) 単価表

1) ~ 5) (略)

6) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項	
大口径ボーリングマシン	(5)-2)	機-25	機械損料数量→ <u>1.29</u>	
空気圧縮機	(7)	機-16	燃料消費量→下記のとおりとする。	
			規格	数量
			7.5~7.6 m ³ /min	<u>59</u>
			18~19 m ³ /min	<u>114</u>
			機械賃料数量→1.33	
ダウンザホールハンマ	空圧式 (6)	機-25	機械損料数量→ <u>1.38</u>	
ウインチ (やぐら設置・撤去用)	開放型(電動)・単胴 巻上能力 2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m	機-25	機械損料数量→ <u>1.57</u>	
発動発電機	排出ガス対策型(第1 次基準値)ディーゼル エンジン駆動 定格 容量75kVA	機-16	燃料消費量→ <u>51</u> 賃料数量→1.18	
ラフテレーンクレーン (掘削用)	排出ガス対策型(第2 次基準値)油圧伸縮ジ ブ型25t吊	機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→ <u>1.65</u> 燃料消費量→ <u>84</u>	
クローラクレーン (掘削用)	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型(第2次 基準値)50~55t吊	機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→ <u>1.09</u> 燃料消費量→60	
ラフテレーンクレーン (鋼管杭・H形鋼杭建込 用掘削機組立・分解用)	排出ガス対策型(第2 次基準値)油圧伸縮ジ ブ型25t吊	機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→ <u>1.03</u> 燃料消費量→ <u>84</u>	

第5 森林整備

5-1 (略)

5-1-1 (略)

5-1-2 植栽(B)

(1) (略)

(2) (参考歩掛) 植穴掘付、植付歩掛

6) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項	
大口径ボーリングマシン	(5)-2)	機-25	機械損料数量→ <u>1.28</u>	
空気圧縮機	(7)	機-16	燃料消費量→下記のとおりとする。	
			規格	数量
			7.5~7.6 m ³ /min	<u>66</u>
			18~19 m ³ /min	<u>156</u>
			機械賃料数量→1.33	
ダウンザホールハンマ	空圧式 (6)	機-25	機械損料数量→ <u>1.37</u>	
ウインチ (やぐら設置・撤去用)	開放型(電動)・単胴 巻上能力 2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m	機-25	機械損料数量→ <u>1.55</u>	
発動発電機	排出ガス対策型(第1 次基準値)ディーゼル エンジン駆動 定格 容量75kVA	機-16	燃料消費量→ <u>60</u> 賃料数量→1.18	
ラフテレーンクレーン (掘削用)	排出ガス対策型(第2 次基準値)油圧伸縮ジ ブ型25t吊	機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→ <u>1.63</u> 燃料消費量→ <u>102</u>	
クローラクレーン (掘削用)	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型(第2次 基準値)50~55t吊	機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→ <u>1.08</u> 燃料消費量→60	
ラフテレーンクレーン (鋼管杭・H形鋼杭建込 用掘削機組立・分解用)	排出ガス対策型(第2 次基準値)油圧伸縮ジ ブ型25t吊	機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→ <u>1.02</u> 燃料消費量→ <u>102</u>	

第5 森林整備

5-1 (略)

5-1-1 (略)

5-1-2 植栽(B)

(1) (略)

(2) (参考歩掛) 植穴掘付、植付歩掛

① 裸苗

(100本当たり)

名称	単位	数量		摘要
		(削る。)	(削る。)	
特殊作業員	人	0.12	(削る。)	
普通作業員	人	0.29	(削る。)	

備考 (削る。)

(削る。)

1 本表は、植穴を掘り苗木(長さ60cm未満)を植え付ける工程に適用する。

2 「裸苗」とは、苗畑で露地栽培される苗木をいう。

3 苗木の運搬及び施肥、客土等を必要とする場合は、別途考慮する。

4 肥料木の植栽は、植穴掘付、植付の一連作業として特殊作業員0.10人/100本、普通作業員0.23人/100本を標準とし、別途計上する。

② コンテナ苗

(100本当たり)

名称	単位	数量		摘要
		苗木60cm未満	苗木60cm未満	
特殊作業員	人	0.11	0.15	
普通作業員	人	0.25	0.34	

備考 1 本表は、植穴を掘り苗木を植え付ける工程に適用する。

2 「コンテナ苗」とは、根巻きを防止できる容器を使用し生産された、根鉢付き苗木をいう。

3 苗木の運搬及び施肥、客土等を必要とする場合は、別途考慮する。

4 肥料木の植栽は、植穴掘付、植付の一連作業として特殊作業員0.10人/100本、普通作業員0.23人/100本を標準とし、別途計上する。

5-1-3 (略)

5-1-4 地拵え等

(1) 人力地拵え歩掛

(略)

備考 1・2 (略)

3 職種は普通作業員とする。

(2) 立木整理歩掛

(略)

備考 1~4 (略)

5 職種は普通作業員として、抜根は含まない。

(3) (略)

5-1-5~5-1-7 (略)

5-1-8 苗木運搬歩掛

(略)

備考 1~4 (略)

5 植栽(B)の場合には、職種を普通作業員とする。

5-1-9~5-1-12 (略)

5-2・5-3 (略)

(100本当たり)

名称	単位	数量		摘要
		普通苗	コンテナ苗	
特殊作業員	人	0.12	0.11	
普通作業員	人	0.29	0.25	

備考 1 施肥、客土等を必要とする場合は、別途計上する。また、普通苗は、普通の山行き苗を指す。

2 本表には、植栽地点を中心として60cm四方の地被物等の除去を含む。

(新設)

(新設)

(新設)

3 肥料木の植栽は、植穴掘付、植付の一連作業として0.33人/100本を標準とし、別途計上する。

(新設)

5-1-3 (略)

5-1-4 地拵え等

(1) 人力地拵え歩掛

(略)

備考 1・2 (略)

3 職種は山林砂防工(普通作業員)とする。

(2) 立木整理歩掛

(略)

備考 1~4 (略)

5 職種は山林砂防工(普通作業員)として、抜根は含まない。

(3) (略)

5-1-5~5-1-7 (略)

5-1-8 苗木運搬歩掛

(略)

備考 1~4 (略)

5 植栽(B)の場合には、職種を山林砂防工(普通作業員)とする。

5-1-9~5-1-12 (略)

5-2・5-3 (略)

5-4 (参考歩掛) なだれ予防柵設置工

(1) ~ (3)

1) ~ 4) (略)

5) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
簡易ケーブルクレーン	エンジン式 巻上げ能力 1.0t	機-23	運転労務数量→1.00 燃料消費量→6 機械損料数量→ <u>1.55</u>

第6 海岸林造成

6-1 (略)

6-2 海岸植栽

(1)・(2) (略)

(3) 埋わら等歩掛

区分	埋わら (10束当たり)	(削る。)	わら伏 (10㎡当たり)	わら立て (10m当たり)	摘 要
名称					
普通作業員 (人)	0.18	(削る。)	0.36	0.10	

備考 敷わらを施工する場合は、見積りにより計上する。

6-3 (略)

5-4 (参考歩掛) なだれ予防柵設置工

(1) ~ (3)

1) ~ 4) (略)

5) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項
簡易ケーブルクレーン	エンジン式 巻上げ能力 1.0t	機-23	運転労務数量→1.00 燃料消費量→6 機械損料数量→ <u>1.53</u>

第6 海岸林造成

6-1 (略)

6-2 海岸植栽

(1)・(2) (略)

(3) 埋わら等歩掛

区分	埋わら (10束当たり)	敷わら (100㎡当たり)	わら伏 (10㎡当たり)	わら立て (10m当たり)	摘 要
名称					
普通作業員 (人)	0.18	0.16	0.36	0.10	

備考 敷わらは、参考歩掛とする。

6-3 (略)

第3編 林道

第1 舗装工

1-1 (略)

1-2 砂利路盤工(機械)

1~3 (略)

4 作業歩掛

(1)・(2) (略)

(3) 舗装面仕上げ

舗装面仕上げの作業歩掛は、次表を標準とする。

表4.4 施工歩掛

(100 m²当たり)

機種	規格	舗装面仕上げ 機械運転日数(日)
振動ローラ 排出ガス対策型 (第3次基準値) コンバインド型	3~4t	0.2
振動ローラ ハンドガイド式	0.5~0.6t	0.3

(注) (略)

5 (略)

6 単価表

(1) 砂利舗装工(機械) 100 m²当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		表4.2
~(略)~	~(略)~	~(略)~	~(略)~	~(略)~
振動ローラ運転	排出ガス対策型(第3次基準値) コンバインド型 3~4t	〃		表4.4 必要に応じ計上
〃	ハンドガイド式 0.5~0.6t	〃		〃
計				

(2) (略)

(3) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.28 m ³ (平積0.20 m ³)	機-1	
小型バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.13 m ³ (平積0.10 m ³)	(4)	運転時間=5.7 hr/日
振動ローラ	排出ガス対策型(第3次基準値) コンバインド型 3~4t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 機械賃料数量→1.26
〃	ハンドガイド式 0.5~0.6t	機-23	燃料消費量→3.5 機械損料数量→1.76

(4) (略)

1-3 (略)

第3編 林道

第1 舗装工

1-1 (略)

1-2 砂利路盤工(機械)

1~3 (略)

4 作業歩掛

(1)・(2) (略)

(3) 舗装面仕上げ

① 舗装面仕上げの作業歩掛は、次表を標準とする。

表4.4 施工歩掛

(100 m²当たり)

機種	規格	舗装面仕上げ 機械運転日数(日)
振動ローラ 排出ガス対策型 (第1次基準値) コンバインド型	3~4t	0.2
振動ローラ ハンドガイド式	0.5~0.6t	0.3

(注) (略)

5 (略)

6 単価表

(1) 砂利舗装工(機械) 100 m²当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		表4.2
~(略)~	~(略)~	~(略)~	~(略)~	~(略)~
振動ローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) コンバインド型 3~4t	〃		表4.4 必要に応じ計上
〃	ハンドガイド式 0.5~0.6t	〃		〃
計				

(2) (略)

(3) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.28 m ³ (平積0.20 m ³)	機-1	
小型バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.13 m ³ (平積0.10 m ³)	(4)	運転時間=5.7 hr/日
振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) コンバインド型 3~4t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→13 機械賃料数量→1.26
〃	ハンドガイド式 0.5~0.6t	機-23	燃料消費量→3 機械損料数量→1.74

(4) (略)

1-3 (略)

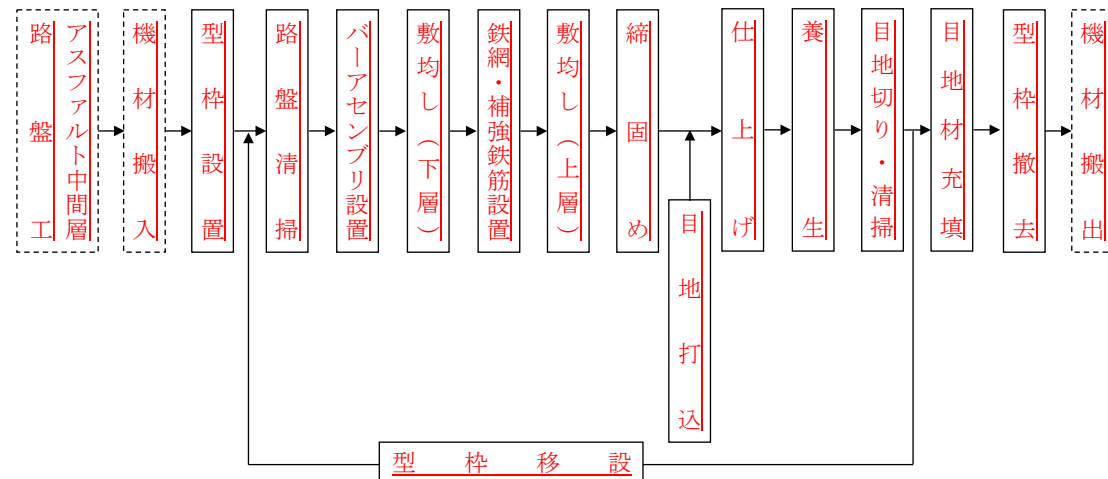
1-4 コンクリート舗装工

1 適用範囲

本歩掛は、レディーミクストコンクリートを用いた人力によるセメントコンクリート舗装工事に適用する。

2 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



- (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。
- 2. 路盤工は、「路盤工」による。
- 3. アスファルト中間層の施工は、「アスファルト舗装工」による。

図2-1 施工フロー

3 舗設工

(1) 舗設歩掛

施工歩掛は、次表を標準とする。

表3.1 施工歩掛 (100m²当り)

名称	単位	人力舗設	
		舗設厚 20cm以上	舗設厚 20cm未満
土木一般世話役	人	1.56	1.08
特殊作業員	//	4.85	3.35
普通作業員	//	9.23	6.38
諸雑費率	%	18	27

(注) 諸雑費は、養生に使用するマット、散水車等の費用及び舗設に使用する型枠、機械（トラック（クレーン装置付 ベーストラック4 t級・吊能力2.9 t）、コンクリートカッタ等）の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

(2) 舗設用コンクリート使用量

舗設用コンクリート使用量は、次式による。

$$\text{使用量 (m}^3\text{)} = \text{設計面積 (m}^2\text{)} \times \text{舗設厚 (m)} \times (1 + K) \dots\dots\text{式 3. 1}$$

K：ロス率

表3.2 ロス率 (K)

舗設厚	25cm未満	25cm以上30cm以下
ロス率	+0.04	+0.03

(新設)

(3) 目地材料費

コンクリート舗装における横・縦目地の材料費については、別途計上すること。

4 単価表

(1) 人力舗設 100m²当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人		表3.1
特殊作業員		//		//
普通作業員		//		//
コンクリート		m ³		式3.1
石粉又は瀝青材		kg, ℓ		必要に応じて計上
鉄網	D6 150×150	m ²		
鉄筋鉄網	D13 200×200	t		
補強鉄筋	D13	//		
縦目地	(膨張) (収縮)	m		目地材・目地板・スリッ
横目地	(膨張) (収縮)	//		プバー・チェア等含む。
縦自由縁部		//		目地材・目地板等含む。
諸雑費		式	1	表3.1
計				

1-5 (略)

1-6 (参考歩掛) 鉄鋼スラグ路盤工

1 適用範囲

本歩掛は、アスファルト舗装等を要しない林道等において、混合スラグ材（鉄鋼スラグと高炉水砕スラグを混合した路盤材）を路床に敷均し、散水、転圧、養生、硬化により路面機能を強化するため、路盤工の1層の施工厚が10 cm以上（1層の締固め最大厚20 cm以下）を標準とする場合に適用する。

2 施工歩掛

鉄鋼スラグ路盤工歩掛は、次表を標準とする。

表 2.1 作業歩掛

(100 m²当たり)

名称	規格	単位	数量
特殊作業員		人	0.41
普通作業員		人	1.00
小型バックホウ 運転	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制） 山積 0.13 m ³ [0.10 m ³]	日	0.37
振動ローラ 運転	搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第3次基準値） 3~4t	日	0.37
諸雑費		%	3.00

備考 1 諸雑費は、労務費と機械運転経費の合計に上表の率を乗じて得た金額を上限として計上する。

2 上記歩掛には、小運搬は含まないため、現場条件により、路盤材の仮置場及び攪拌混合場所からの小運搬が必要な場合は別途計上する。

3 上記歩掛には、不陸整形は含まないため、必要な場合は別途計上する。

1-4 (略)

(新設)

表 2.2 散水作業歩掛

(100 m²当たり)

名称	規格	単位	数量
散水車運転	[トラック架装型] タンク容量 3,800 L	日	0.37

3 路盤材の使用量

路盤材の使用量は、次式により算出する。

$$\frac{100 \text{ m}^2 \text{ 当たり路盤材の使用量 (m}^3\text{)}}{=100 \times \text{路盤工の仕上がり厚さ (m)} \times (1 + K) \dots\dots \text{(式 3.1)}}$$

K : 材料割増率 +0.27

4 単価表

(1) 鉄鋼スラグ路盤工 100 m² 当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
特殊作業員		人		表 2.1
普通作業員		人		表 2.1
小型バックホウ 運転	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制) 山積 0.13 m ³ [0.10 m ³]	日		表 2.1 4(2)
振動ローラ 運転	搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基 準値) 3~4t	日		表 2.1 4(3)
諸雑費		%		表 2.1
路盤材		m ³		式 3.1
散水車運転		日		表 2.2 4(4)
計				

(2) 小型バックホウ運転 1日 当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
運転手(特殊)		人	1.00	
軽油		L	27.00	
小型バックホウ 損料	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制) 山積 0.13 m ³ [0.1 m ³]	供用日	1.00	T=5.7
計				

備考 T : 運転日 当たり 運転時間 (h / 日)

(3) 振動ローラ運転 1日 当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
運転手(特殊)		人	1.00	
軽油		L	13.00	
振動ローラ 賃料	搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3 次基準値) 3~4t	供用日	1.26	
計				

(4) 散水車運転 1日 当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
運転手(一般)		人	1.00	
軽油		L	28.60	
散水車損料	[トラック架装型] タンク容量 3,800 L	供用日	1.00	
計				

第2 (略)

第3 橋梁工

3-1 鋼橋製作工

- 1 (略)
- 2 材料費
 - (1)～(7) (略)
 - (8) 溶接材料費及び副資材費
 - ① (略)
 - ② 副資材費

副資材費は、工場製作にかかる溶接材料及び消耗材料で、加工鋼重（購入部品を除いた鋼材の質量）当たり溶接材料込みで 18,200円/tとする。

(注) (略)
(略)

3 鋼橋製作費

- (1) 製作工数
 - ① 橋梁の製作工数は、次式により算出するのを原則とする。
ア～キ (略)

表3.1 橋梁形式別標準工数

要素 形式	a1 (人/個)	a2 (人/個)	b1 (人/10m)	b2 (人/10m)	c (人/個)
単純鈹桁	1.48	0.32	0.94	0.39	0.43
連続鈹桁	<u>1.47</u>	<u>0.23</u>	0.78	0.37	0.38
箱桁	2.25	0.31	0.87	0.37	3.09
鋼床版鈹桁	<u>1.24</u>	<u>0.25</u>	0.92	0.62	3.61
鋼床版箱桁	3.78	0.33	1.03	0.53	6.24
トラス	0.56	0.33	0.75	0.32	0.79
アーチ	1.59	0.41	0.93	0.55	2.55
ラーメン	1.98	0.40	0.80	0.57	3.26
角型鋼橋脚	<u>4.09</u>	<u>0.70</u>	1.69	3.30	10.66
丸型鋼橋脚	6.39	0.54	0.32	0.86	8.20
角型アンカーフレーム	—	0.35	—	—	<u>13.84</u>
丸型アンカーフレーム	—	0.19	—	—	5.57

表3.2～表3.7 (略)

②～⑤ (略)

- (2) 製作工労務単価
工場製作における工数単価（直接労務費）は 28,700円とする。

4～9 (略)

3-2 (略)

3-3 橋台・橋脚工

3-3-1 橋台・橋脚工(1)(構造物単位)

1～4 (略)

5 単価表

- (1)～(3) (略)
- (4) 機械運転単価表

第2 (略)

第3 橋梁工

3-1 鋼橋製作工

- 1 (略)
- 2 材料費
 - (1)～(7) (略)
 - (8) 溶接材料費及び副資材費
 - ① (略)
 - ② 副資材費

副資材費は、工場製作にかかる溶接材料及び消耗材料で、加工鋼重（購入部品を除いた鋼材の質量）当たり溶接材料込みで 17,300円/tとする。

(注) (略)
(略)

3 鋼橋製作費

- (1) 製作工数
 - ① 橋梁の製作工数は、次式により算出するのを原則とする。
ア～キ (略)

表3.1 橋梁形式別標準工数

要素 形式	a1 (人/個)	a2 (人/個)	b1 (人/10m)	b2 (人/10m)	c (人/個)
単純鈹桁	1.48	0.32	0.94	0.39	0.43
連続鈹桁	<u>1.22</u>	<u>0.19</u>	0.78	0.37	0.38
箱桁	2.25	0.31	0.87	0.37	3.09
鋼床版鈹桁	<u>0.99</u>	<u>0.20</u>	0.92	0.62	3.61
鋼床版箱桁	3.78	0.33	1.03	0.53	6.24
トラス	0.56	0.33	0.75	0.32	0.79
アーチ	1.59	0.41	0.93	0.55	2.55
ラーメン	1.98	0.40	0.80	0.57	3.26
角型鋼橋脚	<u>3.70</u>	<u>0.63</u>	1.69	3.30	10.66
丸型鋼橋脚	6.39	0.54	0.32	0.86	8.20
角型アンカーフレーム	—	0.35	—	—	<u>11.67</u>
丸型アンカーフレーム	—	0.19	—	—	5.57

表3.2～表3.7 (略)

②～⑤ (略)

- (2) 製作工労務単価
工場製作における工数単価（直接労務費）は 27,800円とする。

4～9 (略)

3-2

3-3 橋台・橋脚工

3-3-1 橋台・橋脚工(1)(構造物単位)

1～4 (略)

5 単価表

- (1)～(3) (略)
- (4) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項
コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式圧送能力 90～110 m ³ /h	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>66</u> 機械損料数量→ <u>1.04</u> 機械損料1→コンクリートポンプ車 機械損料2→コンクリート圧送管（径125mm） 単位→m・供用日 数量→L× <u>1.04</u>

(注) (略)

6 (略)

3-3-2 橋台・橋脚工(2)

1 (略)

2 施工概要

(1) 橋台・橋脚コンクリート打設歩掛

橋台橋脚工コンクリート打設歩掛は次表を標準とする。

表2.1 コンクリート打設歩掛(人/10 m³当たり)

コンクリート打設量 (m ³ /基)		50 m ³ 以上
名 称	単 位	
土 木 一 般 世 話 役	人	0.06
特 殊 作 業 員	〃	0.18
普 通 作 業 員	〃	0.24
コンクリートポンプ車運転	日	0.06
諸 雑 費 率	%	<u>3</u>

(注) (略)

(2)～(8) (略)

3 (略)

3-4 (略)

3-5 PC桁架設工

1～3 (略)

4 架設桁による架設

(1)～(5) (略)

(6) その他

① (略)

② 架設機械器具経費

ア (略)

イ 諸雑費

諸雑費は、架設工具等の費用及び電力に関する経費等の費用であり、架設機械器具費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 4.6 諸雑费率

	(%)
ポストテンション桁	11
プレキャストセグメント桁	<u>8</u>

機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項
コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式圧送能力 90～110 m ³ /h	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>82</u> 機械損料数量→ <u>1.03</u> 機械損料1→コンクリートポンプ車 機械損料2→コンクリート圧送管（径125mm） 単位→m・供用日 数量→L× <u>1.03</u>

(注) (略)

6 (略)

3-3-2 橋台・橋脚工(2)

1 (略)

2 施工概要

(1) 橋台・橋脚コンクリート打設歩掛

橋台橋脚工コンクリート打設歩掛は次表を標準とする。

表2.1 コンクリート打設歩掛(人/10 m³当たり)

コンクリート打設量 (m ³ /基)		50 m ³ 以上
名 称	単 位	
土 木 一 般 世 話 役	人	0.06
特 殊 作 業 員	〃	0.18
普 通 作 業 員	〃	0.24
コンクリートポンプ車運転	日	0.06
諸 雑 費 率	%	<u>4</u>

(注) (略)

(2)～(8) (略)

3 (略)

3-4 (略)

3-5 PC桁架設工

1～3 (略)

4 架設桁による架設

(1)～(5) (略)

(6) その他

① (略)

② 架設機械器具経費

ア (略)

イ 諸雑費

諸雑費は、架設工具等の費用及び電力に関する経費等の費用であり、架設機械器具費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 4.6 諸雑费率

	(%)
ポストテンション桁	11
プレキャストセグメント桁	<u>9</u>

5 横組工

(略)

(1) 鉄筋工

① 鉄筋加工・組立

ア 間詰床版及び横行の鉄筋加工・組立歩掛

(1 t 当たり)

編成人員 (人)			諸雑費率 (%)
世話役	鉄筋工	普通作業員	
0.8	3.8	1.7	4

(注) (略)

② (略)

(2) コンクリート工

横組の型枠及びコンクリート作業に適用し、PC合成桁橋の床版は含まない。

①・② (略)

③ コンクリート工歩掛

型枠の製作、設置・撤去、コンクリートポンプ車による打設及び養生歩掛は、次表を標準とする。

表 5.4 コンクリート工歩掛

(10 m³ 当たり)

桁形式	編成人員 (人)				諸雑費率 (%)
	橋りょう世話役	特殊作業員	型枠工	普通作業員	
プレテンションT桁、 ポストテンション桁	2.9	4.0	9.3	9.1(7.5)	8(7)
プレテンション床版桁	1.6	1.7	2.5	3.9(2.4)	10(5)

(注) (略)

④ (略)

(3) (略)

(4) 緊張工

① 緊張工歩掛

定着装置の設置、緊張、モルタルあと埋め作業の歩掛は、次表を標準とする。

表 5.8 緊張工歩掛

(10 ケーブル 当たり)

種類	規格	編成人員 (人)			諸雑費率 (%)
		橋りょう世話役	橋りょう特殊工	普通作業員	
シングルストラ ンドシステム	390kN(40t)型(1S17.8)	0.4	1.2	0.6	3
	450kN(50t)型(1S19.3)				
	570kN(60t)型(1S21.8)				
	950kN(100 t)型(1S28.6)	0.6	1.4	0.6	

(注) (略)

②・③ (略)

(5) (略)

5 横組工

(略)

(1) 鉄筋工

① 鉄筋加工・組立

ア 間詰床版及び横行の鉄筋加工・組立歩掛

(1 t 当たり)

編成人員 (人)			諸雑費率 (%)
世話役	鉄筋工	普通作業員	
0.8	3.8	1.7	5

(注) (略)

② (略)

(2) コンクリート工

横組の型枠及びコンクリート作業に適用し、PC合成桁橋の床版は含まない。

①・② (略)

③ コンクリート工歩掛

型枠の製作、設置・撤去、コンクリートポンプ車による打設及び養生歩掛は、次表を標準とする。

表 5.4 コンクリート工歩掛

(10 m³ 当たり)

桁形式	編成人員 (人)				諸雑費率 (%)
	橋りょう世話役	特殊作業員	型枠工	普通作業員	
プレテンションT桁、 ポストテンション桁	2.9	4.0	9.3	9.1(7.5)	9(7)
プレテンション床版桁	1.6	1.7	2.5	3.9(2.4)	10(5)

(注) (略)

④ (略)

(3) (略)

(4) 緊張工

① 緊張工歩掛

定着装置の設置、緊張、モルタルあと埋め作業の歩掛は、次表を標準とする。

表 5.8 緊張工歩掛

(10 ケーブル 当たり)

種類	規格	編成人員 (人)			諸雑費率 (%)
		橋りょう世話役	橋りょう特殊工	普通作業員	
シングルストラ ンドシステム	390kN(40t)型(1S17.8)	0.4	1.2	0.6	4
	450kN(50t)型(1S19.3)				
	570kN(60t)型(1S21.8)				
	950kN(100 t)型(1S28.6)	0.6	1.4	0.6	

(注) (略)

②・③ (略)

(5) (略)

6・7 (略)

8 PC板工(PCコンボ桁のみ)

PC板工とは、PC板支承工、PC板仮置工、PC板敷設工、継目工の一連作業で、その内訳は次のとおりである。なお、PC板仮置工は、必要な場合に計上する。

(1) PC板支承工

PC板と主桁のなじみを得るため及び床版コンクリート打設時のモルタルの漏れを防ぐために、支承工用目地材及び無収縮モルタルを主桁上に打設する作業であり、PC板支承工歩掛は次表を標準とする。

表8.1 PC板支承工歩掛

(両側100m当たり)

編成人員(人)		使用材料		諸雑費 (%)
橋りょう世話役	普通作業員	支承工用目地材 (m)	無収縮モルタル (m ³)	
		10mm×15mm	プレミックスタイプ	
0.4	1.3	205	0.36	<u>4</u>

(注) (略)

(2)・(3) (略)

(4) 継目工

PC板とPC板の継目に無収縮モルタルを充填する作業であり、継目工歩掛は次表を標準とする。

表 8.4 継目工歩掛

(100m当たり)

編成人員(人)		使用材料	諸雑費 (%)
橋りょう世話役	普通作業員	無収縮モルタル(m ³)	
		プレミックスタイプ	
0.1	1.1	0.07	<u>8</u>

(注) (略)

9・10 (略)

3-6 (略)

第4 道路維持修繕

4-1 切削オーバーレイ工

1~6 (略)

7 単価表

(1) (略)

6・7 (略)

8 PC板工(PCコンボ桁のみ)

PC板工とは、PC板支承工、PC板仮置工、PC板敷設工、継目工の一連作業で、その内訳は次のとおりである。なお、PC板仮置工は、必要な場合に計上する。

(1) PC板支承工

PC板と主桁のなじみを得るため及び床版コンクリート打設時のモルタルの漏れを防ぐために、支承工用目地材及び無収縮モルタルを主桁上に打設する作業であり、PC板支承工歩掛は次表を標準とする。

表8.1 PC板支承工歩掛

(両側100m当たり)

編成人員(人)		使用材料		諸雑費 (%)
橋りょう世話役	普通作業員	支承工用目地材 (m)	無収縮モルタル (m ³)	
		10mm×15mm	プレミックスタイプ	
0.4	1.3	205	0.36	<u>5</u>

(注) (略)

(2)・(3) (略)

(4) 継目工

PC板とPC板の継目に無収縮モルタルを充填する作業であり、継目工歩掛は次表を標準とする。

表 8.4 継目工歩掛

(100m当たり)

編成人員(人)		使用材料	諸雑費 (%)
橋りょう世話役	普通作業員	無収縮モルタル(m ³)	
		プレミックスタイプ	
0.1	1.1	0.07	<u>9</u>

(注) (略)

9・10 (略)

3-6 (略)

第4 道路維持修繕

4-1 切削オーバーレイ工

1~6 (略)

7 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用 単価表	指 定 事 項	7 cm以下		
				即日 一層舗設	7 cmを超え 12 cm以下 即日 一層舗設	即日 二層舗設
路面切削機	ホイール式・ 廃材積込装置付・排 出ガス対策型(第3 次基準値) 切削幅 2.0m×深さ 23cm	機-18	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00 <u>235</u> <u>1.32</u>	1.00 <u>248</u> <u>1.27</u>	0.95 <u>166</u> <u>1.01</u>
路面清掃車	ブラシ・四輪式 路面切削工用・ホ ッパ容量 1.5 m ³	機-19	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	0.98 43 <u>1.32</u>	0.96 42 <u>1.27</u>	0.74 32 <u>1.01</u>
アスファルト フィニッシャ	ホイール型・排出ガ ス対策型(第3次基 準値) 舗装幅 2.3~ 6.0m	機-18	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00 48 <u>1.40</u>	1.00 53 <u>1.19</u>	1.00 42 <u>1.23</u>
ロードローラ	マカダム・排出ガス 対策型(第2次基準 値) 運転質量 10 t 締固め幅 2.1m	機-18	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00 <u>27</u> <u>1.40</u>	1.00 <u>28</u> <u>1.19</u>	1.00 <u>18</u> <u>1.23</u>
タイヤローラ	普通型・排出ガス対 策型(第2次基準 値) 運転質量 8~20 t	機-28	運転労務数量 燃料消費量 機械賃料数量	1.00 <u>30</u> 1.16	1.00 <u>27</u> 1.00	1.00 <u>29</u> 1.30

4-2 道路打換え工

1~5 (略)

6 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用 単価表	指 定 事 項	7 cm以下		
				即日 一層舗設	7 cmを超え 12 cm以下 即日 一層舗設	即日 二層舗設
路面切削機	ホイール式・ 廃材積込装置付・排 出ガス対策型(第3 次基準値) 切削幅 2.0m×深さ 23cm	機-18	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00 <u>204</u> <u>1.31</u>	1.00 <u>216</u> <u>1.26</u>	0.95 <u>144</u> <u>1.00</u>
路面清掃車	ブラシ・四輪式 路面切削工用・ホ ッパ容量 1.5 m ³	機-19	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	0.98 43 <u>1.31</u>	0.96 42 <u>1.26</u>	0.74 32 <u>1.00</u>
アスファルト フィニッシャ	ホイール型・排出ガ ス対策型(第3次基 準値) 舗装幅 2.3~ 6.0m	機-18	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00 48 <u>1.39</u>	1.00 53 <u>1.18</u>	1.00 42 <u>1.22</u>
ロードローラ	マカダム・排出ガス 対策型(第2次基準 値) 運転質量 10 t 締固め幅 2.1m	機-18	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00 <u>25</u> <u>1.39</u>	1.00 <u>26</u> <u>1.18</u>	1.00 <u>17</u> <u>1.22</u>
タイヤローラ	普通型・排出ガス対 策型(第2次基準 値) 運転質量 8~20 t	機-28	運転労務数量 燃料消費量 機械賃料数量	1.00 <u>26</u> 1.16	1.00 <u>23</u> 1.00	1.00 <u>25</u> 1.30

4-2 道路打換え工

1~5 (略)

6 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3 次基準値)山積0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	機-28	運転労務数量→0.95 (全層打換え) 0.65 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→ <u>36</u> (全層打換え) <u>24</u> (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.27 (全層打換え) 1.24 (舗装版のみ打換え)
大型ブレーカ	油圧ブレーカバケット 容量0.2 m ³ 対応ベース マシン含む。 超低騒音型・排出ガス 対策型(第3次基準 値)	機-28	運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→ <u>15</u> (全層打換え) <u>16</u> (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.29 (全層打換え) 1.27 (舗装版のみ打換え)
(コンクリー ト圧砕装置ベ ースマシン) バックホウ	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3 次基準値)山積0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	機-28	運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→ <u>17</u> (全層打換え) <u>18</u> (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.38 (全層打換え) 1.36 (舗装版のみ打換え)
小型バックホ ウ(クローラ 型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3 次基準値)山積0.09～ 0.11 m ³ (平積0.07～ 0.08 m ³)	機-18	運転労務数量→0.80 (全層打換え) 0.58 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→ <u>9</u> (全層打換え) <u>7</u> (舗装版のみ打換え) 機械損料数量→ <u>1.38</u> (全層打換え) <u>1.14</u> (舗装版のみ打換え)
タイヤローラ	普通型・低騒音型・排 出ガス対策型(第2次 基準値)8～20 t	機-28	運転労務数量→1.00 (全層打換え) 1.00 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→ <u>32</u> (全層打換え) <u>34</u> (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.34 (全層打換え) 1.34 (舗装版のみ打換え)
振動ローラ (舗装用)	搭乗・コンバインド式 ・低騒音型・排出ガス 対策型(第2次基準値) 運転質量3～4t	機-28	運転労務数量→1.00(全層打換え) 1.00(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→ <u>17</u> (全層打換え) <u>18</u> (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.34(全層打換え) 1.34(舗装版のみ打換え)
アスファルト フィニッシャ	ホイール型 排出ガス対策型(第3 次基準値)舗装幅2.3～ 6.0m	機-28	運転労務数量→0.55 (全層打換え) 0.68 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→31 (全層打換え) 38 (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.10 (全層打換え) 1.11 (舗装版のみ打換え)

4-3 路上路盤再生工

1 (略)

(2) 機械運転単価表

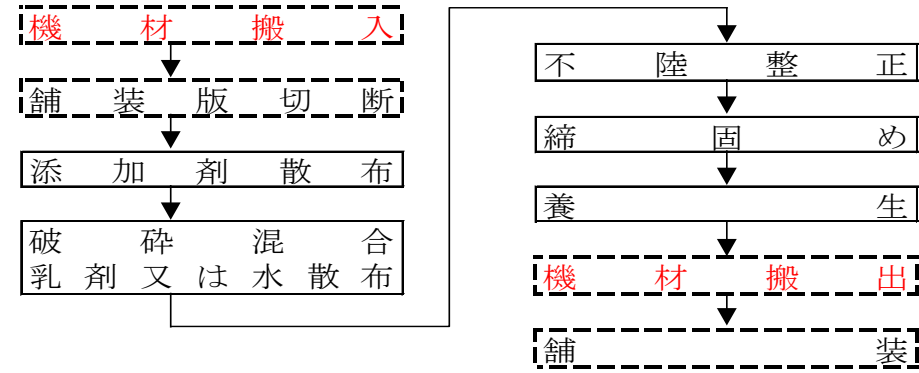
機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3 次基準値)山積0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	機-28	運転労務数量→0.95 (全層打換え) 0.65 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→ <u>38</u> (全層打換え) <u>26</u> (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.27 (全層打換え) 1.24 (舗装版のみ打換え)
大型ブレーカ	油圧ブレーカバケット 容量0.2 m ³ 対応ベース マシン含む。 超低騒音型・排出ガス 対策型(第3次基準 値)	機-28	運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→ <u>17</u> (全層打換え) <u>17</u> (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.29 (全層打換え) 1.27 (舗装版のみ打換え)
(コンクリー ト圧砕装置ベ ースマシン) バックホウ	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3 次基準値)山積0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	機-28	運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→ <u>18</u> (全層打換え) <u>19</u> (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.38 (全層打換え) 1.36 (舗装版のみ打換え)
小型バックホ ウ(クローラ 型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3 次基準値)山積0.09～ 0.11 m ³ (平積0.07～ 0.08 m ³)	機-18	運転労務数量→0.80 (全層打換え) 0.58 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→ <u>10</u> (全層打換え) <u>7</u> (舗装版のみ打換え) 機械損料数量→ <u>1.37</u> (全層打換え) <u>1.13</u> (舗装版のみ打換え)
タイヤローラ	普通型・低騒音型・排 出ガス対策型(第2次 基準値)8～20 t	機-28	運転労務数量→1.00 (全層打換え) 1.00 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→ <u>28</u> (全層打換え) <u>29</u> (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.34 (全層打換え) 1.34 (舗装版のみ打換え)
振動ローラ (舗装用)	搭乗・コンバインド式 ・低騒音型・排出ガス 対策型(第2次基準値) 運転質量3～4t	機-28	運転労務数量→1.00(全層打換え) 1.00(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→ <u>15</u> (全層打換え) <u>15</u> (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.34(全層打換え) 1.34(舗装版のみ打換え)
アスファルト フィニッシャ	ホイール型 排出ガス対策型(第3 次基準値)舗装幅2.3～ 6.0m	機-28	運転労務数量→0.55 (全層打換え) 0.68 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→31 (全層打換え) 38 (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.10 (全層打換え) 1.11 (舗装版のみ打換え)

4-3 路上路盤再生工

1 (略)

2 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



(注) (略)

3～6 (略)

7 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
スタビライザ	路盤再生用・処理幅 2.0m 処理深 0.4m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>135</u> 機械損料数量→ <u>1.22</u>
モータグレーダ	排出ガス対策型(第1次基準値) 土工用ブレード幅 3.1m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>46</u> 機械損料数量→ <u>1.48</u>
ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値)マ カダム 10～12 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>32</u> 機械損料数量→ <u>1.61</u>
タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値)普 通型 8～20 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>31</u> 機械賃料数量→1.62
振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値)搭 乗・タンデム式 舗装用 6～7.5 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>44</u> 機械賃料数量→1.75

4-4 アスファルト注入工

1～4 (略)

5 単価表

(1)～(4) (略)

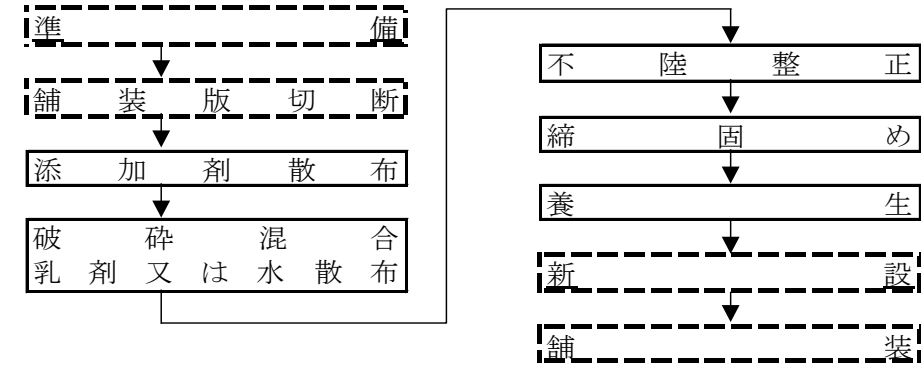
(5) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
空気圧縮機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型 ・排出ガス対策型(第1次基準値) 7.5～7.8 m ³ /min 吐出圧力 0.7MPa	機-16	燃料消費量→ <u>50</u> 機械賃料数量→1.7
トラック	普通型 2 t 積	機-6	

4-5・4-6 (略)

2 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



(注) (略)

3～6 (略)

7 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
スタビライザ	路盤再生用・処理幅 2.0m 処理深 0.4m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>131</u> 機械損料数量→ <u>1.21</u>
モータグレーダ	排出ガス対策型(第1次基準値) 土工用ブレード幅 3.1m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>44</u> 機械損料数量→ <u>1.47</u>
ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値)マ カダム 10～12 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>29</u> 機械損料数量→ <u>1.59</u>
タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値)普 通型 8～20 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>26</u> 機械賃料数量→1.62
振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値)搭 乗・タンデム式 舗装用 6～7.5 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>40</u> 機械賃料数量→1.75

4-4 アスファルト注入工

1～4 (略)

5 単価表

(1)～(4) (略)

(5) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
空気圧縮機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型 ・排出ガス対策型(第1次基準値) 7.5～7.8 m ³ /min 吐出圧力 0.7MPa	機-16	燃料消費量→ <u>58</u> 機械賃料数量→1.7
トラック	普通型 2 t 積	機-6	

4-5・4-6 (略)

4-7 欠損部補修工

1~3 (略)

4 単価表

(1)・(2) (略)

(3) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
振動ローラ (舗装用)	搭乗・コンバインド式 排出ガス対策型(第2次基準 値) 2.4~2.5t	機-31	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>11</u> 機械賃料数量→1.40

4-8 トンネル補修工(ひび割れ補修工(低圧注入工法))

1~7 (略)

8 単価表

(1) (略)

(2) 械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
高所作業車	[トラック架装・伸縮ブーム・ プラットフォーム型] 作業床高 9.9m・積載荷重 1,000kg	機-29	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>21</u> 機械賃料数量→1.32

【参考】 (略)

4-7 欠損部補修工

1~3 (略)

4 単価表

(1)・(2) (略)

(3) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
振動ローラ (舗装用)	搭乗・コンバインド式 排出ガス対策型(第2次基準 値) 2.4~2.5t	機-31	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>10</u> 機械賃料数量→1.40

4-8 トンネル補修工(ひび割れ補修工(低圧注入工法))

1~7 (略)

8 単価表

(1) (略)

(2) 械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
高所作業車	[トラック架装・伸縮ブーム・ プラットフォーム型] 作業床高 9.9m・積載荷重 1,000kg	機-29	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>25</u> 機械賃料数量→1.32

【参考】 (略)

第4編 作業日当たり標準作業量

1. 適用条件

本章に掲載した作業日当たり標準作業量は、標準歩掛に沿った条件、工法での設定であり、工程、作業日数等の検討のための参考として、とりまとめたものである。

設定した作業量は、あくまでも標準施工の場合であるので、当該工事の施工条件、施工方法、制約条件等十分考慮し、適用の可否を検討の上、使用されたい。

2. 作業日当たり標準作業量

工種名	設定内容												
土工～地すべり防止工 (略)	(略)												
森林整備	①～⑪ (略) ⑫ 森林整備 下刈 (1回刈り及び2回刈り) (補正なし) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>作業日当たり標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下刈 (全刈り)</td> <td>0.164ha/日</td> </tr> <tr> <td>下刈 (筋刈り)</td> <td>0.500ha/日</td> </tr> </tbody> </table> (補正あり) 年2回下刈りの2回目 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>作業日当たり標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下刈 (全刈り)</td> <td>0.191ha/日</td> </tr> <tr> <td>下刈 (筋刈り)</td> <td>0.581ha/日</td> </tr> </tbody> </table> ⑬～⑮ (略)	工種	作業日当たり標準作業量	下刈 (全刈り)	0.164ha/日	下刈 (筋刈り)	0.500ha/日	工種	作業日当たり標準作業量	下刈 (全刈り)	0.191ha/日	下刈 (筋刈り)	0.581ha/日
工種	作業日当たり標準作業量												
下刈 (全刈り)	0.164ha/日												
下刈 (筋刈り)	0.500ha/日												
工種	作業日当たり標準作業量												
下刈 (全刈り)	0.191ha/日												
下刈 (筋刈り)	0.581ha/日												
海岸林造成 ・道路附属 施設 (略)	(略)												

第4編 作業日当たり標準作業量

1. 適用条件

本章に掲載した作業日当たり標準作業量は、標準歩掛に沿った条件、工法での設定であり、工程、作業日数等の検討のための参考として、とりまとめたものである。

設定した作業量は、あくまでも標準施工の場合であるので、当該工事の施工条件、施工方法、制約条件等十分考慮し、適用の可否を検討の上、使用されたい。

2. 作業日当たり標準作業量

工種名	設定内容												
土工～地すべり防止工 (略)	(略)												
森林整備	①～⑪ (略) ⑫ 森林整備 下刈 (1回刈り及び2回刈り) (補正なし) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>作業日当たり標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下刈 (全刈り)</td> <td>0.164ha/日</td> </tr> <tr> <td>下刈 (筋刈り)</td> <td>0.500ha/日</td> </tr> </tbody> </table> (補正あり) 年2回下刈りの2回目 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>作業日当たり標準作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下刈 (全刈り)</td> <td>0.141ha/日</td> </tr> <tr> <td>下刈 (筋刈り)</td> <td>0.430ha/日</td> </tr> </tbody> </table> ⑬～⑮ (略)	工種	作業日当たり標準作業量	下刈 (全刈り)	0.164ha/日	下刈 (筋刈り)	0.500ha/日	工種	作業日当たり標準作業量	下刈 (全刈り)	0.141ha/日	下刈 (筋刈り)	0.430ha/日
工種	作業日当たり標準作業量												
下刈 (全刈り)	0.164ha/日												
下刈 (筋刈り)	0.500ha/日												
工種	作業日当たり標準作業量												
下刈 (全刈り)	0.141ha/日												
下刈 (筋刈り)	0.430ha/日												
海岸林造成 ・道路附属 施設 (略)	(略)												

附 則 この通知は、令和6年4月1日から適用する。